茶家酔古襍 三編

武將名家茶道
及諸家花押
同家相承系譜
土佐家并門流
狩野家并門流
逸人名家
以上

湖月堂老翁輯

茶家醉古襍

第貳輯

京師弘文堂藏

増補茶花押譜

一舊版茶人花押藪前後集世ニ行ハル共ニ遺脱少ナカラス且巻懐ニ便ナラス今花押拾遺群賢押譜其餘収蔵ノ家ニ索メ鑒賞家ニ訪テ改正増補シテ袖珍ニ便ナラシム

一此書ヲ改正増補スト云ヘ𪜈古今ノ廣キ盡スヘカラス猶十ニ一三ヲ闕ケリ故ニ日ニ集メ月ニ録シテ益校正セントス幾度クハ鑒賞ノ君子コレヲ質サンコトヲ

弘文堂主人謹記ス

天保十四癸卯初春吉旦

目次

六五
淀屋言當
萬代屋宗安
山上宗二
伊丹屋宗不

六七
今小路道三
本阿弥光悦

六九
千宗拙
同宗佐 江岑
同宗守 似休斎
藤村庸軒

三十一
山田宗偏
黒田正圓
無學
久須見疎安
有馬了休

三十三
久田宗全
尾形光琳
千宗安

三十五
土肥二三
千宗乾
尾形真省
山中道億

三
千宗守 真伯
佐野紹益

千宗淳
藪内紹智

六八
本阿弥光甫
狩野守信
三宅喜齋
千宗旦

三十
大森漸齋
大森枝信
同有斐
杉本普齋

三十二
千宗佐 随流斎
千宗巴
千宗室 仙叟

三十四
尾形深省
上田康長
藤村正員
千宗佐 芳流

三十六
原叟宗佐
如心齋
千宗佐
千宗室 勿〻軒

三十
町田圓齋
舟木又甫
市川心齋

十七
古筆了雪
同了祐
町田秋波

三十九
千宗守 好〻齋
同好〻齋
同宗佐 如〻齋

四十一
齋藤道節
山田宗引
觀山
吉見喜齋
鈴木宗閑
三谷宗鎮

四十三
天室宗碩
春屋宗園
古溪宗陳
玉室宗珀

四十五
久田宗也
久田宗溪
久田宗参
有岡道瑞
上柳甫齋
大江撫翁
大江如翁
堀内宗心

八
隱岐宗
藪内紹智
同比考齋
千宗守 文淑

四十
千宗室 常叟
林義牧
青木宗鳳
二世宗鳳
堅田祐益
山本退菴

四十二
服部道圓
藤村直良
清水動閑
同道竿
山科宗甫
天滿屋常通

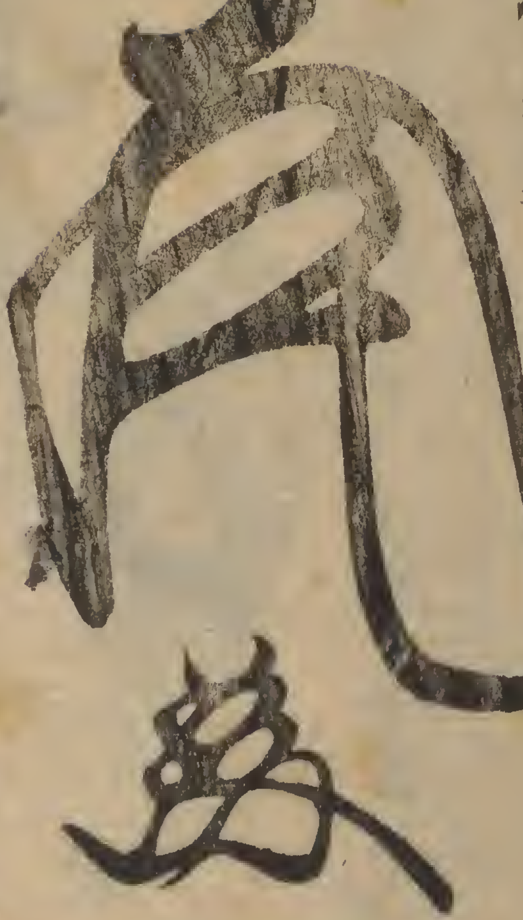
四十四
玉舟宗璠
天室宗竺
江岩宗眠

四十六
千不見齋
千宗守 五代
千宗左
住山揚甫
堀内仙鶴

四十九	四十七
抗茶記	松尾宗二 松尾宗五 松尾宗政 多田宗綱 同 十叉斎 安田

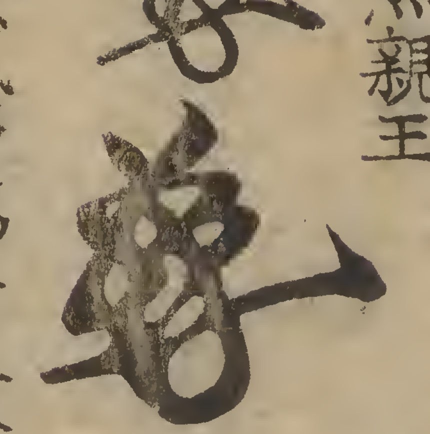
四十八
賣茶翁 花押難考記ス

源義政公



茶法ヲ珠光ニ學ビタマウ前編ノ茶人系譜ニ詳カナレバ畧ス

堯然親王



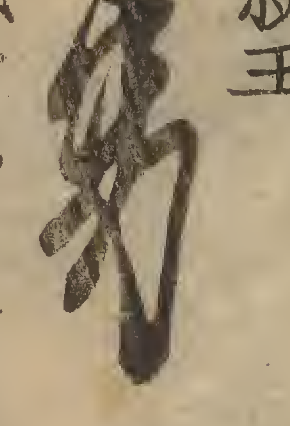
後陽成帝第六皇子二品天台座主寛文元閏八月廿二日薨ス壽六十慈恩院ト号ス茶法ヲ片桐石州ニ受ク

慈胤法親王



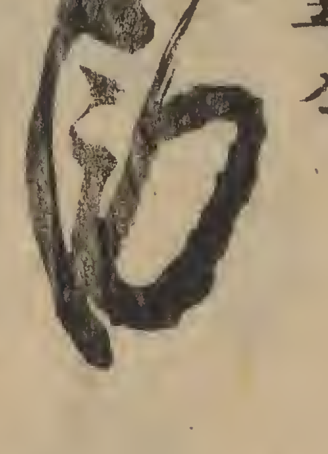
後陽成帝皇子二品天台座主元禄十二年十二月二日薨ス壽八十三常修院ト号ス茶法ヲ金森宗和ニウク

道晃親王



後陽成帝第十二皇子二品園城寺長吏三山ノ検校延寳六年一本七七月十八日薨ス壽六十八遍照院ト号ス茶事ヲ古田織部ニ受ク

近衛信尋公



後陽成帝第四皇子三藐院関白信尹公ノ子トナル関白左太臣應山ト号ス慶安二年十月十

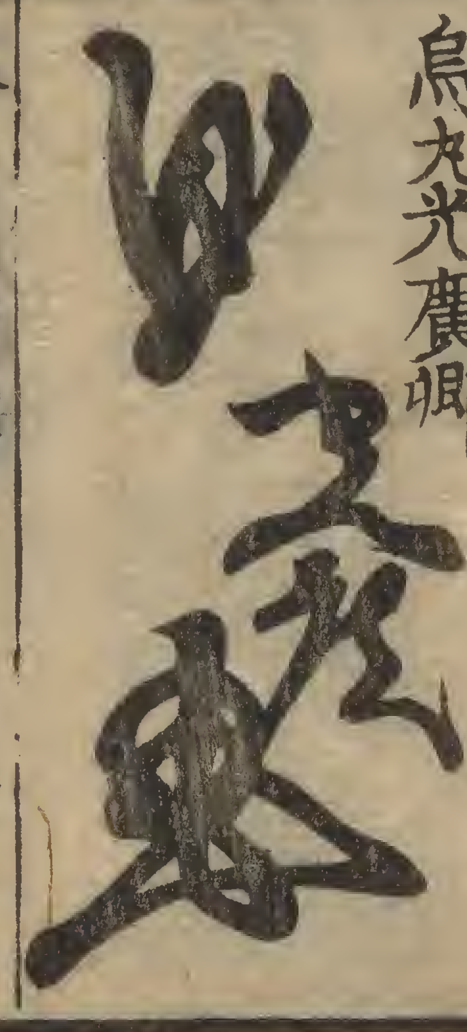
一日薨ズ壽五十一本源月往院ト号ス茶法ヲ古田織部ニ受ク

同家凞公

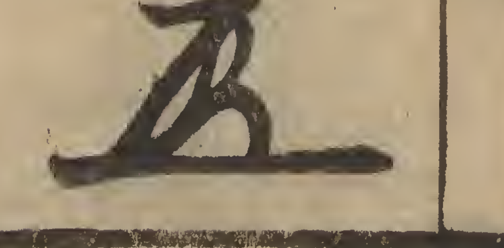


應圓満院基凞公男摂政関白太政大臣准三后元文元年十月三日薨ス壽七十豫樂院ト号ス茶法ヲ慈胤親王ニ受ク

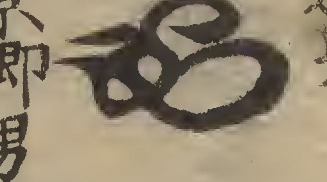
烏丸光廣卿



權大納言正二位泰翁法雲院ト号ス寛永中ニ薨ス歳六十英名世ニ知ル所ナレハ畧ス

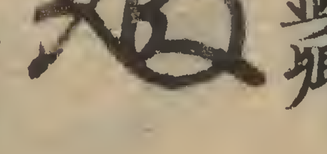


風早實種卿



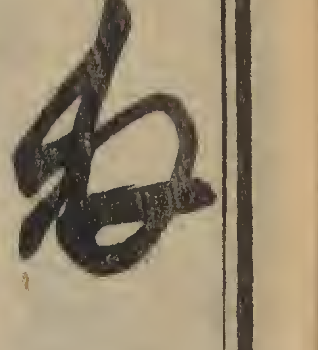
姉小路公景卿男權中納言正二位寛永七年十二月二十五日薨ス壽七十九茶事ヲ小堀遠州ニ學ブ

勸修寺高顯卿



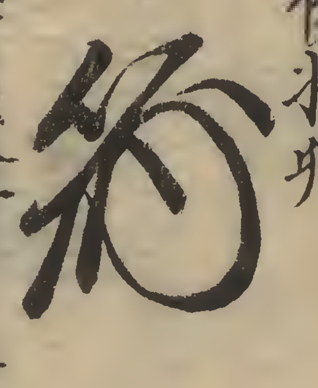
權中納言尹隆卿男權中納言從二位博士ニシテ志操アリ茶事ヲ大森枝信ニ學ブ元文二年八月十八日薨ス壽四十三

日野輝資卿



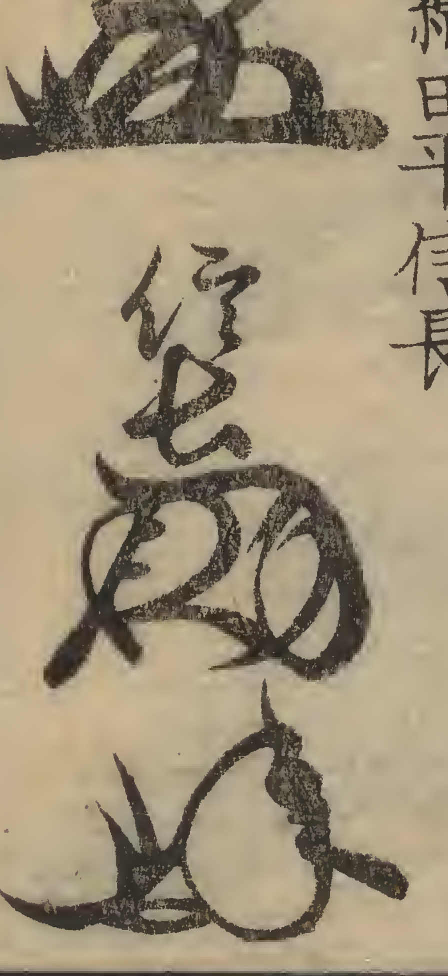
權中納言國光卿男實ハ贈内府國光公男權大納言正二位家藏ノ茶壺世ニ廣東ト称シテ日野肩衝日野廣東ト云フ慶長十二年五月九日出家シテ茶法ヲ利休ニ學ブ

坊城俊將卿



權大納言俊清男實ハ勸修寺尹隆卿ノ男權大納言正二位寛延二年正月元日薨ス歳五十一茶法ヲ豫樂殿下ニ学ブ

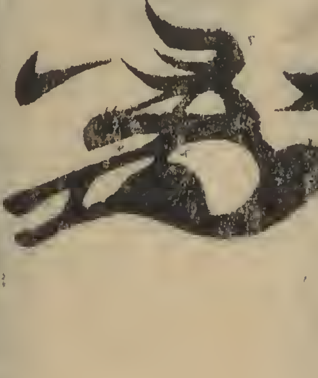
織田平信長





従一位右大臣備後守信秀男ナリ茶礼ヲ好ムスナハチ紹鴎ニマナブ器物ヲ集ムコノ時古器ノ價大ニ増ス天正十年六月二日京師ノ本能寺ニ於テ明智日向守ガタメニ害セラル紫野大徳寺ニ葬ル總見院殿大相國贈一品泰巖居士ト謚ス

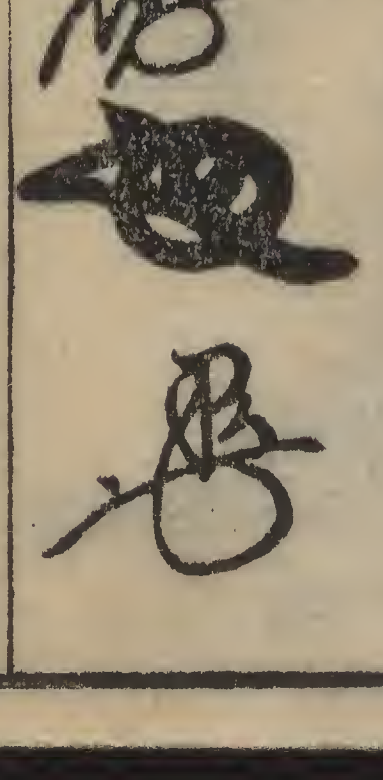
豊臣秀吉



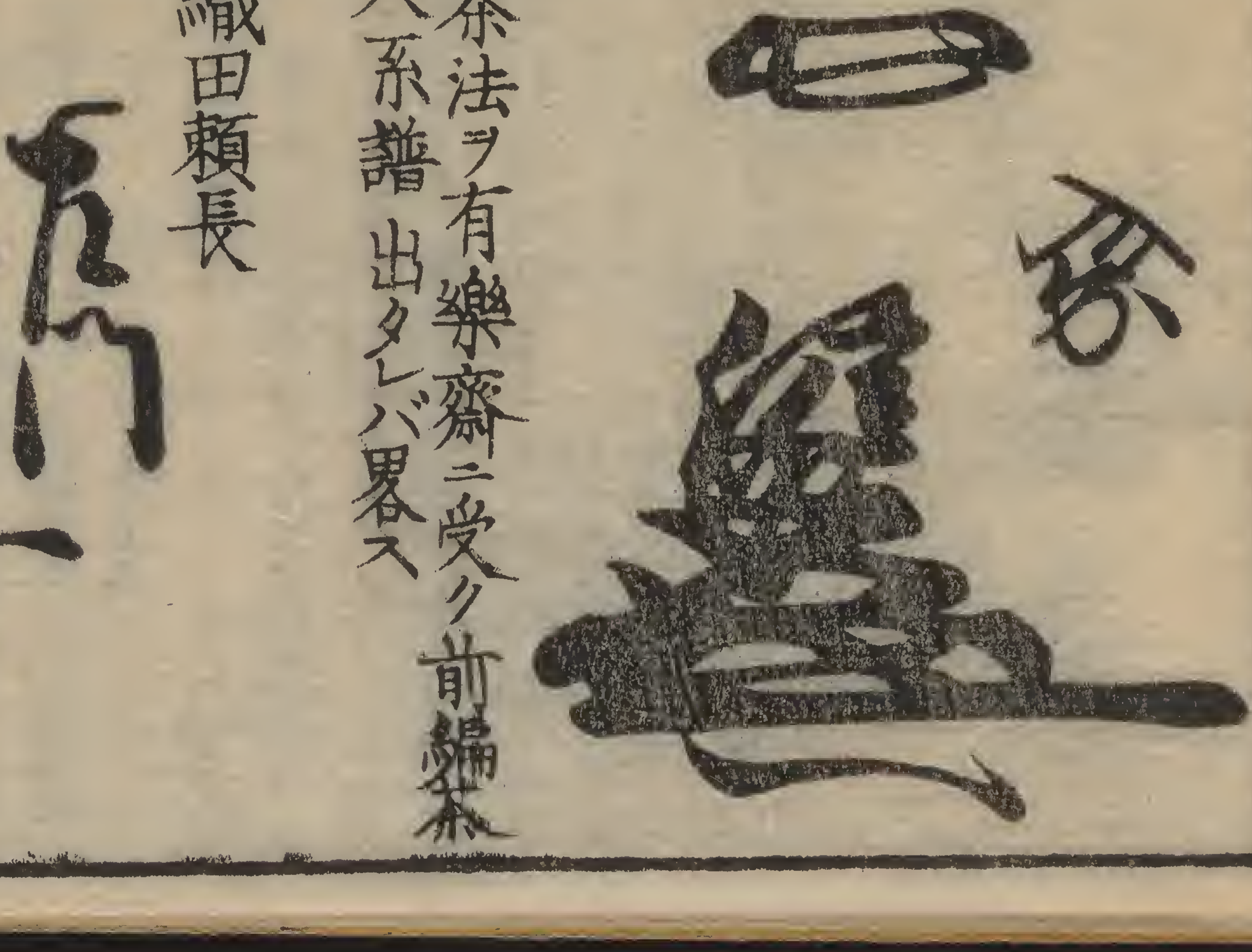
公初ノ氏ハ羽柴後ニ豊臣ト改ム卑賤ヨリ起テ関白大政大臣従一位ニ昇進ス慶長三年八月十八日薨ス一本八月十八日勅シテ廟号ヲ豊國大明神ト賜フ

按スルニ舊記ニ茶礼ハ北条ノ末ニ起ル然リトイヘトモ當時ナヲイマダ盛ナラズ義政公ニ至ツテ漸ク熾ニシテ而メ豊臣公ニ瀰漫ス爾リシヨリ後僧俗トイヘトモコノ礼ヲ嗜ナマザルハナシ公スナハチ千宗易ヲシテ茶法ヲ定メシム是ニ於テ古人ノイマダ備ヘザルトコロヲ損益シテ以テ後世ノモノニ告ク是故ニ茶事ヲ云フモノ某ノ餘流ニ泝ガズトイフコトナシ或人ノ曰ク茶禮ハ宗易ニ一定ストモ其撰公モマタ與ハレリ

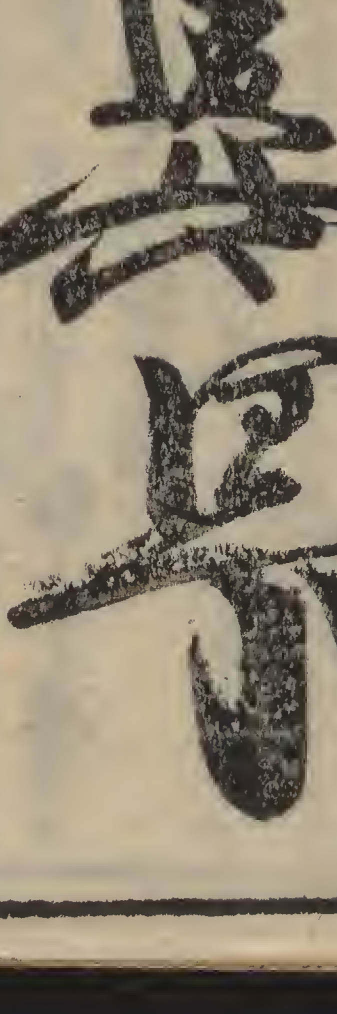
織田信雄



茶法ヲ有樂齋ニ受ク前編茶
人系譜ニ出タレバ畧ス



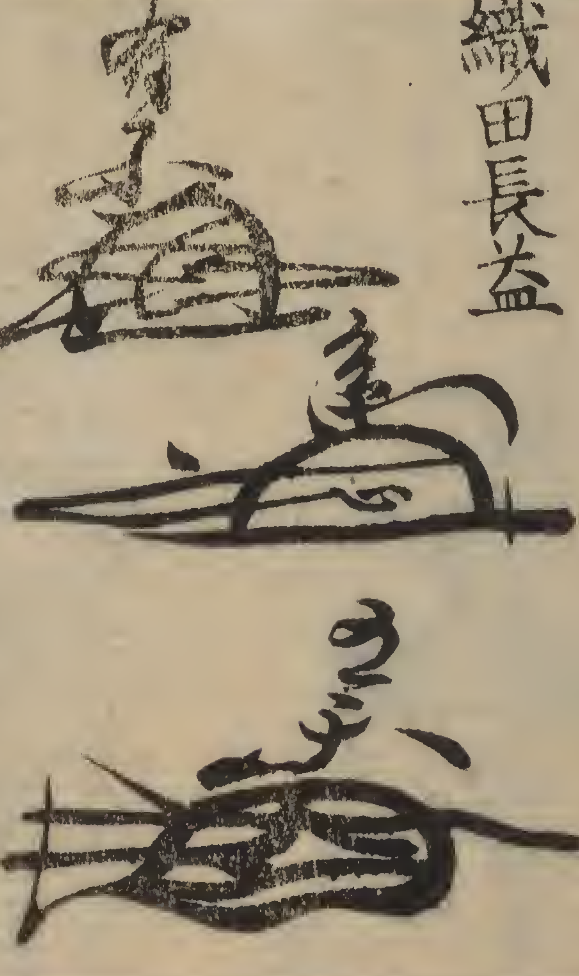
織田頼長



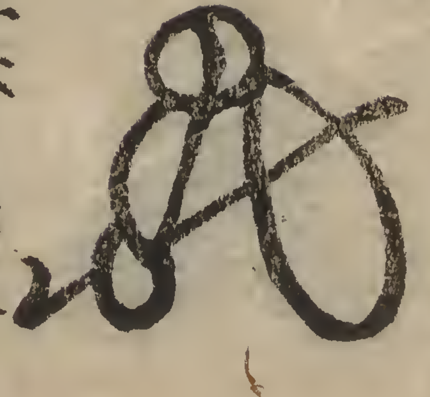
従四位下侍従左門別名道八
祝髪シテ雲生寺ニ入道ト称ス長
益ニ男ナリ篠阿弥陀佛ト号ス

織田長益

茶法ヲ千宗易ニ受ク前編茶
人系譜ニ出タレバ畧ス

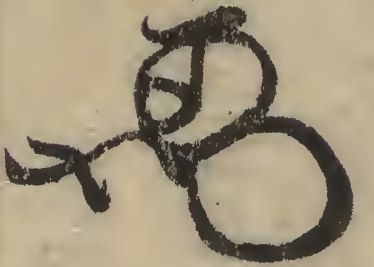


明智光秀



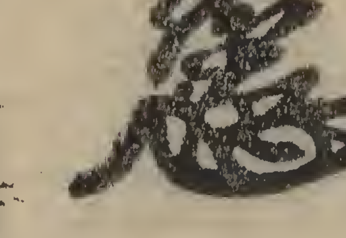
従五位下惟任日向守ト称ス
丹州ヲ領ス天正十年六月十
三日誅ニ伏ス

三好之虎



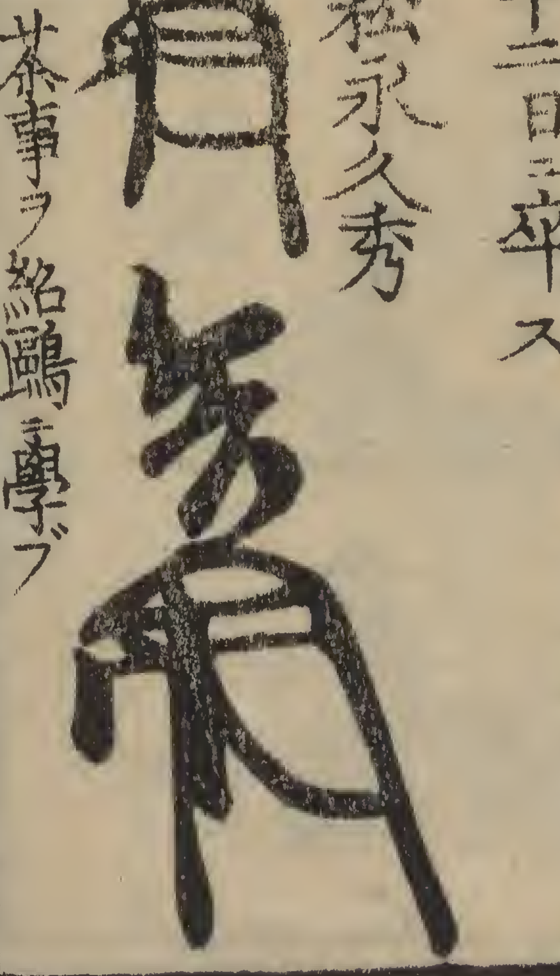
従五位下豊後守剃髪シテ實休ト名ノリ物外軒ト称ス薩摩守元長男也永禄五年三月五日泉州久米田ニ戦死ス泉界南宗寺ニ牌子ヲ設ケテ龍音寺以徹實休居士ト題ス

佐久間勝之



大膳亮従五位下久右衛尉盛次第四子曽テ佐々成政ノ義子ト為ル後佐久間氏ニ復ス洛北白川ノ大石ヲ以テ燈籠一基ヲ造テ南禅寺ニ建ツ寛永十一年十一月十二日ニ卒ス

松永久秀



茶事ヲ紹鷗ニ學ブ

従五位下弾正少弼茶事ヲ好ム家ニ一箇ノ釜ヲ蔵ス世ニイワユル珠光平蜘ノ釜トハ是ナリ天正五年十月和州志貴城敗軍ノトキ此釜ヲ焔中ニナゲウッテ其身モ焚死ス

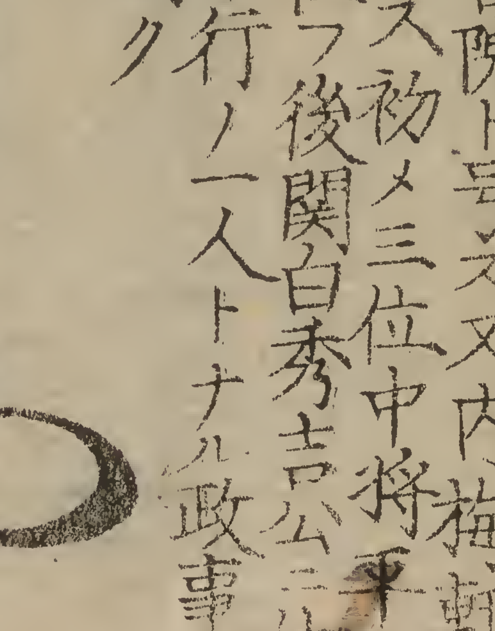
荒木村重



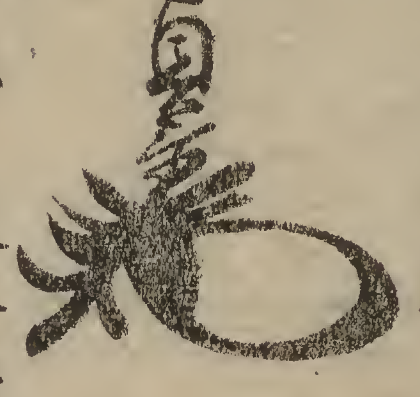
従五位下摂津守伊丹城ニ居ル家ニ青磁ノ花瓶アリ世ノ名器ナリ織田信長コレヲ乞フ村重與ヘズ信長大ニ怒ルマサニ一戦ニ及ントス既ニシテ和睦ス後天正六年ニ謀叛ス同ク七年ニ潜カニ関東ニ逃レ赴ヒテ陸奥ニ匿ル牌子ヲ泉界南宗寺ニ設ケテ秋英宗薫居士ト謚ナス

前田玄以

茶法ヲ紹鷗ニ學ブ
徳善院ト号ス又内梅軒宗句
ト称ス初メ三位中将平信忠
公ニ仕フ後関白秀吉公ニ仕ヘテ
五奉行ノ一人トナル政事ヲ預
リ聞ク

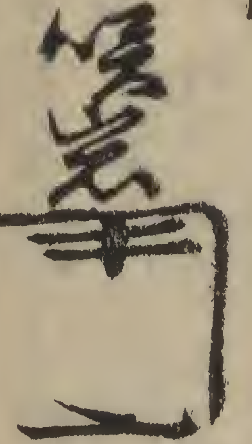


織田貞置



左京亮信貞男従五位下侍従
主計頭一谷芋翁ト号ス又
三過老人如斎子永年堂ト云
茶法ヲ有楽斎ニ學ブ

三好康長



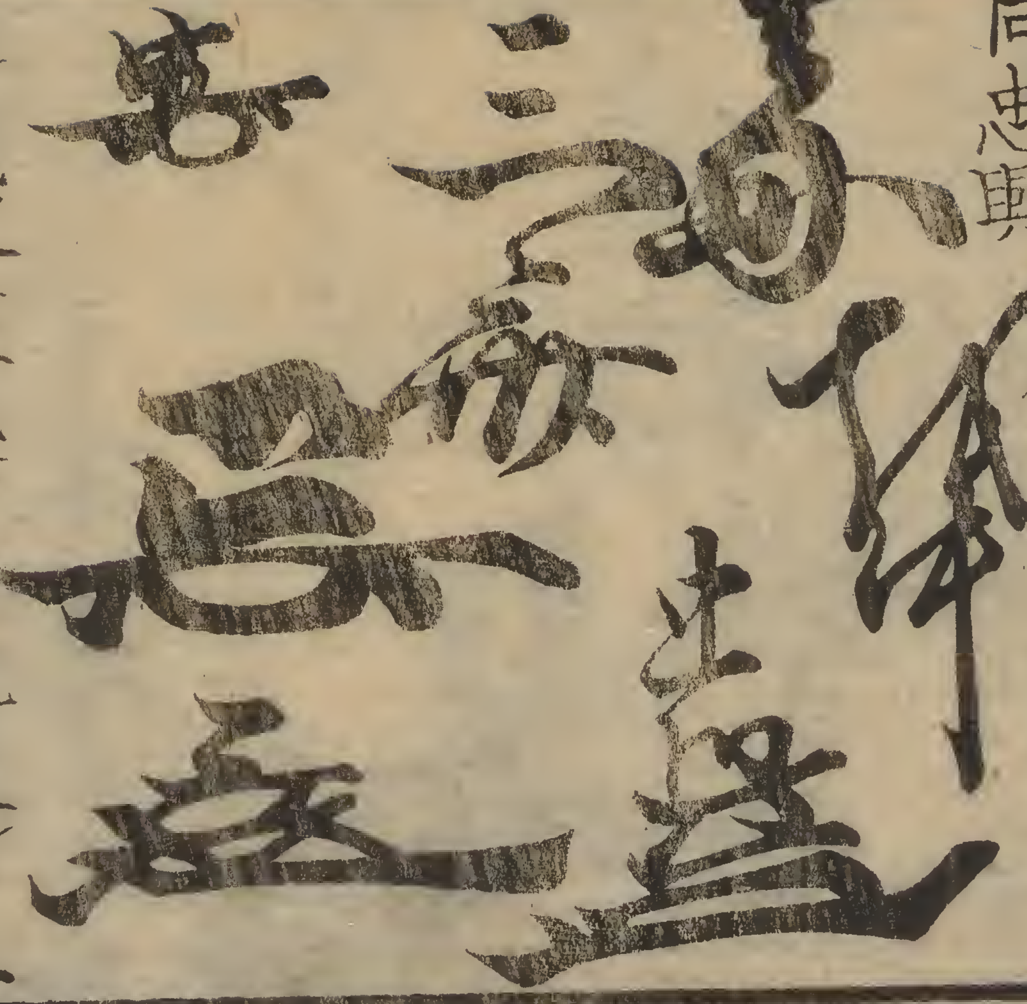
下総守長秀四男山城守従五位
下剃髪シテ笑岩ト号ス紹鷗ニ
學ブ

細川藤孝朝臣



茶事ヲ紹鷗ニ學フ茶人系譜
ニ出タリ

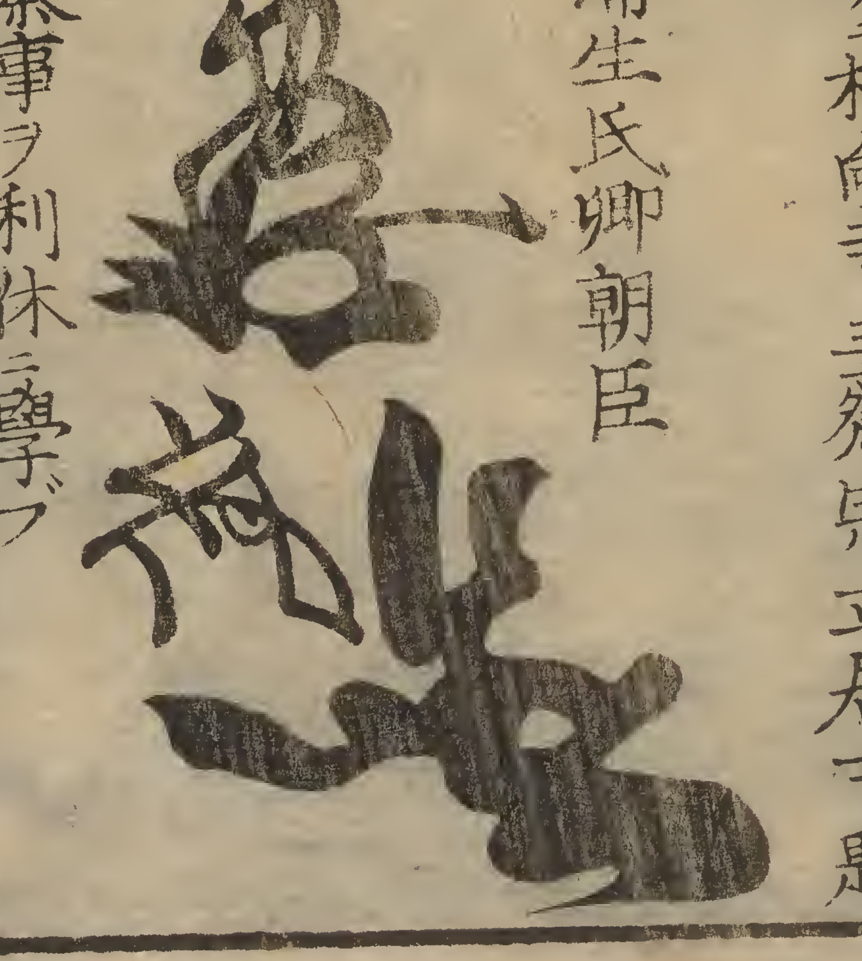
同忠興



參議従三位越中守祝髪シテ三
齋ト称ス正四位藤孝男ナリ正

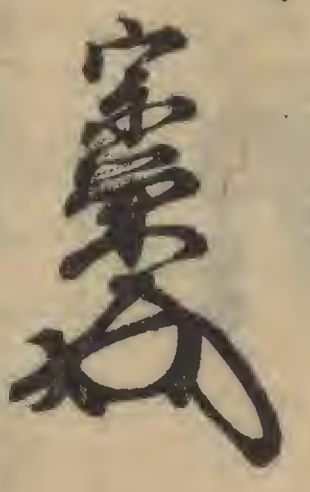
保二年十二月二日卒ス歳八十三歯骨ヲ紫野高桐院ニ葬ル牌銘ニ松向寺三斎宗立居士ト題ス

蒲生氏郷朝臣



茶事ヲ利休ニ學ブ参議従四位下飛騨守文禄四年二月七日ニ卒ス牌子ヲ紫野昌林院ニ設ケテ昌林院高岩宗恵居士ト題ス

桑山重晴



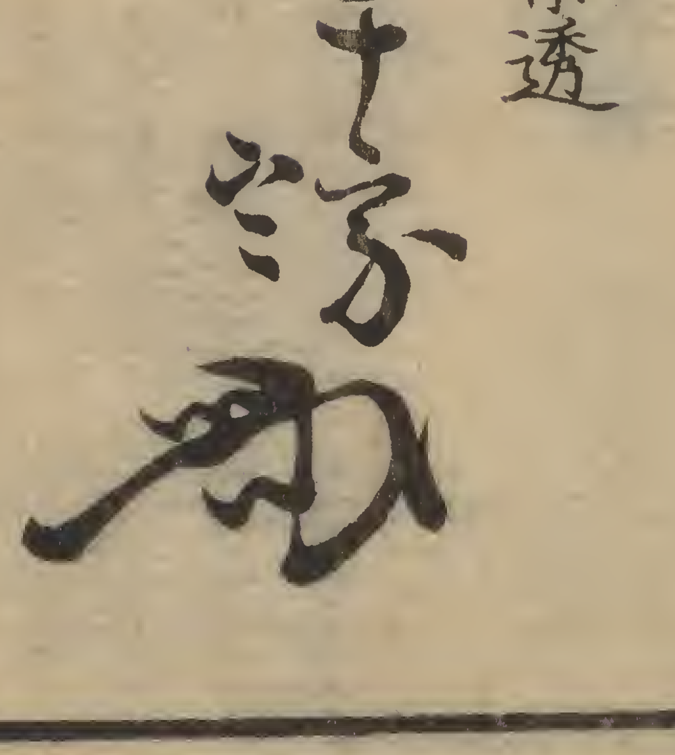
修理亮従五位下剃髪シテ宗栄治部卿法印ト云フ慶長十年十月朔日卒ス法名ヲ果報院春谷宗榮居士ト云フ茶事ヲ利休ニ學ブ

桑山重長



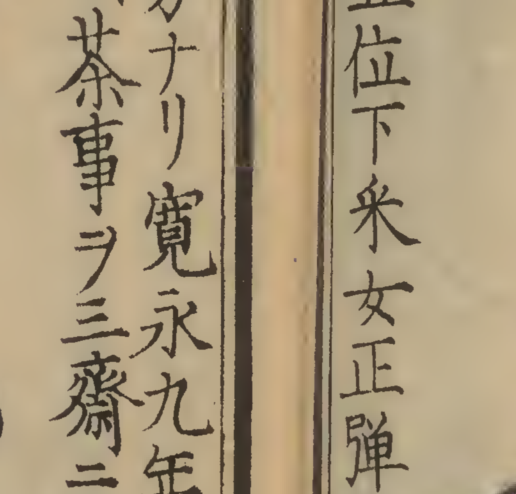
従五位下左近洞雲ト號ス祝髪シテ宗仙ト称ス牌子ヲ紫野洞雲菴ニ設ケテ洞雲菴宗仙居士ト題ス

佐久間宗透



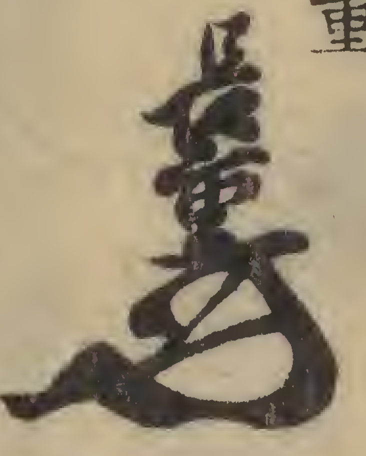
従五位下甚九郎不干齋ト号ス河内守政實男ナリ父子トモニ右大臣信長公ニ仕フ牌子ヲ紫野松泉菴ニ設ケテ松泉宗岩居士ト題ス

佐久間真勝



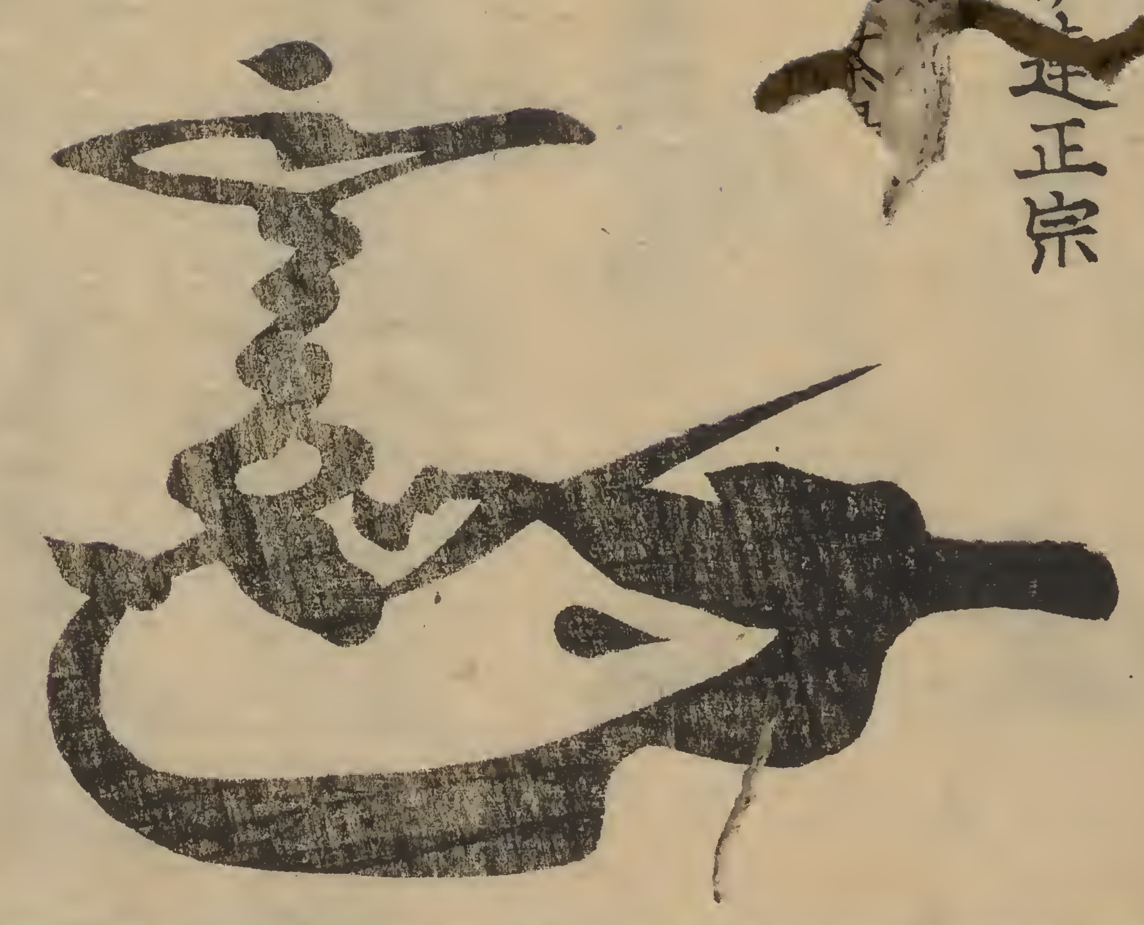
将監従五位下大膳勝之男ナリ牌子ヲ紫野寸松菴ニ設ケテ寸松菴山隠宗可居士ト題ス

淺野長重



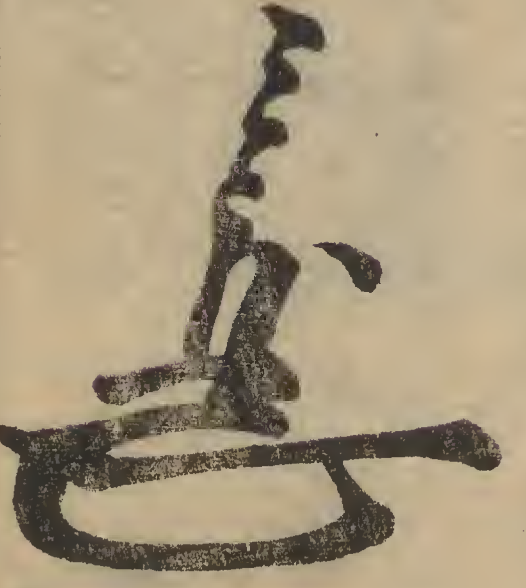
従五位下釆女正弾正少弼長政第三男ナリ寛永九年九月三日卒ス茶事ヲ三齋ニ學ブ

伊達正宗



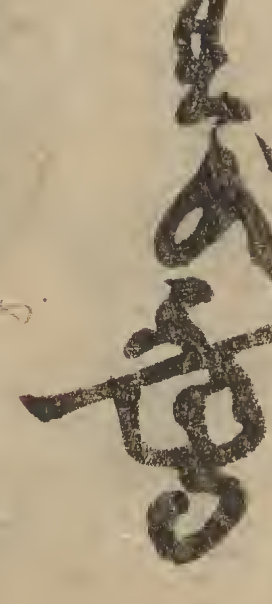
権中納言従三位陸奥守寛永十三年五月廿四日卒歳七十三

古田重勝



従五位下織部正印齋ト称ス性
茶事ヲ嗜ム而メ善ク古器ヲ識
鑒ス茶法ヲ宗易ニ受ク乃チ茶
法百個条ヲ録シテ重勝ニ授ク
元和元年六月十一日有罪自殺
ス

有馬豊氏



中務少輔則頼男従五位下治部
大輔寛永十九年卒ス或ハ利休
ノ七哲ノ一人ト云フ

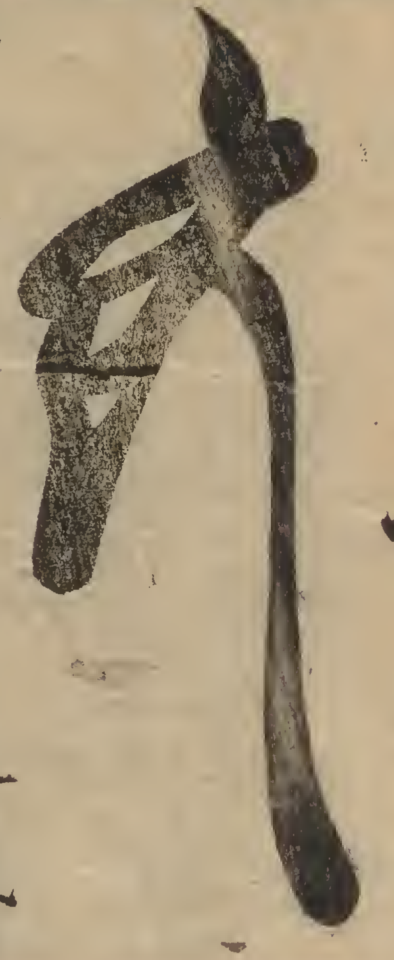
大野治長



従五位下修理亮豊臣秀頼公ニ仕
フ茶法ヲ古田重勝ニ学ブ元和元年
五月八日大阪城ニ自殺ス

木下勝俊　長嘯子ト号ス





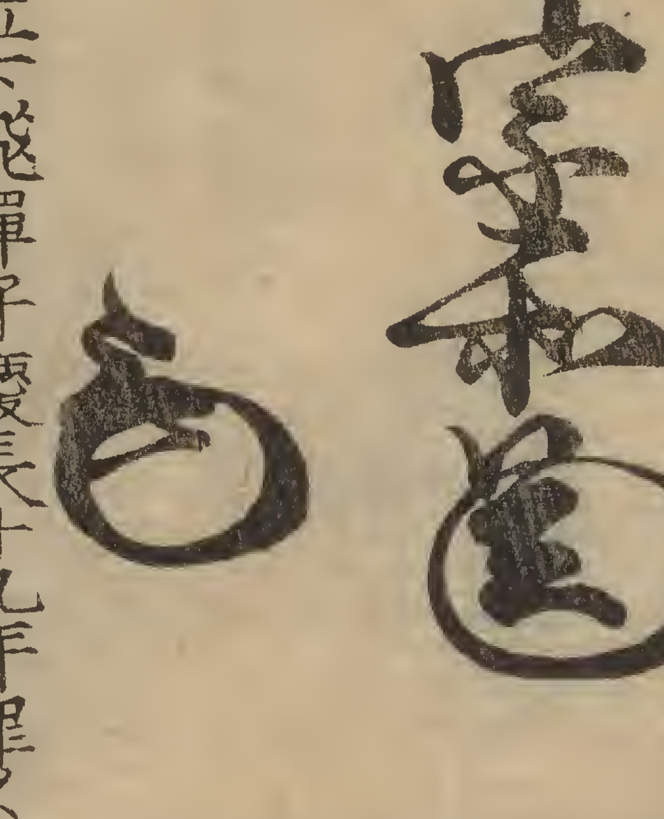
委クハ茶人系譜ニ出タレハ畧ス哉翁
挙白堂東翁等ノ号アリ

金森長近



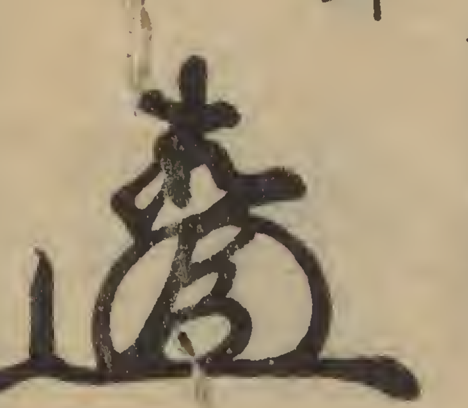
初名五郎八従五位下出雲守法名
玄英茶法ヲ利休及ビ少庵ニ学ブ

金森重近



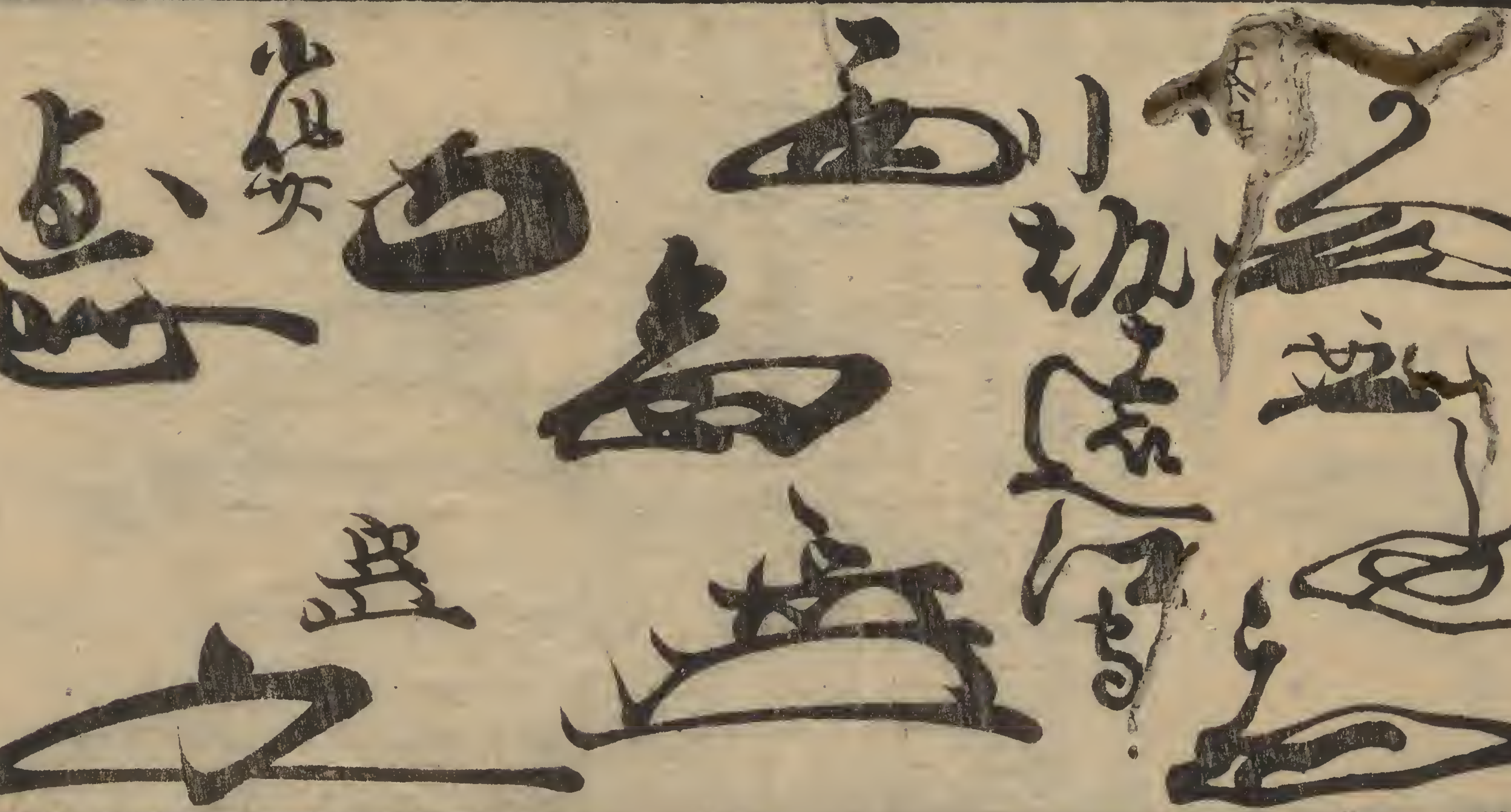
従五位下飛騨守慶長十九年罪ヲ父出雲守可重ニ得テ京師ニ蟄居ス剃髪シテ宗和ト号ス明暦二年卒ス京師天寧寺ニ葬ル今子孫加州太守ニ仕フト虽モ嫡家ニ通セズ

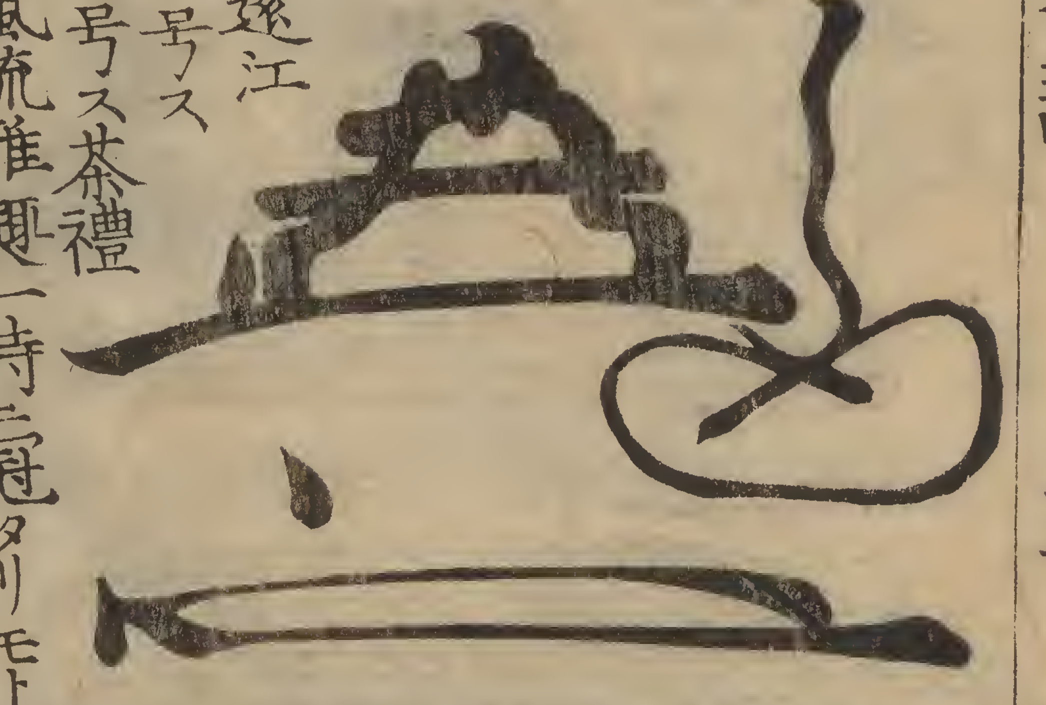
大久保忠隣



七郎右衛門忠世男相模守従五位下[illegible]部大輔寛永五年六月卒ス古田織部ニ學ブ

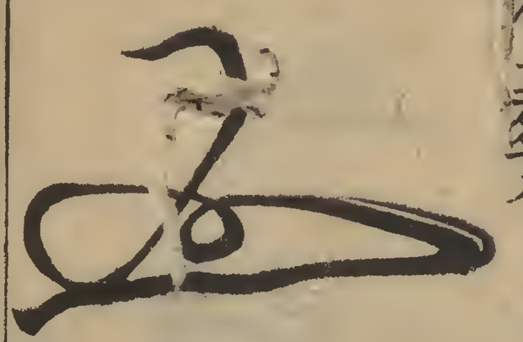
小堀政一



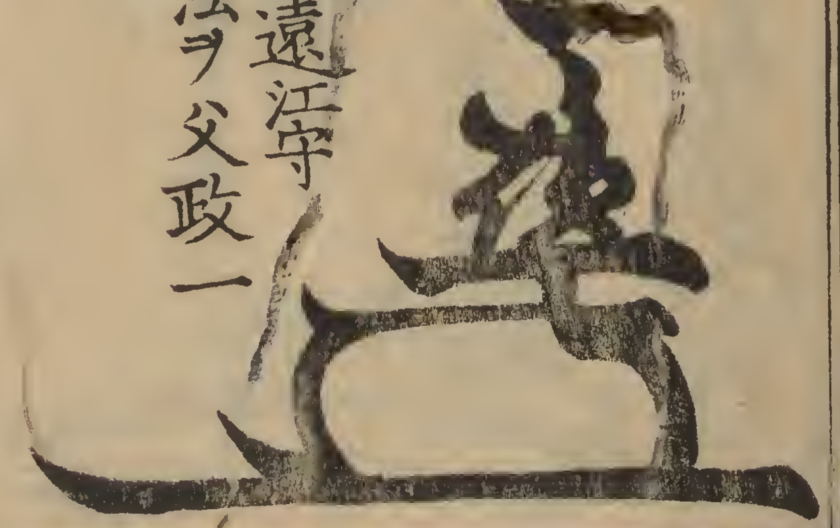


従五位下遠江守宗甫ト号ス又孫蓬ト号ス茶禮ヲ嗜ム風流雅趣一時ニ冠タリモトヨリ識鑒ノ明アリ和漢ノ名碑品題コノ公ニ定ヘルトハ驥馬ノ伯樂ニアフガ如シ蓋シ古田重勝佐久間真勝小堀政一ノ三家 大猷君ノ師範トス正保四年二月六日卒ス歳六十九紫野孤蓬庵ニ塟ル

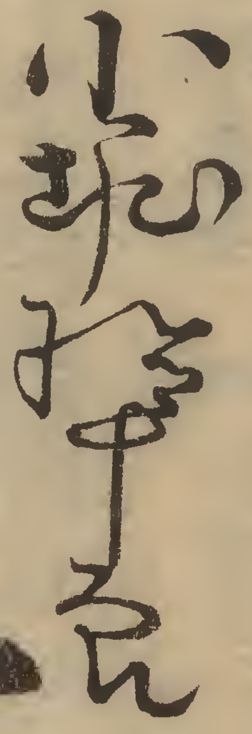
小堀政俊

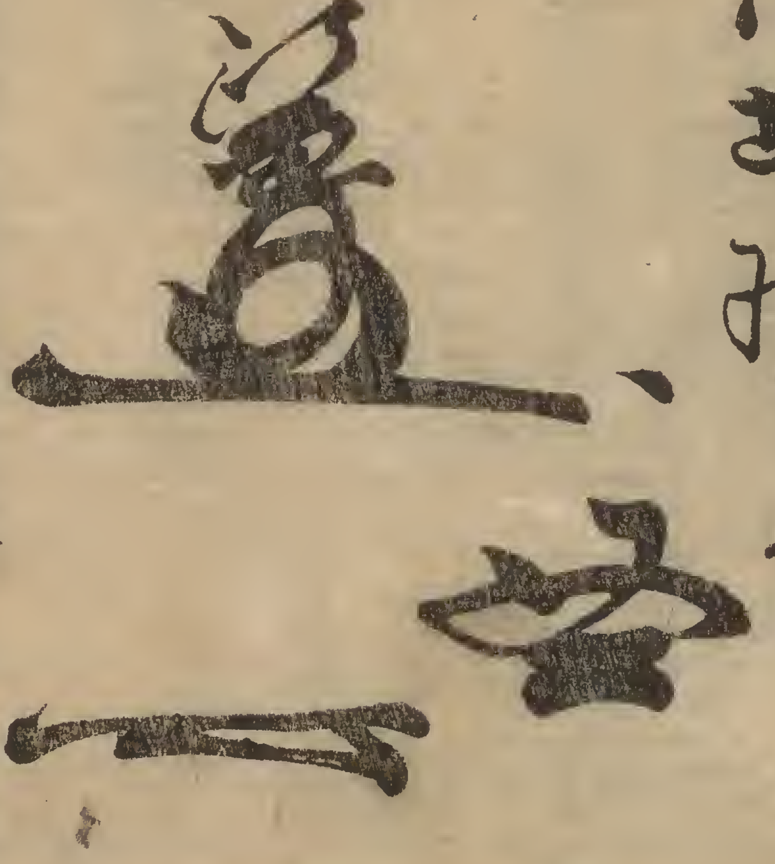


従五位下大膳正遠江守政一男ナリ茶法ヲ父政一ニ受ク



小堀政尹

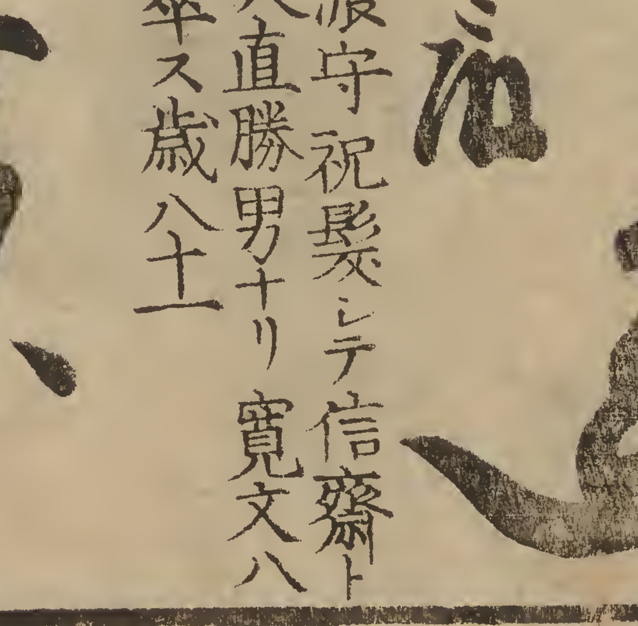




遠州次男権十郎蓬菴ト号ス茶法父遠州ニウク元禄七年八月四日ニ卒

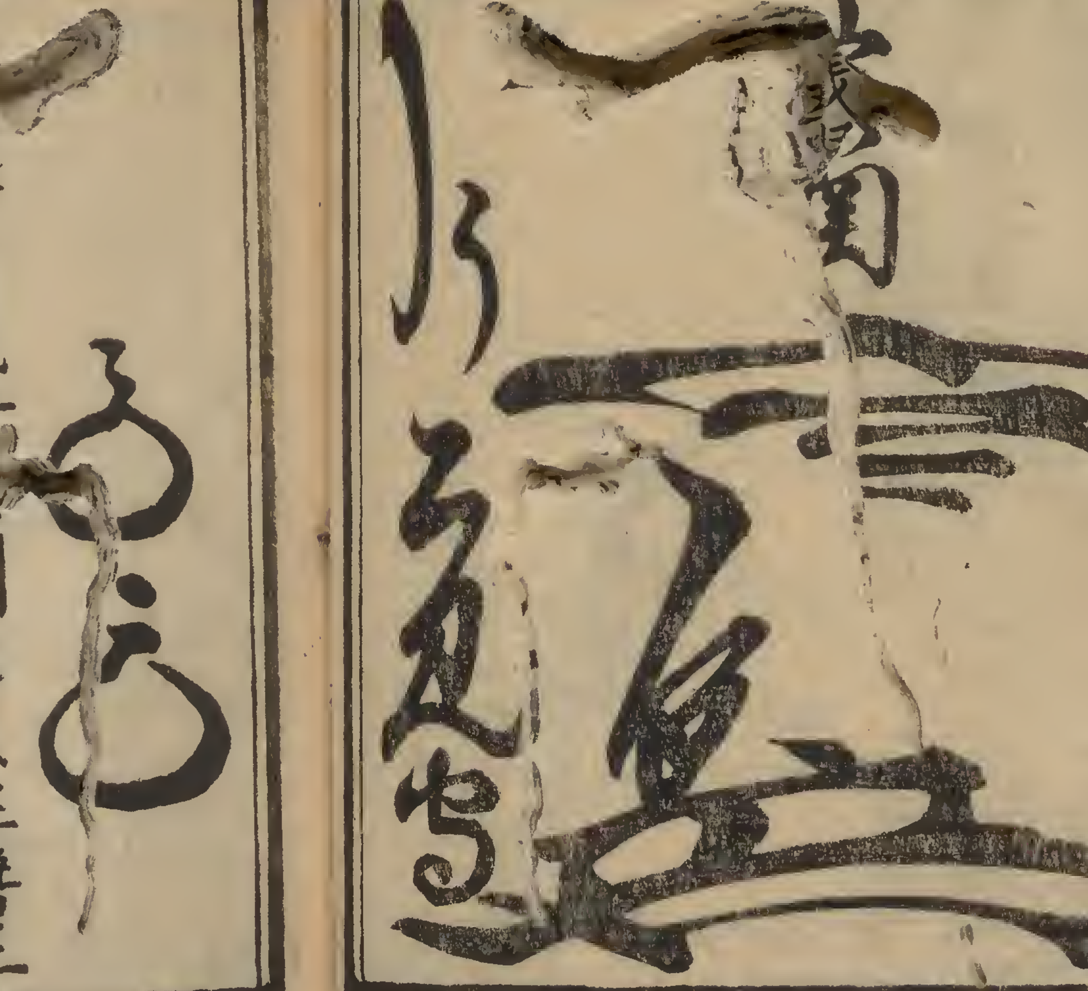
ス歳七十深川浄心寺ニ葬ル陽光院蓬雪日静居士

永井尚政



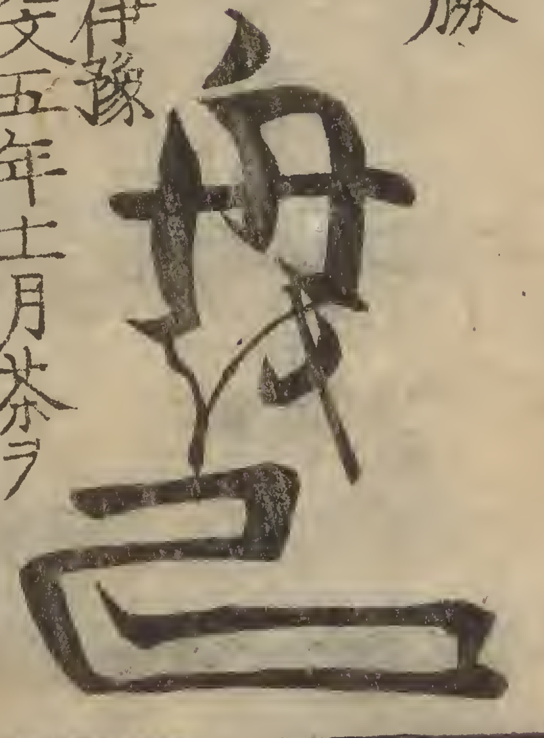
従四位下信濃守祝髪シテ信斎ト号ス右近大夫直勝男ナリ寛文八年九月十一日卒ス歳八十一

片桐貞昌



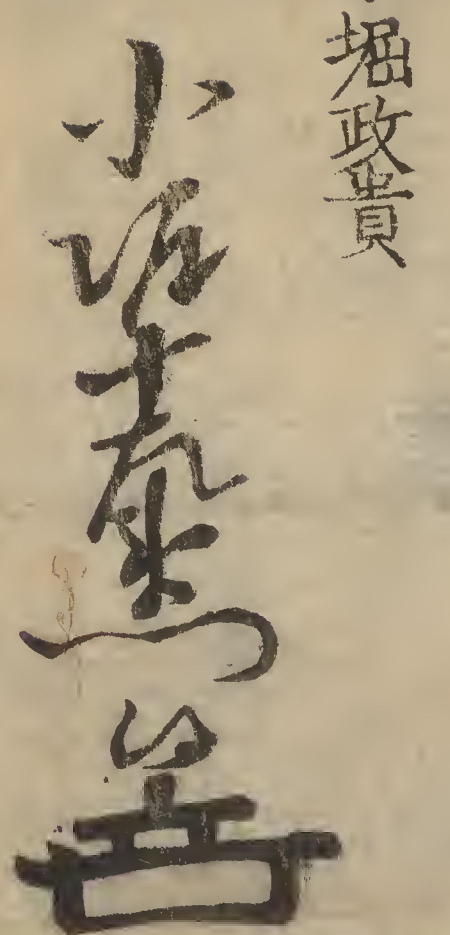
従五位下石見守宗関ト号ス主膳正貞隆男ナリ茶法ヲ利休及ビ桑山宗仙ニ学ブ卒夫後多賀左近[illegible]吉勝片桐貞昌ノ主家茶人ノ宗匠ト称ス蓋シ寛文五年十一月二十日卒ス紫野高林院ニ廟子ヲ置ク三宗関居士ト題ス

船越吉勝



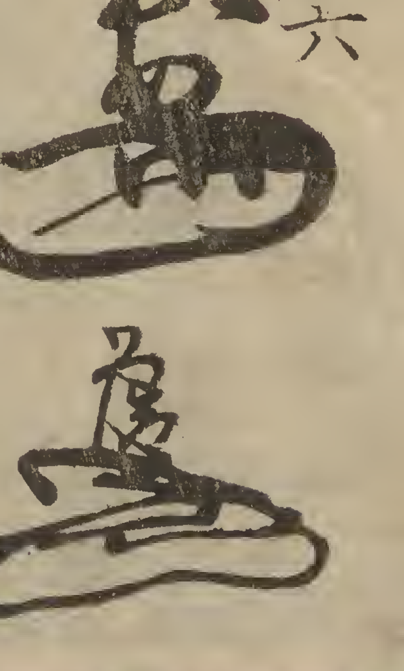
従五位下伊豫守　寛文五年十一月茶ヲ巌有君ニ献ス寛文十一年九月卒ス

小堀政貴



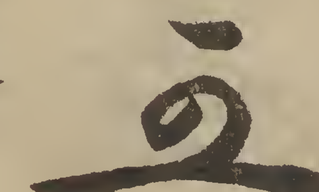
遠州ニ男七左衛門ト称ス茶法ヲ
父遠州ニウク寛永元年六月廿三日
卒ス六十六本有宗非居士

佐川田喜六



名ハ昌俊黙々壺翁臥輪ノ号アリ
永井尚政ニ仕ヘ寛永十六年八月三日
卒ス茶ヲ小遠州ニ学ブ和哥ヲ善ス

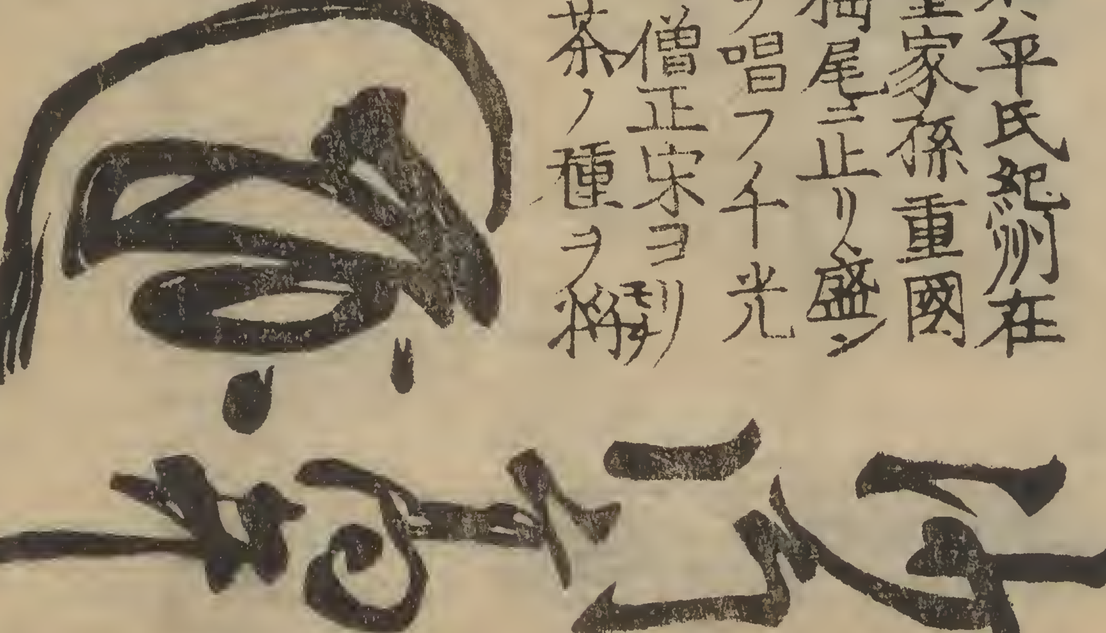
榮西禪師



建仁寺ノ開山ニシテ名ハ榮西明菴
備中ノ人刺史貞政ノ曾孫
ナリ仁安三年宋ニ入リ久シカラズシテ
皈ル又文治三年宋ニ入ル建久二
年皈朝ノトキ茶ノ種ヲ持来リ筑
紫背振山ニウエ、コヽロミ京ニ登リテ
明恵上人ニ贈ラル是本朝茶種傳
來ノ始ナリ栄西上人僧正ト云フ後千光
國師ト号ス建保三年将軍家実朝
公御病悩アリ師御加持ニ伺候スルトキ
一盞ヲ献シ名シテ茶一盞ヲ進ラ
セ茶徳ヲ挙タル書一巻ヲソヘ
テ献セラル将軍家御本快ノヽチ殊ニ
御感悦マシマスト云々此書ハ今傳フル
喫茶養生記コレナリ

明恵上人

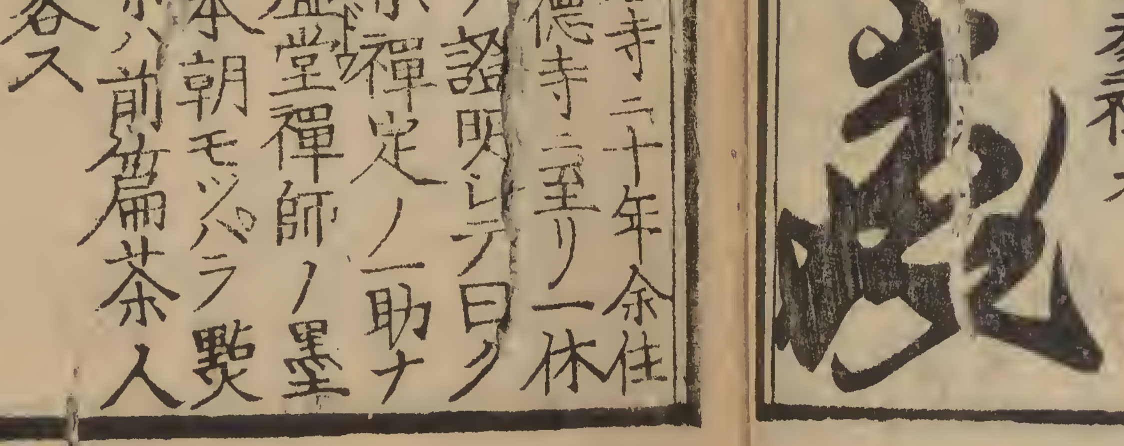
釋高弁姓ハ平氏紀州在
田郡ノ人重家孫重國
ノ子ナリ栂尾ニ止リ盛ン
ニ賢首宗ヲ唱フ千光
國師葉上僧正栄ヨリ
皈朝ノトキ茶ノ種ヲ将
キタリテ上
人ニ贈ラル
上人乃チ
医師ニ問ヒ
シニ茶ハ眠
ヲ覚シ気
ヲ晴ラスノ



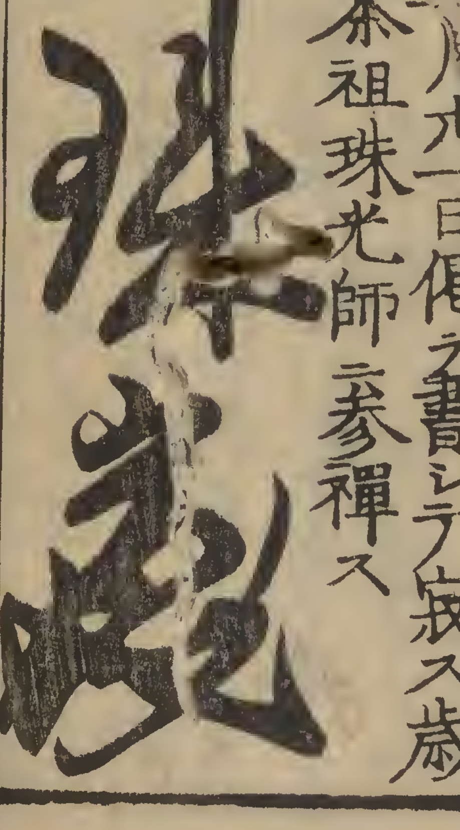
徳アリト答ヘシカハ僧徒勤学ノ助ケトモナルベシトテ栂尾ニウヘラレ後ニ宇治里ニウツシ植サセラル是我朝茶ヲ栽ル始ナリ寛喜四年正月十九日弥勒ノ号ヲ唱テ寂ス歳六十

一休和尚

名ハ宗純自ラ号シテ狂雲ト云フ又宗順夢閨瞎驢國景ト号ス後小松帝ノ庶子ナリ文明六年詔シテ大徳寺ニ住セシメ宸書紫衣ヲ賜フ師受ズ八十五歳ニシテ再ヒ妙勝寺ニ住ス明年寓山ニ法堂ヲ造立ス文明十三年十一月廿一日偈ヲ書シテ寂ス歳八十八茶祖珠光師ニ参禅ス

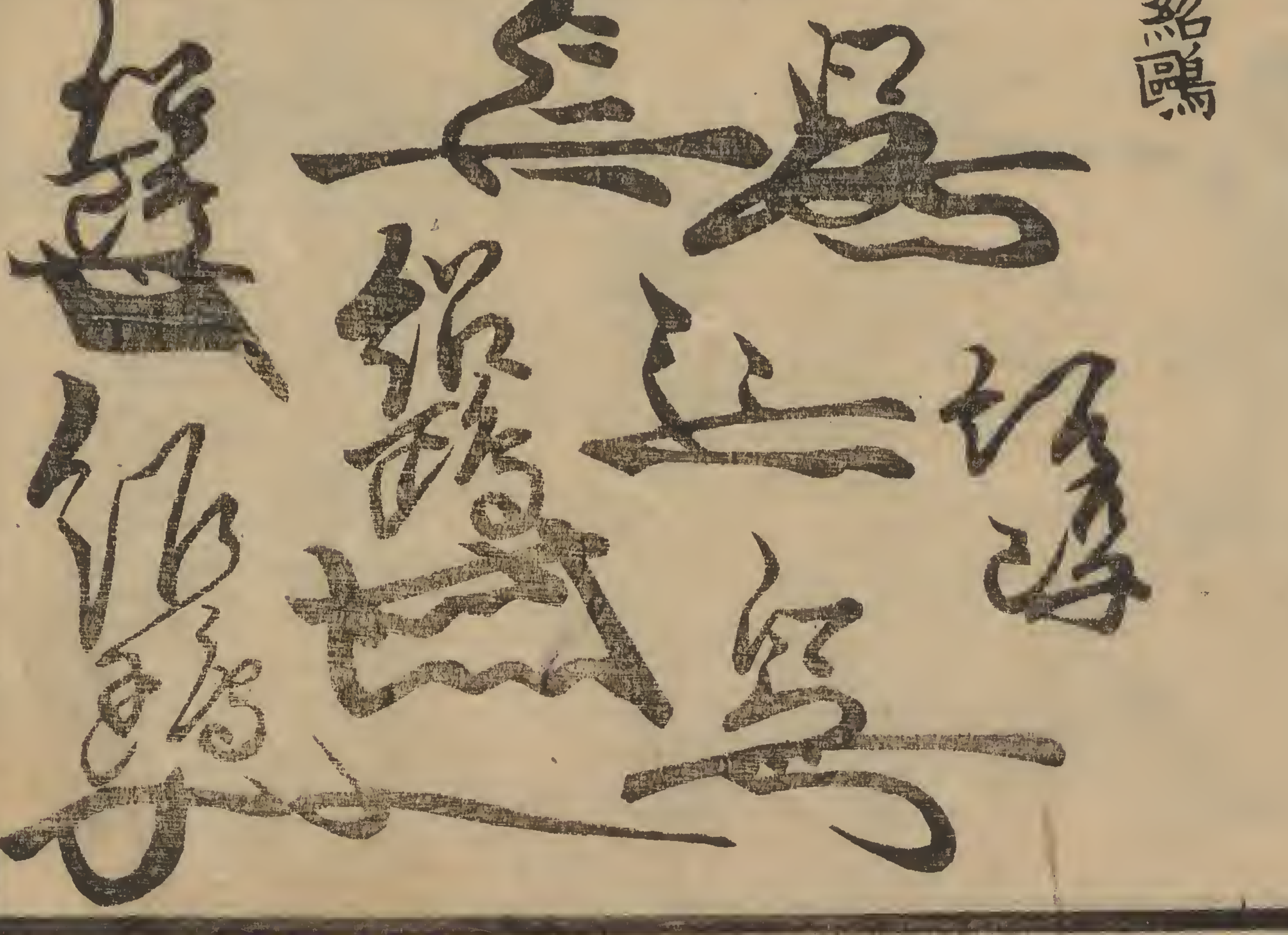


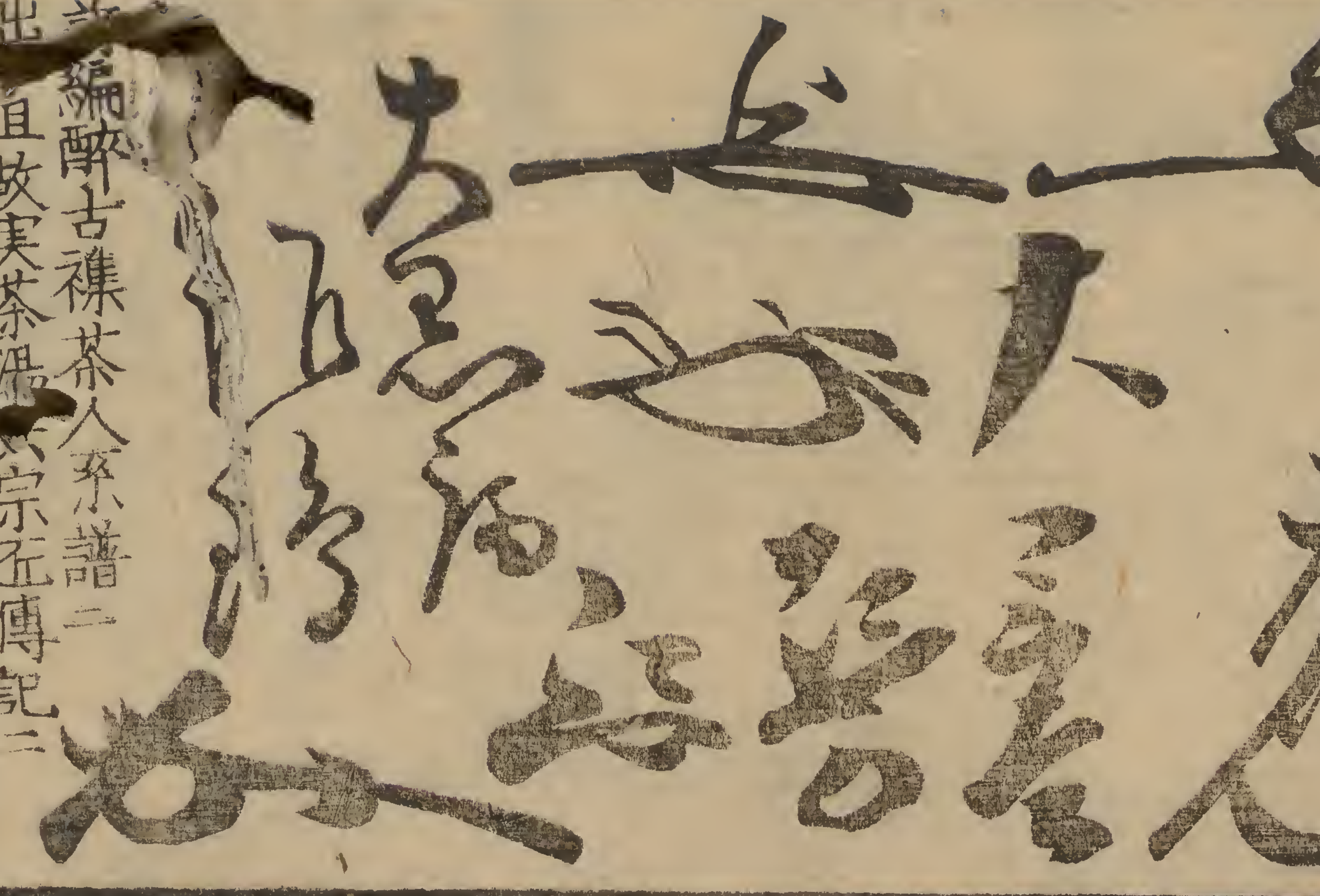
珠光



幼年ノトキ南都称名寺ニ二十年余住職シテ年三十ノコロ大徳寺ニ至リ一休和尚ニ参問ス一休之ヲ證明シテ曰ク茶ハ心眼ヲ覺ス吾宗禅定ノ一助ナリトテ秘重セラレシ虚堂禅師ノ墨蹟ヲ珠光ニ與フコレ本朝モツバラ墨蹟ヲ茶ニ用ル中興ナリ余ハ前篇茶人系譜ニ詳ラカナレバ畧ス

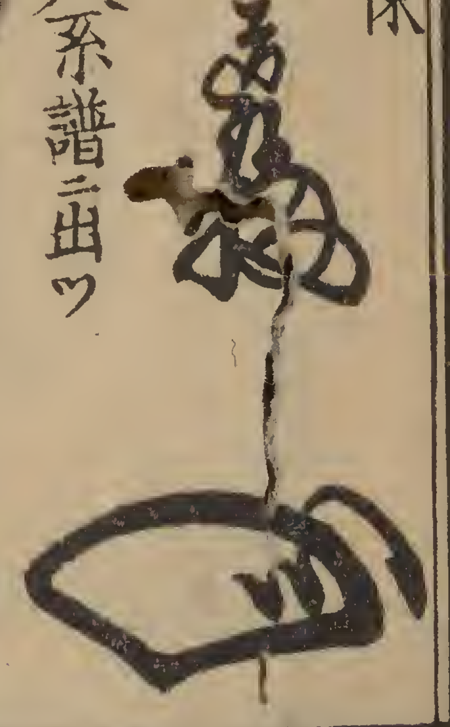
紹鷗





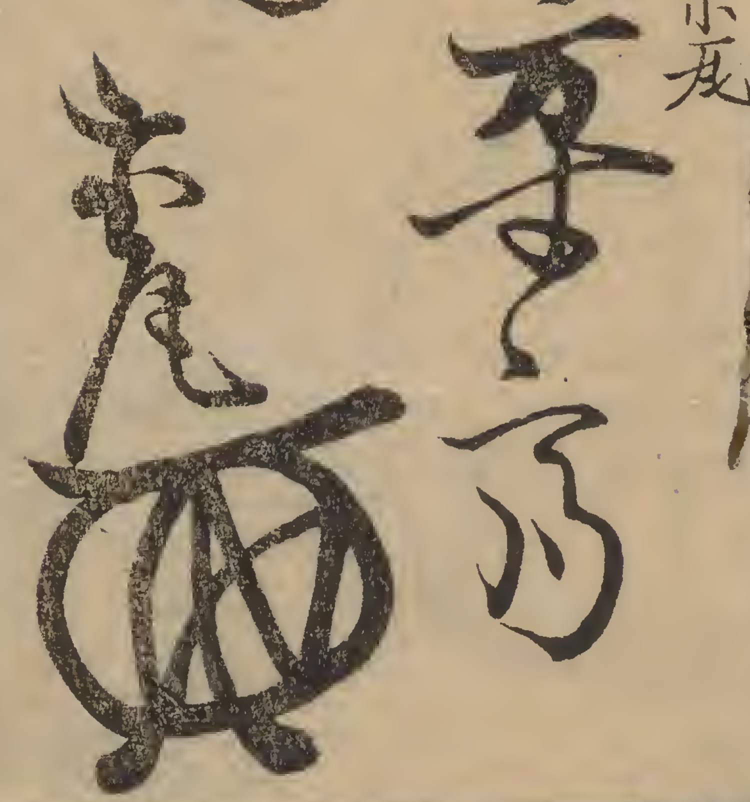
前編酔古襍茶人系譜ニ
出且故実茶湯六宗匠傳記ニ
出ヅ奢年ヲ掲ニ懐宝[illegible]珠海年代
ノ部ニ出ツ

北向道陳



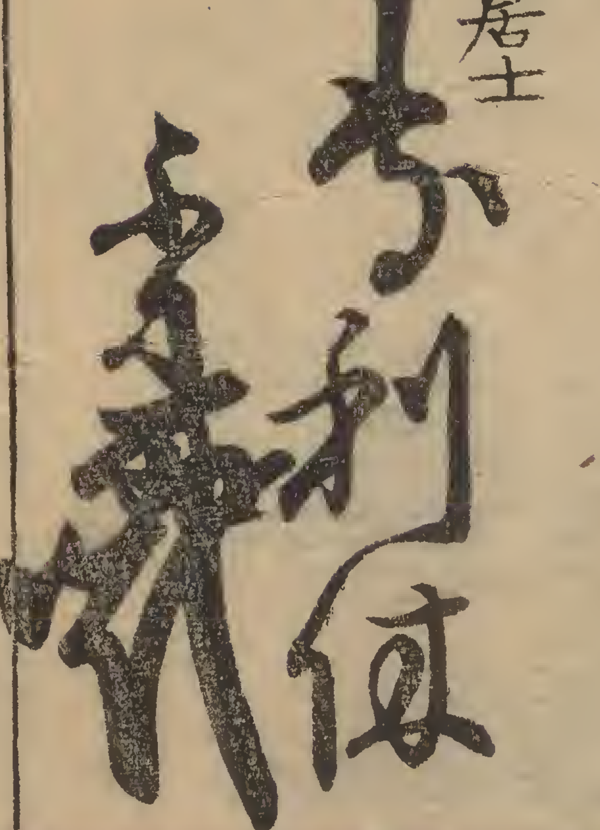
前編茶人系譜ニ出ツ

武野宗瓦



方寸斎ト号ス紹鴎男ナリ南宗寺
牌名ニ方寸斎光徹宗瓦居士ト題ス

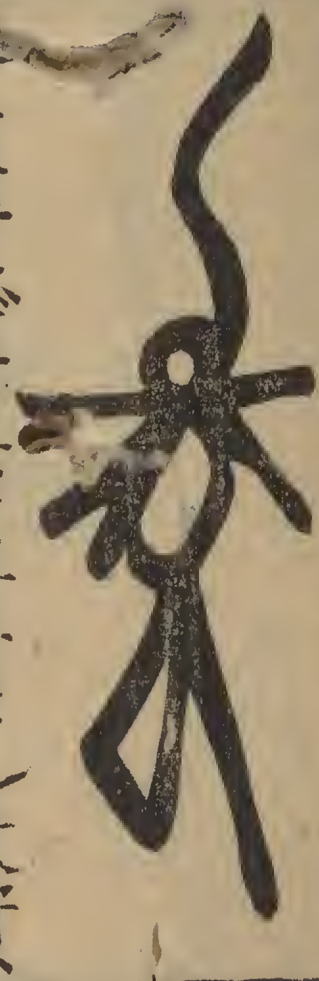
利休居士



監定文



延享三年ヨリ百六十五年ニナル故實ハ本阿弥六宗匠傳記ニ出ツ



高山南坊



慶首主左海南宗寺中集雲院名宗慶ト云フ

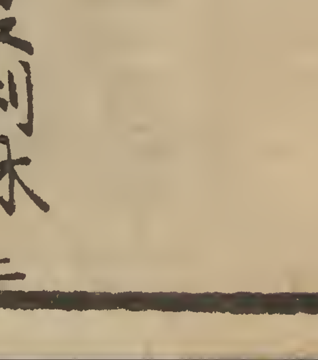
曽呂利



杉本甚右衛門ト号ス剃髪シテ坂内宗

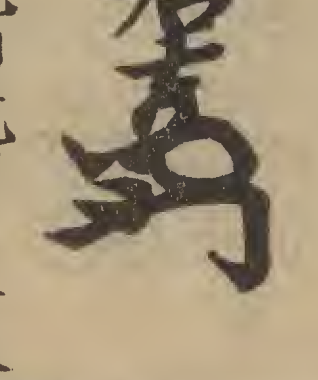
裕ト号シ沙界ニ住ス豊太閤ニ奉仕ス

里村紹巴



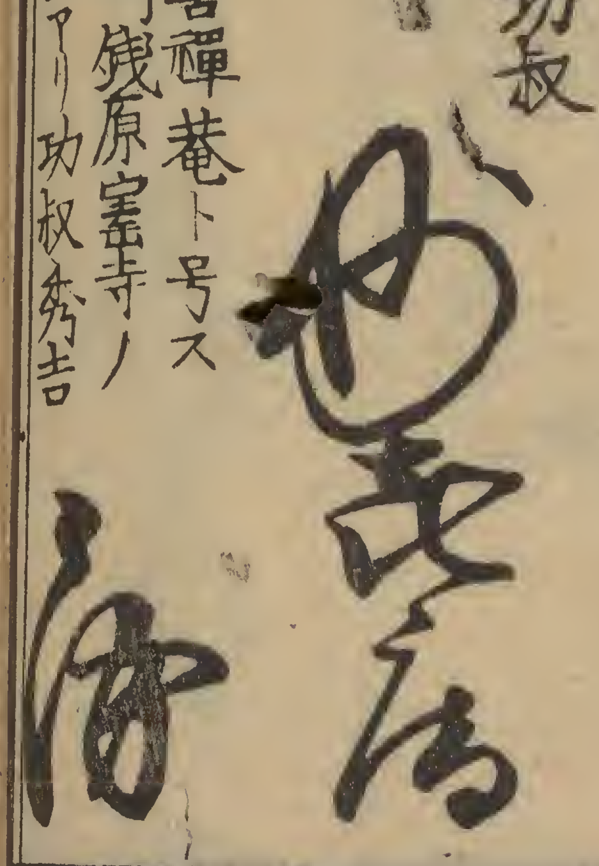
法眼臨江斎半醒子ト号ス利休ニ學ブ

因果居士



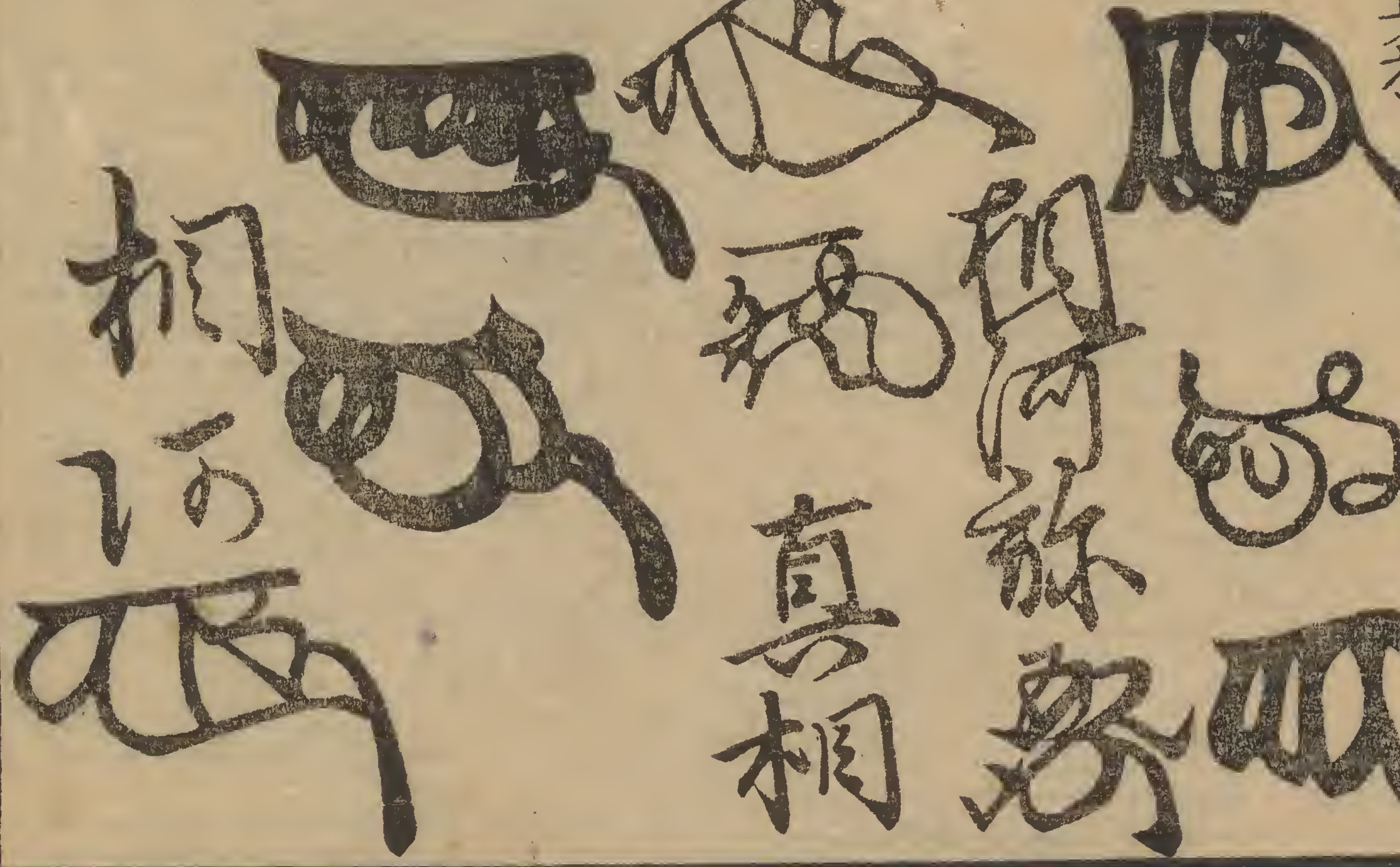
山城北細川村ニ住ス金花山滝下下界ト称ス乃チ安土論ノ判者

釋功叔



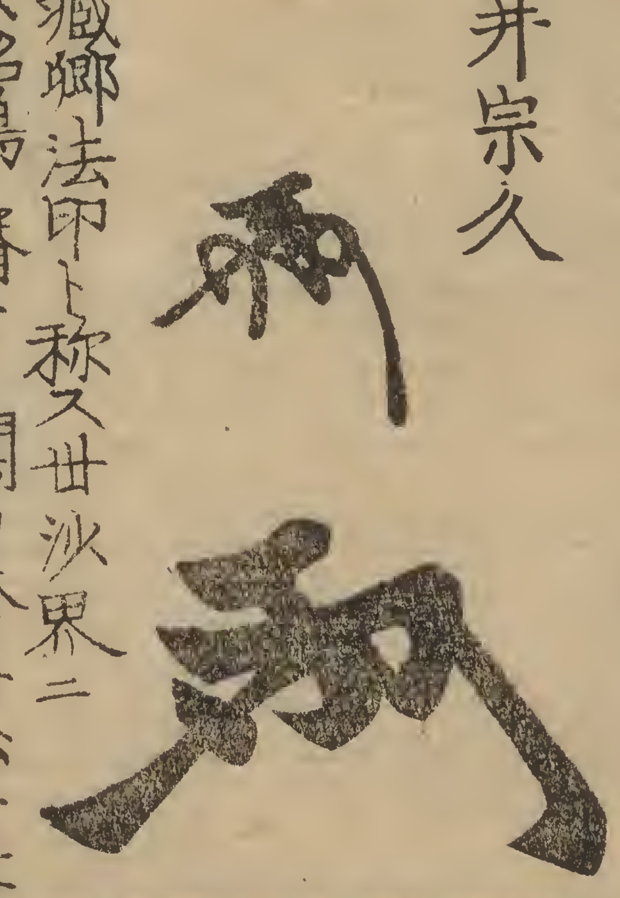
妙喜禪菴ト号ス山崎寶原寺ノ側ニアリ功叔秀吉公ニ昵近タリ恩遇モットモ渥シ公當菴ニ渡御ノトキ千宗易ニ命シテ茶房ヲ造ラシム茶ヲ献ス亭ノカタハラニ木ヲ栽テ袖摺松ト云フ

真相



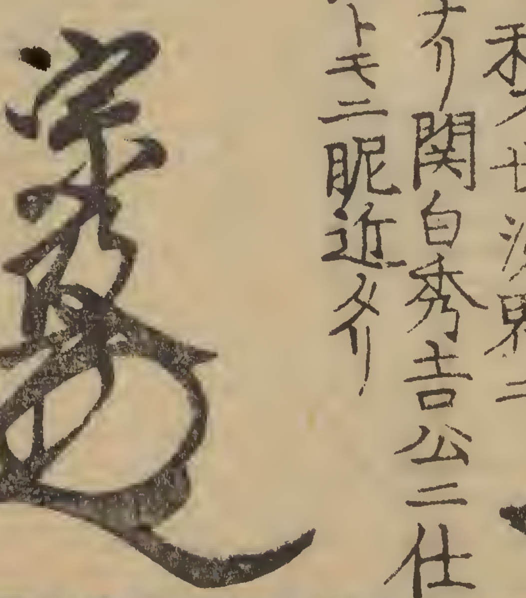
真能カ孫真藝子ナリ鑑岳ト号ス松雪齋相阿弥ト称ス左大臣義政公ニ仕フ父祖相続シテ同朋タリ茶礼ヲタシム書画ヲヨクシ詩ヲ賦シ和哥ヲ詠シ又香ヲ聞ノホマレアリ公ノ左右ニ侍リテツ子ニ宴會ノ席ニ従事シテ茶具ノ主視タリ古器ヲ點撿シ品題ヲ一定ス世人ミナソノ識鑒ニ服ス

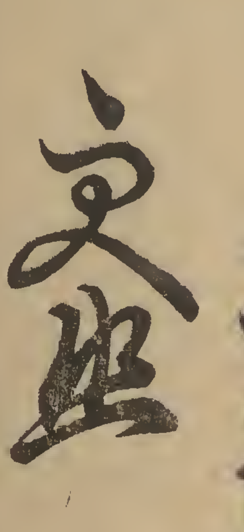
今井宗久

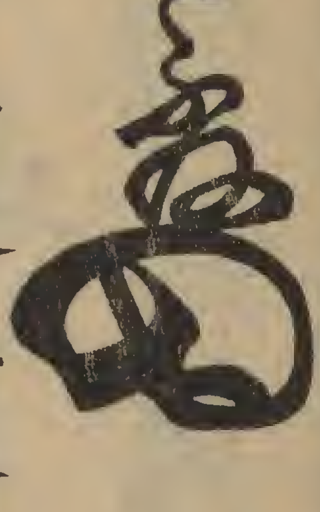


大藏卿法印ト称ス世沙界ニ住ス紹鴎ノ婿ナリ関白秀吉公ニ仕フ其子宗薫トモニ昵近タリ

津田宗及

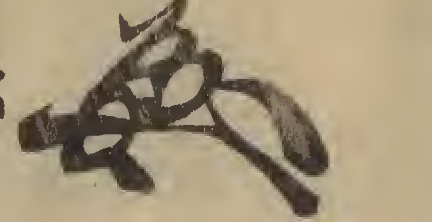






世々沙界ニ住ス更幽齋天信ト号ス天王寺屋宗達ノ男江月和尚ノ父ナリ関白秀吉ニ仕フ法眼和尚位ニ叙セラル天正六年八月九日ニ卒ス一本ニ天正十九年辛卯四月二十日トアリ

宗珠



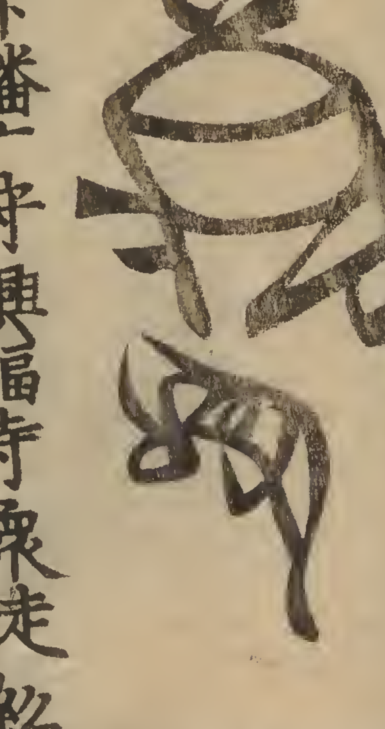
珠光ノ男南都ニ住シ印視齋ト号シ又京六条ニモ住ス

長谷川宗仁



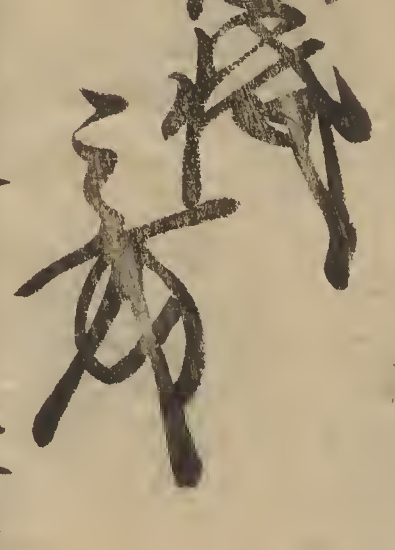
刑部卿法印信長公ニ仕ヘ又秀吉公ニモ仕フ茶ヲ紹鴎ニ受ク

吉市澄胤



従五位下播广守　興福寺衆徒　紹鴎ニマナブ

瀬田正忠



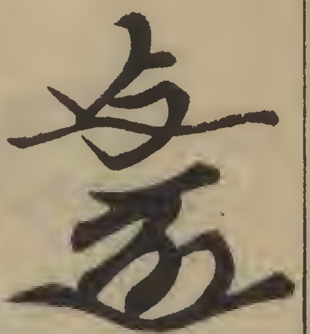
従五位下掃部頭　秀吉公ニ仕ヘ　利休ニ學ブ　能茶杓大形ヲ製ス　是ヲ掃部形ト云フ

橘屋宗玄



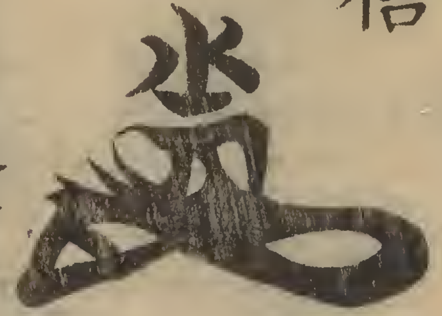
通称長兵衛　茶法ヲ小遠州ニ受ク　ツネニ親近シテ茶亭ヲアヅカル

宗祇



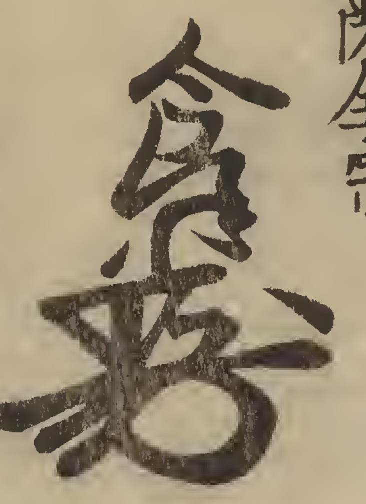
飯尾氏紀伊ノ人　種玉菴又自然齋ト号ス　文亀二年七月廿九日寂ス　八十一

冨田知信



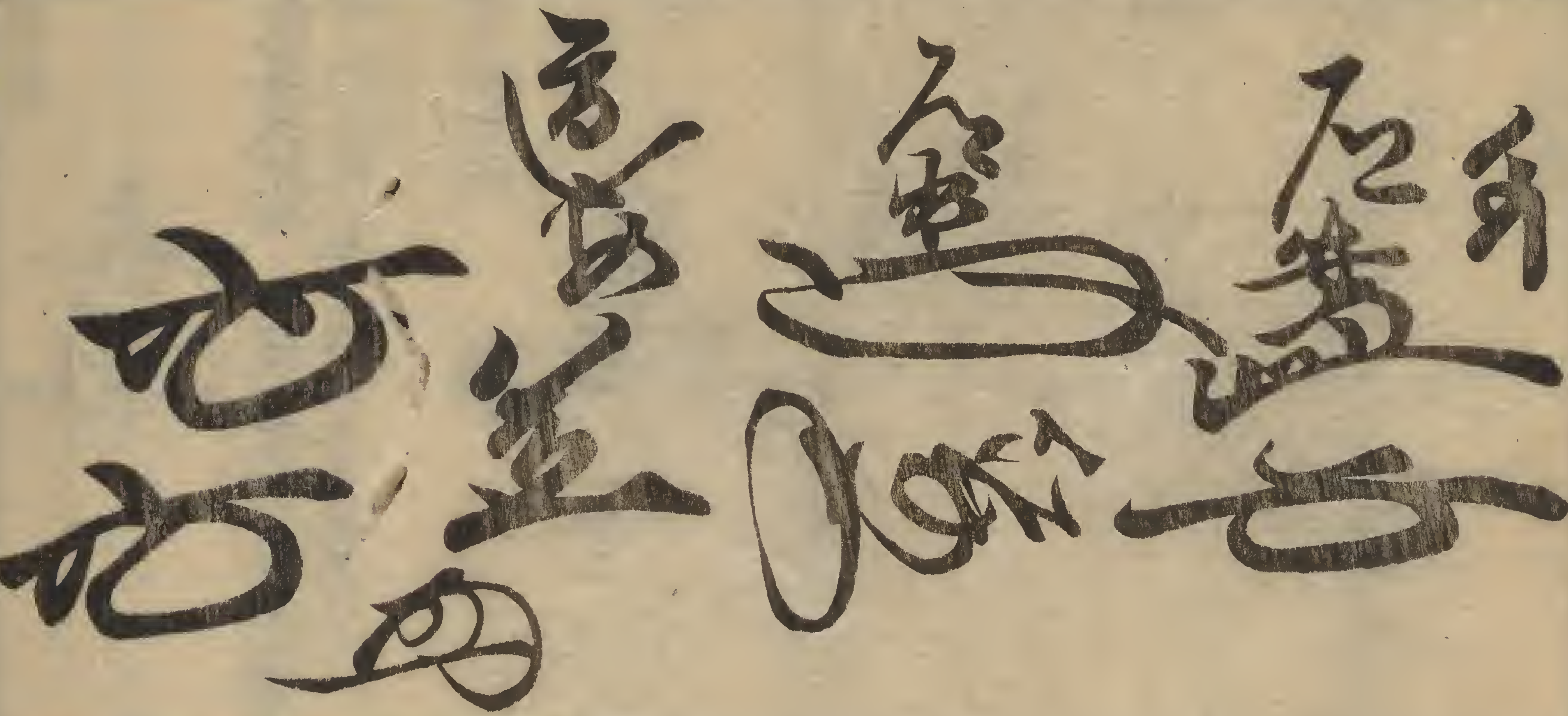
従五位下左近将監　豊臣太閤ニ仕フ　利休ニ學ブ

施藥院全宗



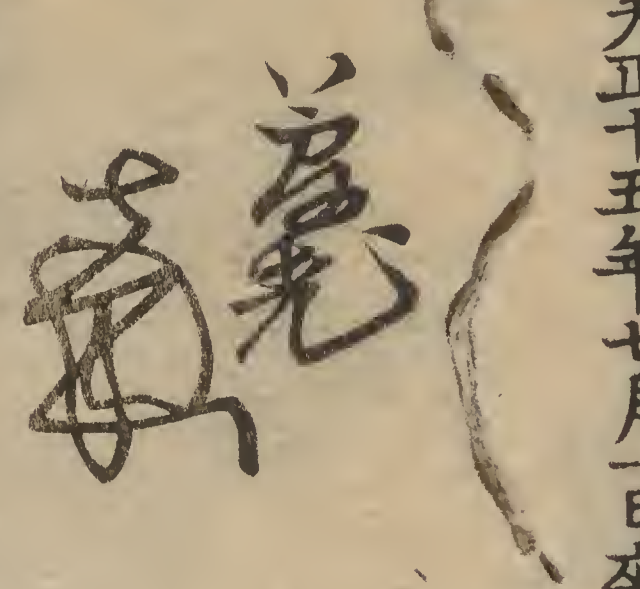
丹波氏　江州ノ人　豊臣太閤ニ仕フ　利休ニ受ク

千道安



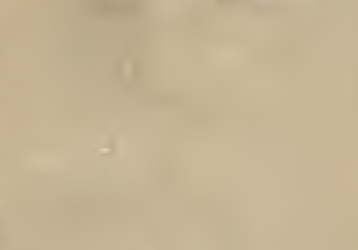
眠翁ト号ス初名ハ紹安後ニ道安ト改ム宗易ノ嫡男ナリ宗易没後前田利家ノ推挙ヲ以テ道安少菴免許ヲ蒙ムル蓋シ父ノ事ニ坐セラルヽナリ天正十五年七月一日卒ス

肖柏



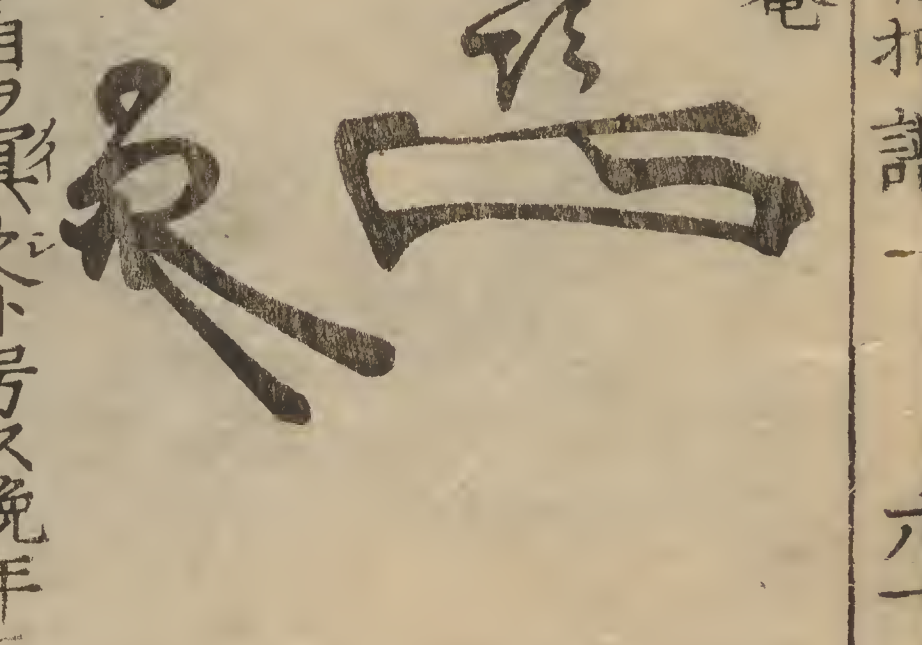
夢菴ト号シ佐海ニ住シ和哥ヲ好ム聞香ヲ志野宗信ニ交會シモトヨリ茶礼ヲタシナム家ニ漢ノ茶壷ヲ藏スコレヲ雛鶴ト称ス名世ノ珍器ナリ大永七年四月八日ニ卒ス年八十五

津田宗達



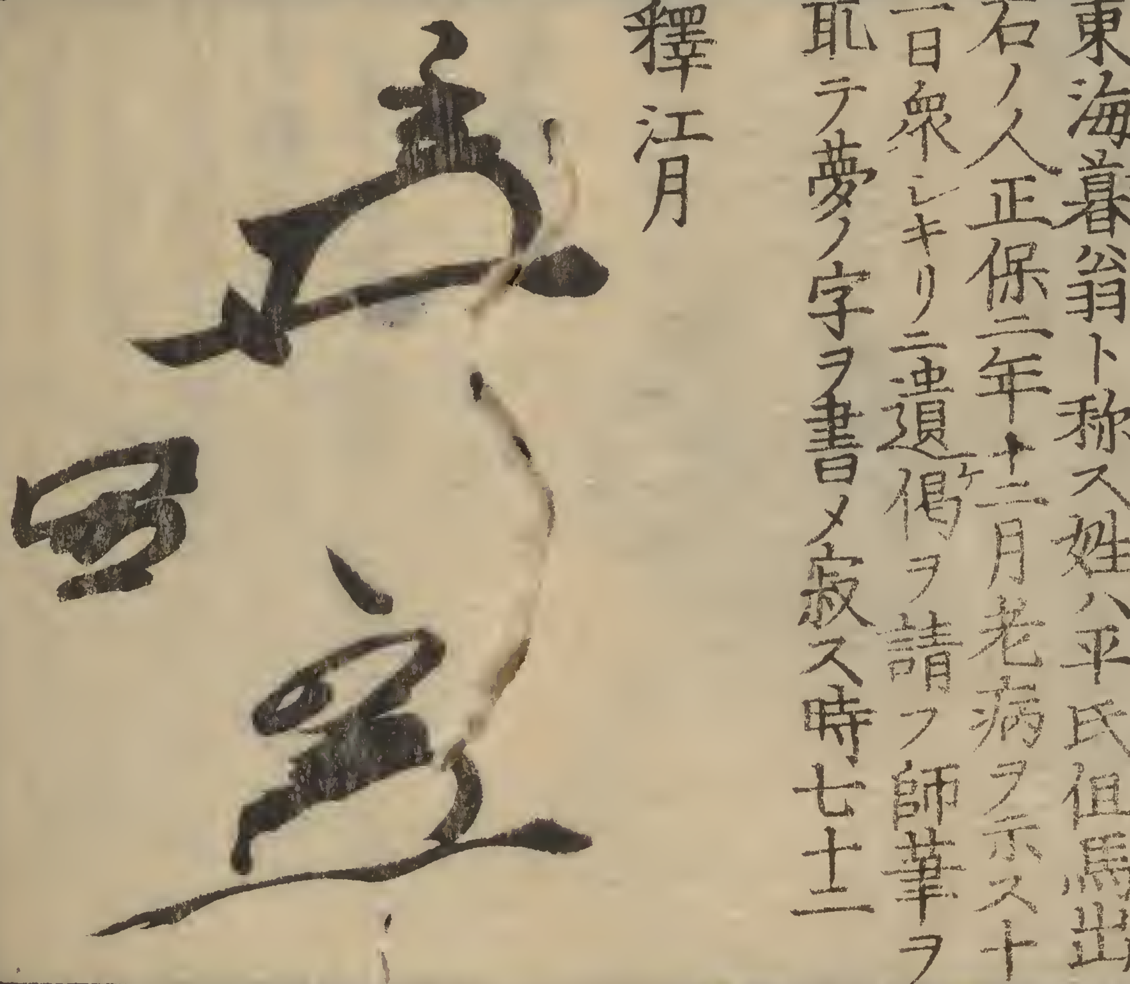
沙界ノ人宗及ノ父大通ト号ス茶ヲ紹鴎ニ受ク

釋澤菴



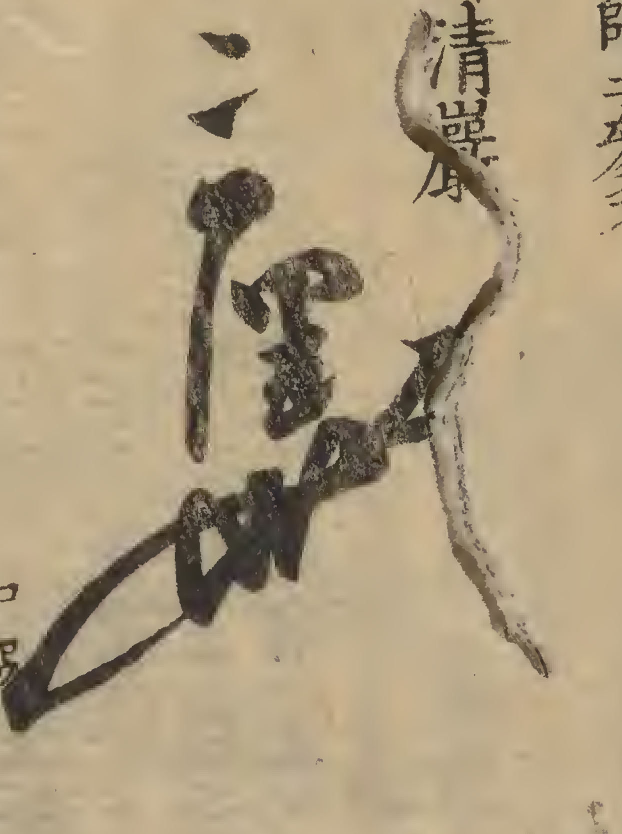
名ハ宗彭自ヲ冥之ト号ス晩年又タ東海暮翁ト称ス姓ハ平氏但馬出石ノ人正保二年十二月老病ヲ示ス十一日衆シキリニ遺偈ヲ請フ師筆ヲ取テ夢ノ字ヲ書メ寂ス時七十三

釋江月



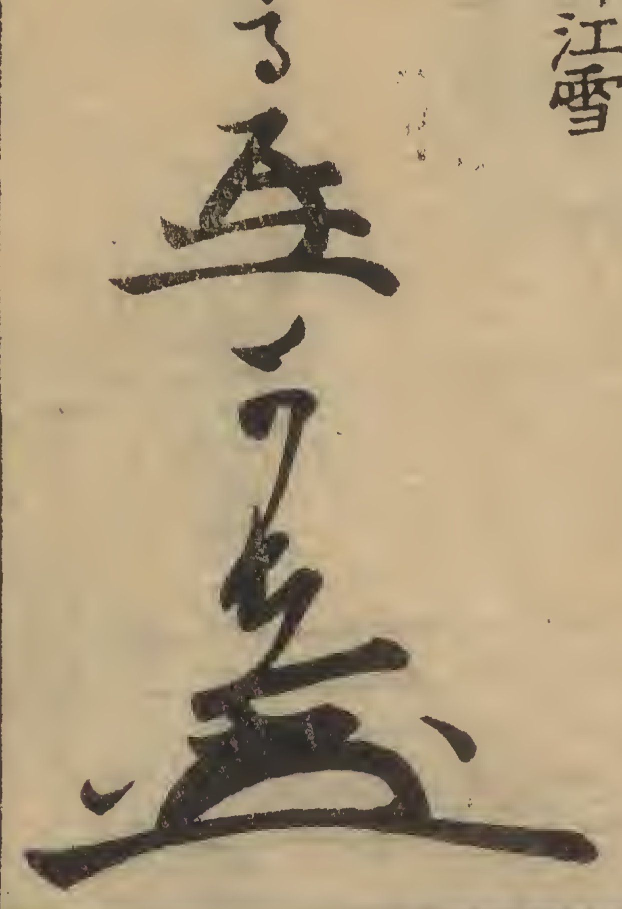
名ハ宗玩自ラ懵袋子ト号ス又欠伸子ト称ス泉界ノ人津田宗久ノ子ナリ大徳寺ニ住ス寛永二十年十月一日竜光院ニ寂ス歳七十　小遠州師ニ参ス

釋清巌



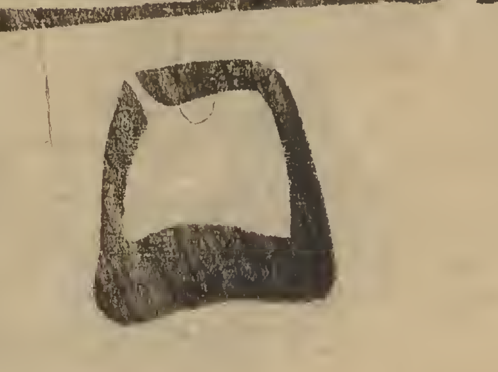
名ハ宗渭自ラ自安又タ孤陋ト号ス江州ノ人森氏ノ子ナリ寛永二年十一月十日大徳寺ニ出世ス寛文元年十一月廿一日偈ヲ書テ寂ス年七十四

釋江雪



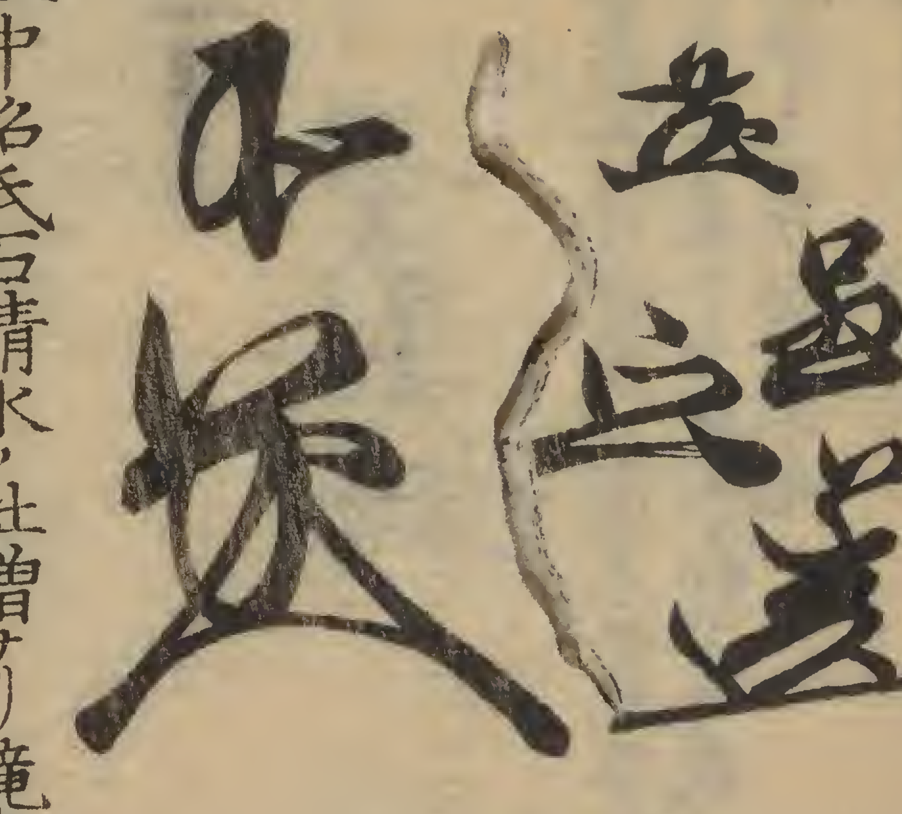
名ハ宗立不如無又破鞋子ト号ス寛文六年六月十九日寂ス年七十二諡シテ大綱智海禪師ノ号ヲ賜フ

宋寧一山



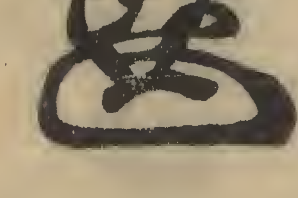
台州ノ人胡氏頑極行弥ノ法嗣ナリ元ノ初ニ至テ祖印寺ニ出世シ十年ニシテ補陀寺ニウツリ大德三年本朝ニキタリ九州太宰府ニ寓ス正安元年ナリ正和二年後宇多帝北條貞時ノ[illegible]寺ニ住侍セシム入山ノトキ 上皇臨幸[illegible]シテ道ヲ問タマフ一日疾ニ寝ス上皇使ヲツカワシテ問セラル臨終ニ至テ遺表ヲ製シテ恩ヲ謝シ偈ヲ書シ衆ヲ辞シテ寂ス文保元年十月廿五日年七十一妙慈弘済國師ノ号ヲ賜フ

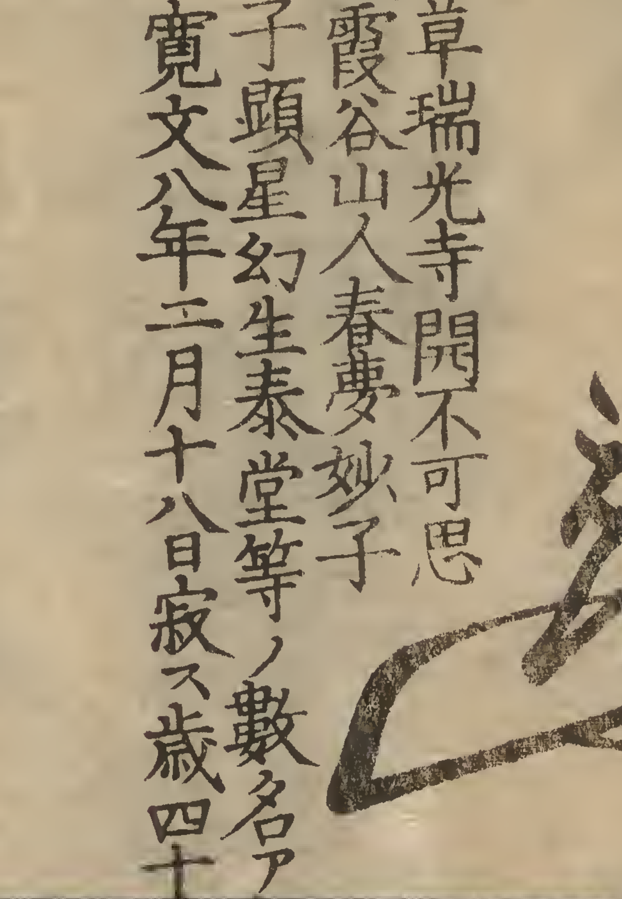
釋昭乘



姓中沼氏石清水ノ社僧ナリ滝本坊又惺々翁ト称ス老後アラタニ丈室ヲ造テ額シテ松花堂トス尤書画ヲ善ス茶道癖アリ寛永十六年九月十六日寂ス歳五十六

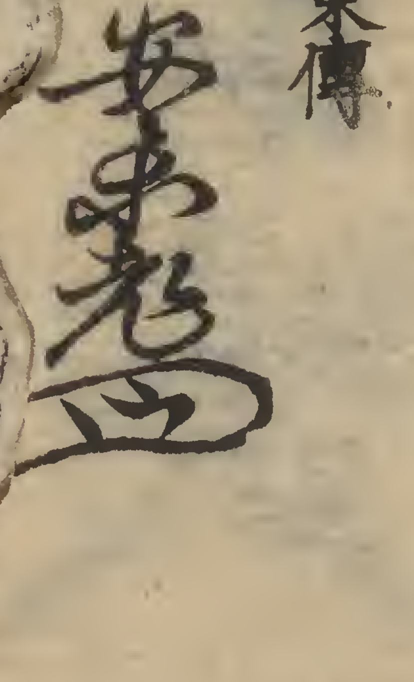
釋元政





深草瑞光寺開不可思議霞谷山人春夢妙子空子頭星幻生泰堂等ノ數名アリ寛文八年二月十八日寂ス歳四十六

釋策傳



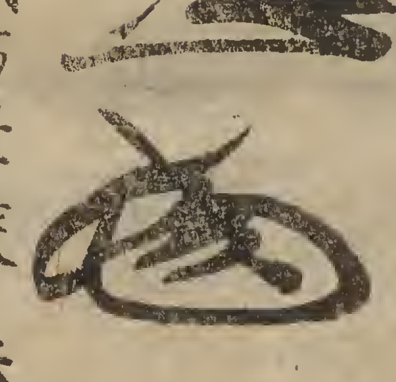
誓願寺竹林院ノ僧寛永九年正月八日寂ス茶ヲ金森宗和ニ受ク或ハ宗和弟ト云フ歳八十九

釋一絲



岩倉木工頭具堯朝臣三男名ハ文守桐江号ス[illegible]靈源寺及ビ丹波千ケ畑法常寺等開基正保三年三月十九日寂ス歳三十九佛頂國師トヲクリナス

釋信海

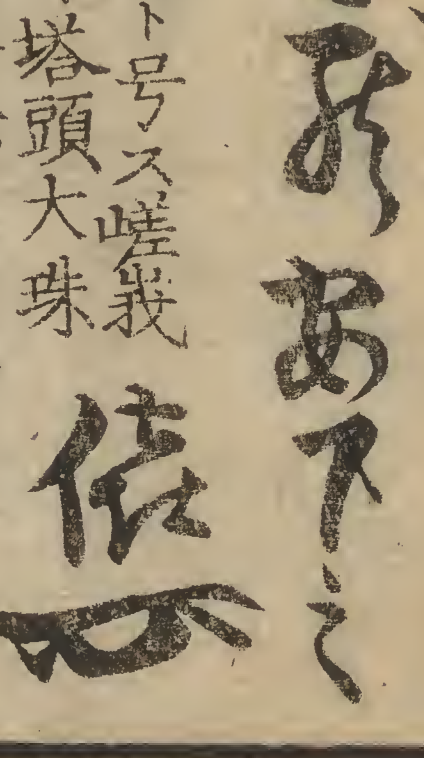


八幡豊蔵坊孝乗ノ法嗣名ハ孝雄玉雲子覺花堂等ノ号アリ曽テ松花堂ニシタガツテ書法及ビ茶ヲマナブ共ニ一ツノ名アリ元禄元年九月十三日寂ス

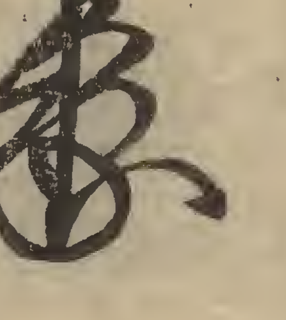
僖主座



不遠菴ト号ス嵯峩龍安寺塔頭大珠院ニ住ス茶法ヲ宗旦ニウク



釈長盛



京師東山真如堂東勿坊ノ僧利休ニマナブ慶安三年四月五日寂ス

通圓



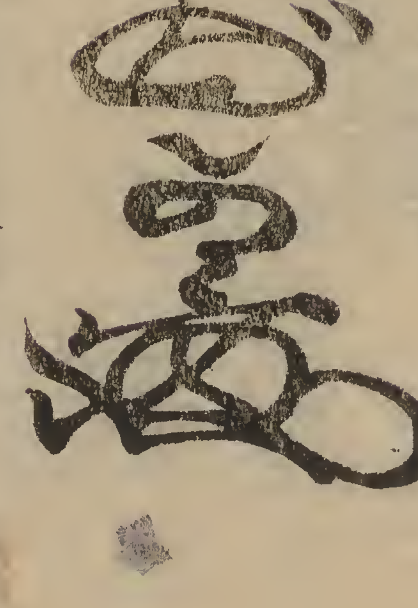
宇治茶[illegible]大[illegible]庵トモ[illegible]

石川凹



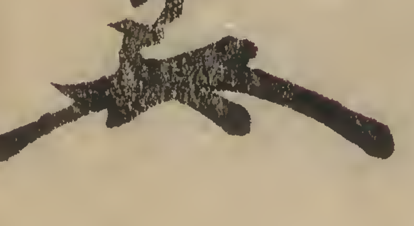
嘉右エ門信定ノ男名ハ重之ハシメ嘉右エ門ノチ左近ト称ス洛北一乗寺村ニ退隠シ詩仙堂ヲ剏ス西明山人選窟瀬芳窩詩啓大拙烏鱗山木山坊寿春翁六々山人頑仙子丈山等ノ数号アリ寛文十二年五月廿三日歿ス歳九十三

岡本宣就　俗称平介



無名老翁喜楚飯袋子等ノ号アリ彦根侯臣或云ク熊井新八ト云明暦三年三月十日卒ス歳八十三喜雲院秀観居士

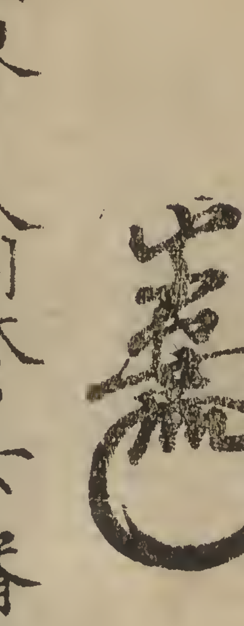
淀屋言當



浪華ノ人ケ庵ト号ス戯ニ画ヲ好ミ

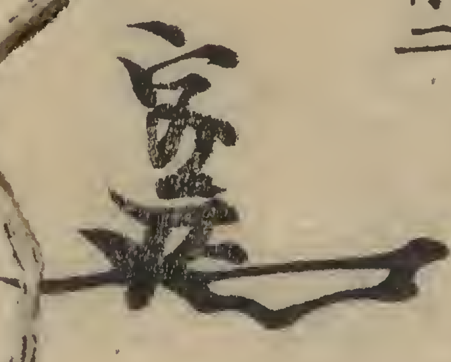
又連哥ヲ善ス源光寺祐心ニ従ツテ古今傳ヲウク

萬代屋宗安



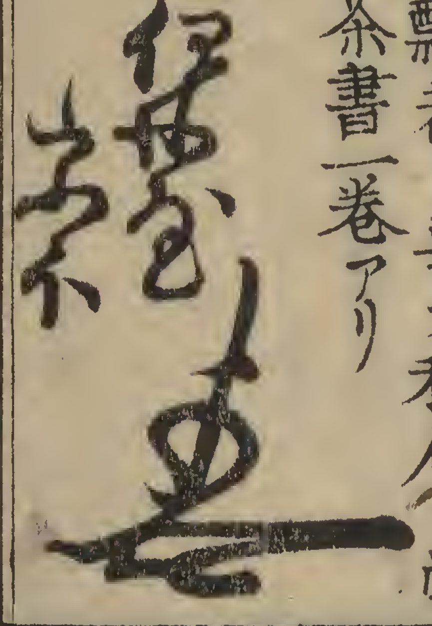
泚界ノ人利休カ女ノ婿一幽齋ト号ス

山上宗二



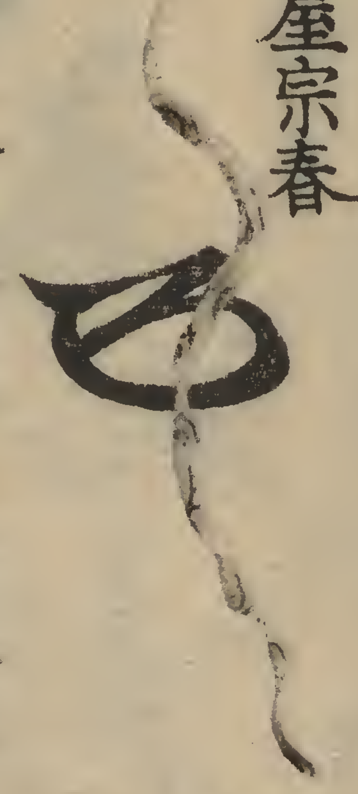
泚界山上人瓢菴ト号ス利休ニ学ブ著ス所ノ茶書一巻アリ

伊丹屋宗不



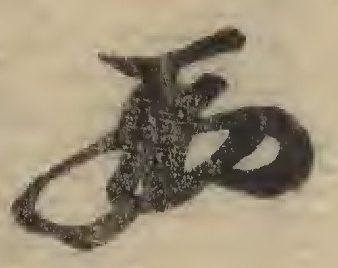
傳翁ト号ス遠州ニ学ブ泚界ニ住ス紫野江月澤菴玉舟玉室ヲヨビ小堀政一永井尚政等ニ親炙ス居宅ノ數奇屋政一コレヲ造ル

針屋宗春



京師ノ人利休同時ニシテ茶事ノ名アリ

宗徳



泚界ノ人自在軒ト号ス

松本珠報



永昌坊正樂ト号ス洛四條東洞院
今ニ松本ノ井アリ

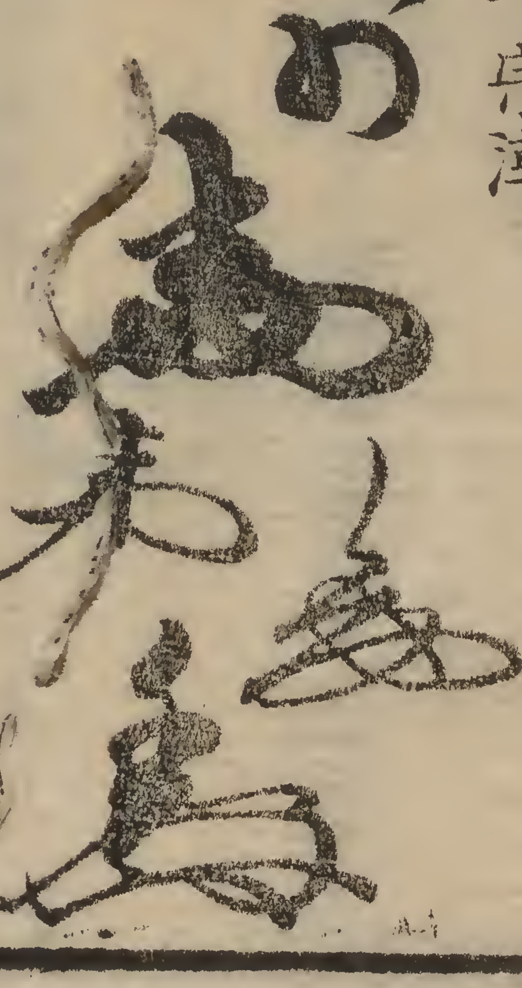
宗悟





休齋ト号ス洛下六条ニ住ス

千宗淳



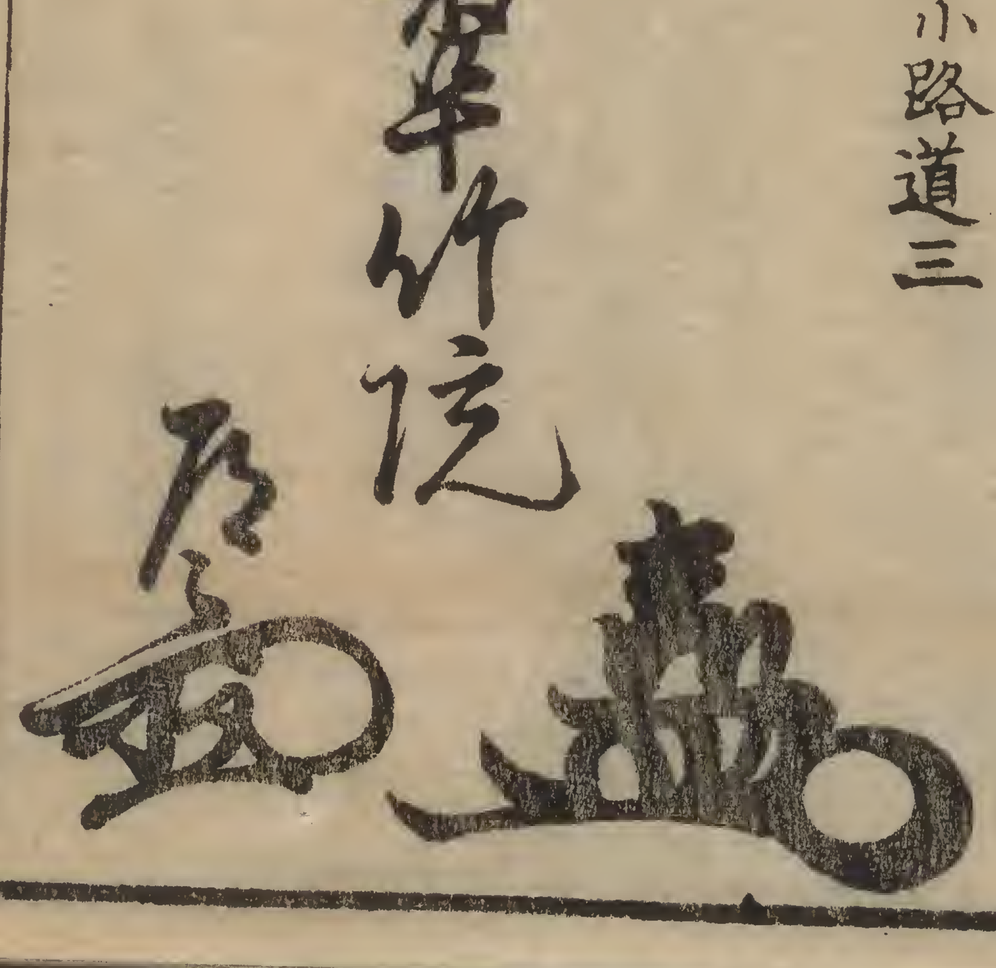
少菴ト号ス宗易第二子ナリ慶長
十九年九月七日没ス紫野聚光院ニ
葬ル牌名少菴宗淳居士トイフ

藪内紹智



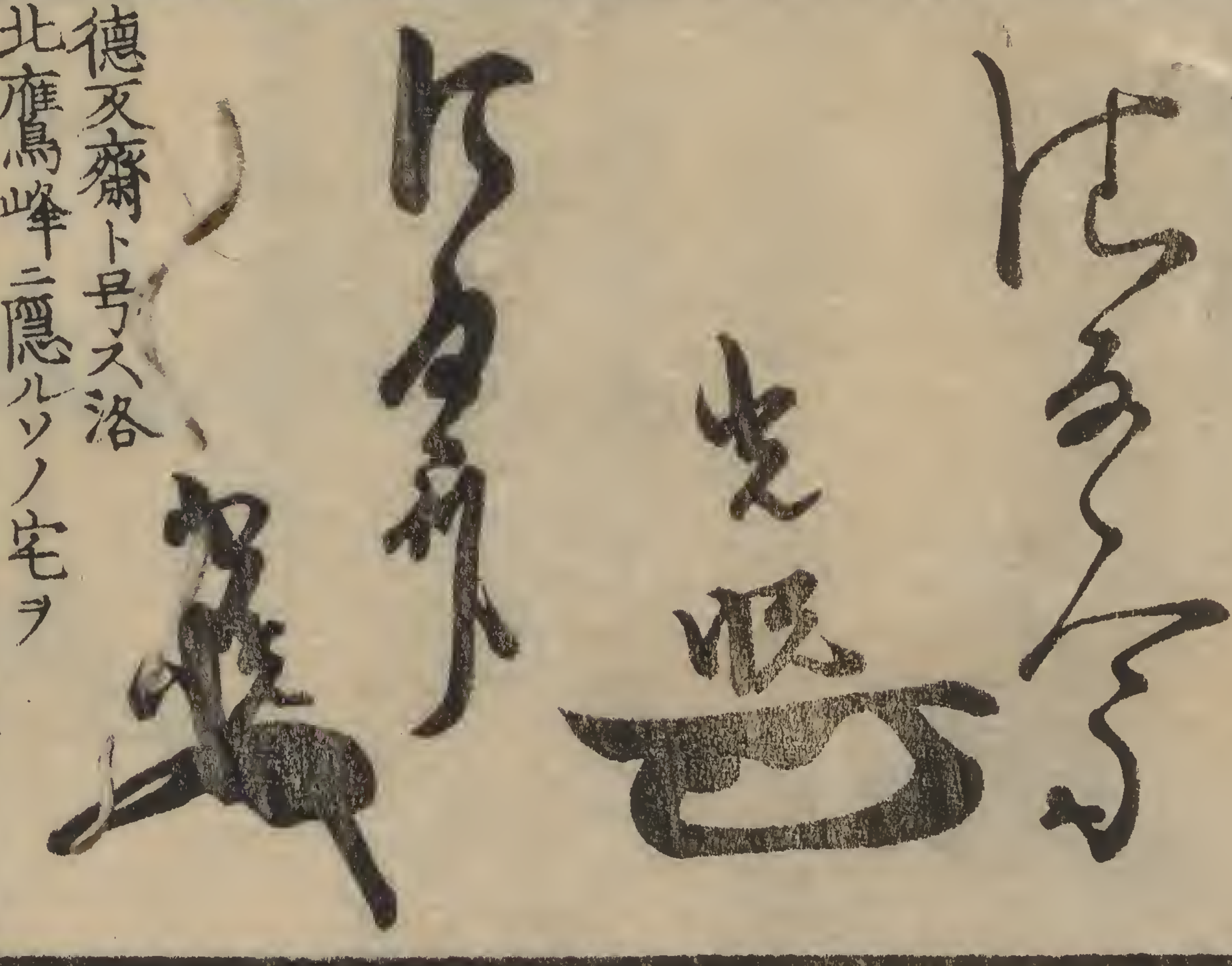
劍仲齋又藪隠齋ト号ス
宗易上足ノ弟子ナリ子孫ニナ宗
祖ノ紫宗ヲハツカシメズ千家ハ洛北ニ
居リ藪内ハ洛南ニ家ス時人千家
ヲ上流ト称シ藪内ヲ下流ト称ス

今小路道三



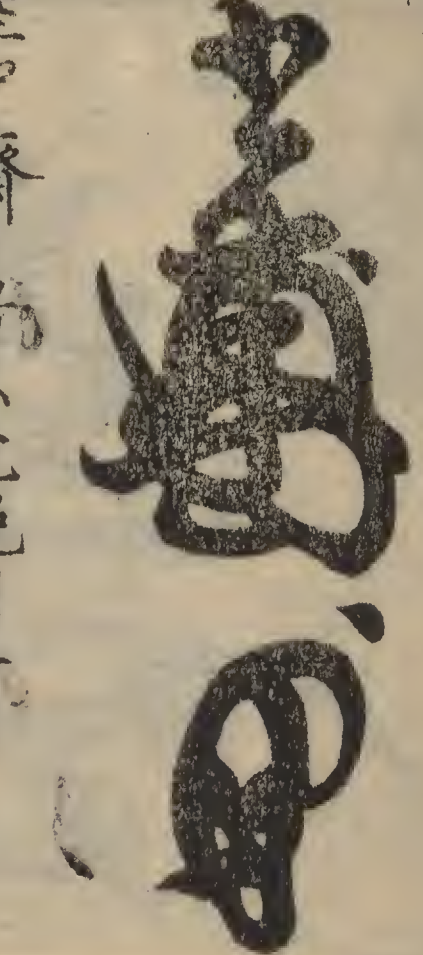
翠竹院一溪翁ト号ス又友松子ト称ス医術ヲ以テ世ニ鳴ル亦茶事ヲコノム

本阿弥光悦



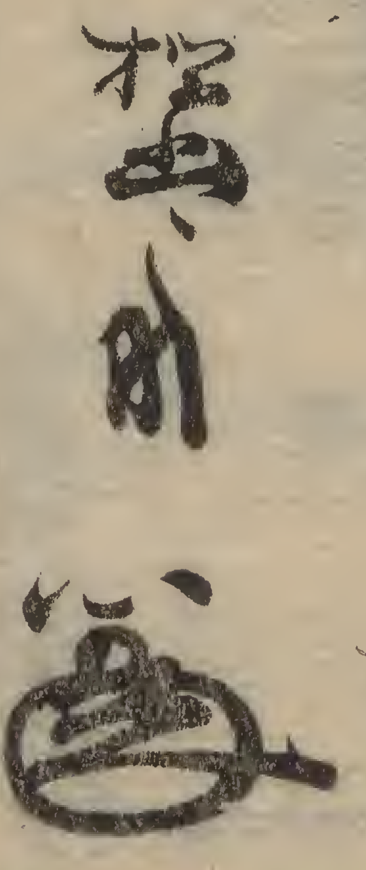
徳友斎ト号ス洛北鷹峰ニ隠ルソノ宅ヲ大虚菴ト称ス書画ヲ善ス慧眼ニシテ識鑒ニ長セリ心匠巧ミニ茶事モットモ雅趣ヲ得タリ

本阿弥光甫



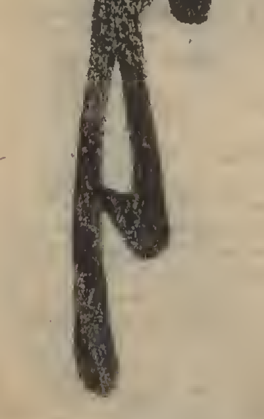
空中斎ト号ス光悦ノ男ナリ

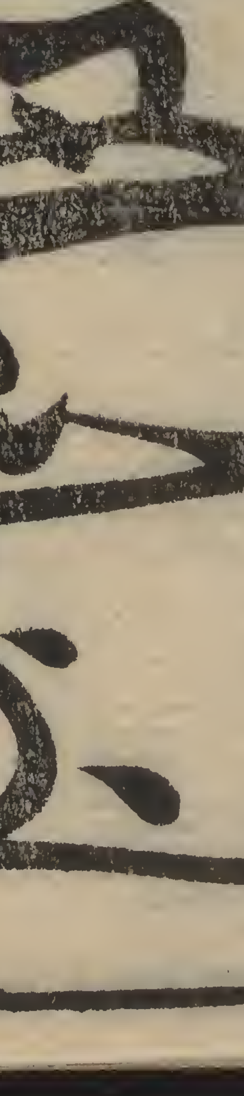
狩野守信



弱冠釆女ト号ス剃髪シテ探幽斎ト号ス法印位ニ叙ス丹青ノ妙手世人ノ知トコロナリ延宝二年十月七日ニ卒ス歳七十三

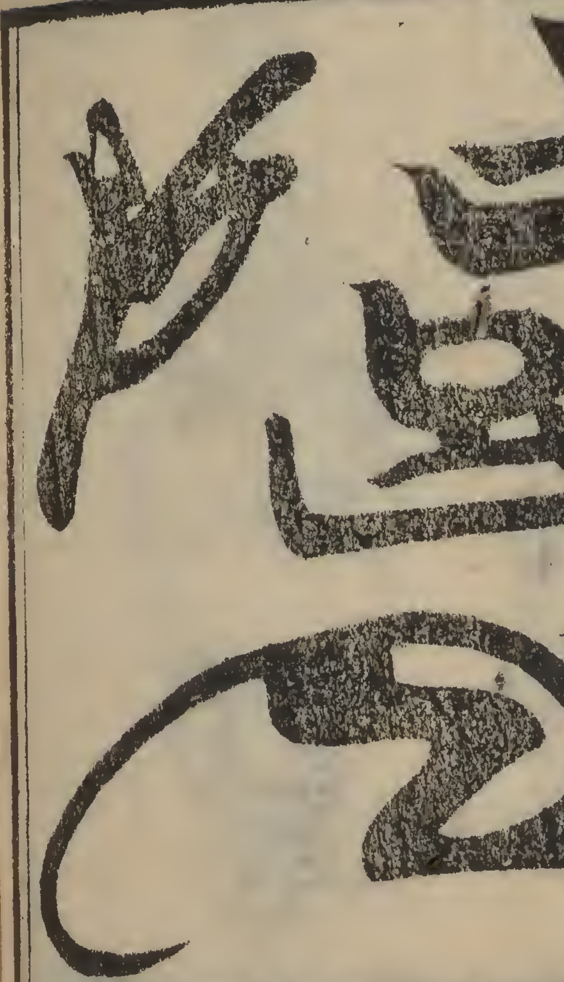
三宅喜斎

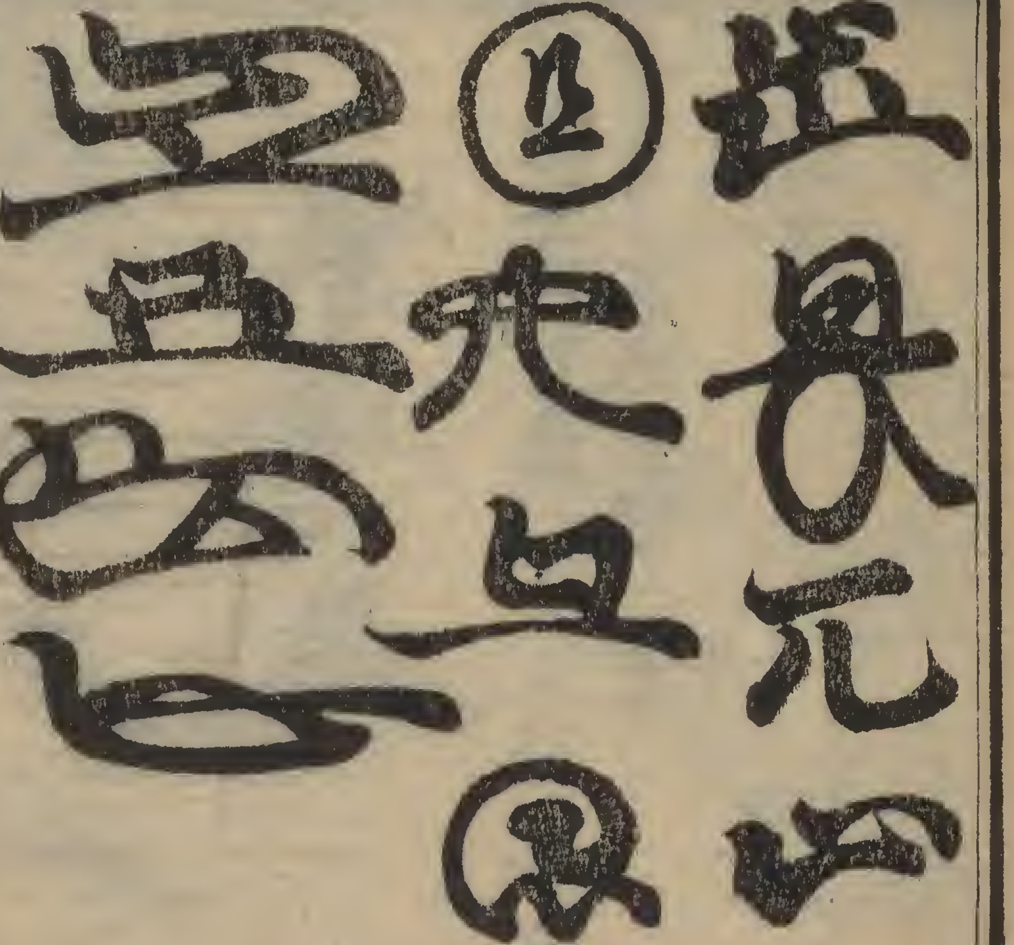




七羊ト号ス惺窩先生ノ門人ナリ亦神書ニ通ス哥道ヲ好ム兼テ茶道ヲ善ス慶安元年ニ卒ス

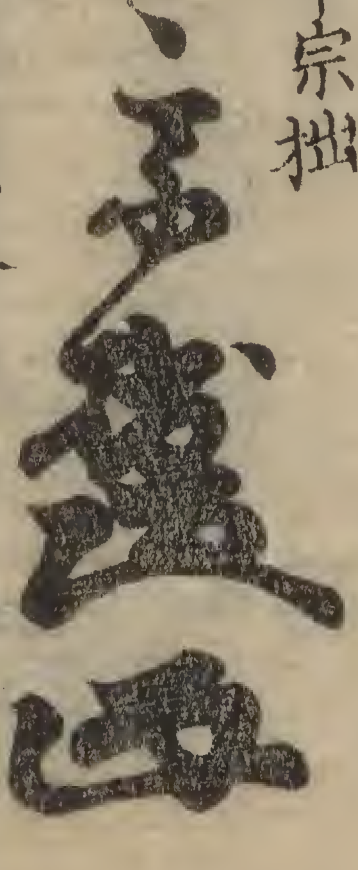
千宗旦





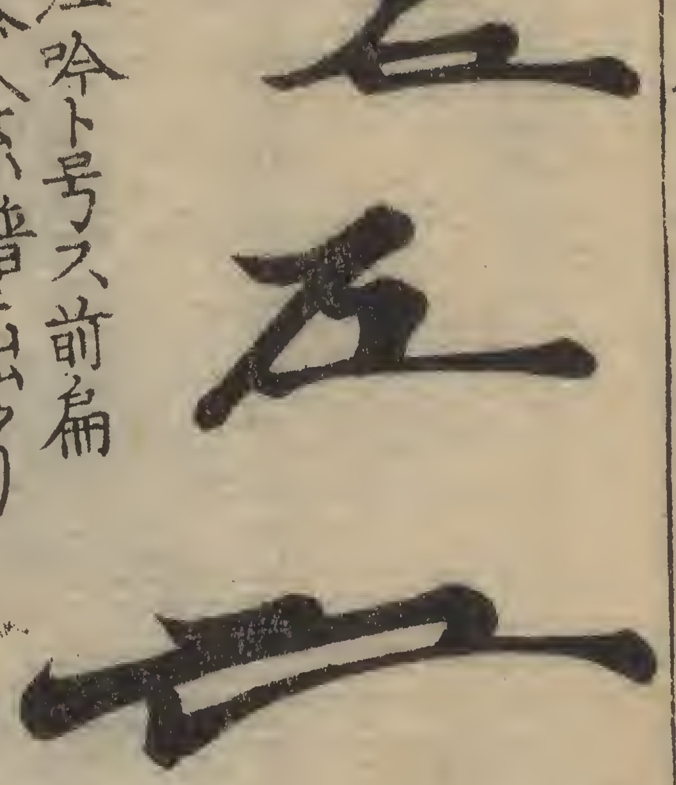
名元伯今日庵咄斎ト号ス前編茶人系譜ニ詳ニ出ツ

千宗拙



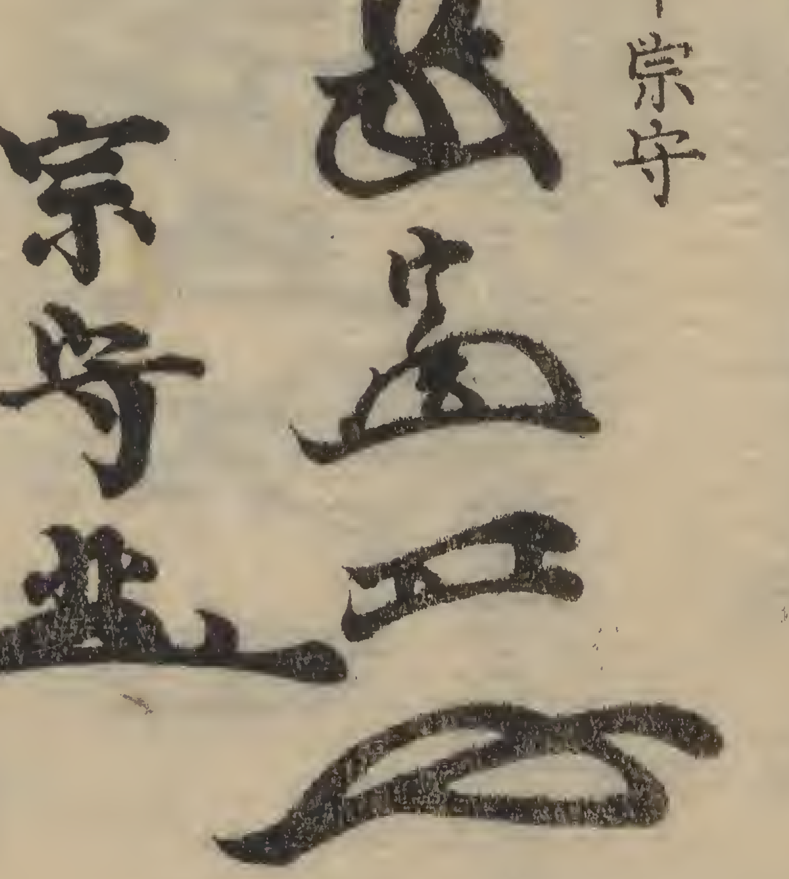
閑翁壺天ト号ス宗旦ノ嫡子ナリ

千宗佐



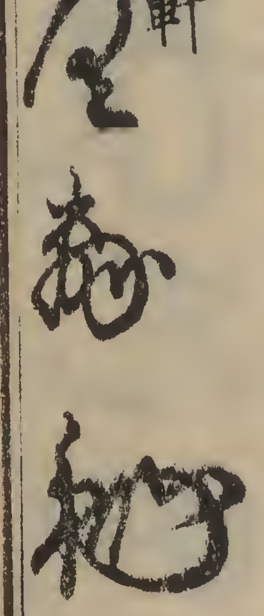
江吟ト号ス前編茶人系譜ニ出タリ

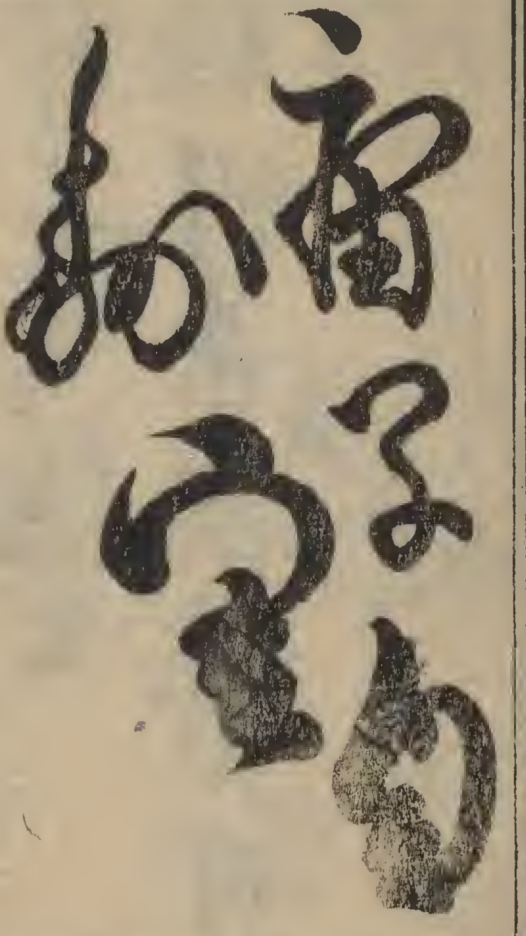
千宗守



官休菴似休斎ト号ス宗旦ガ季子ナリ茶人系譜ニ出ツ

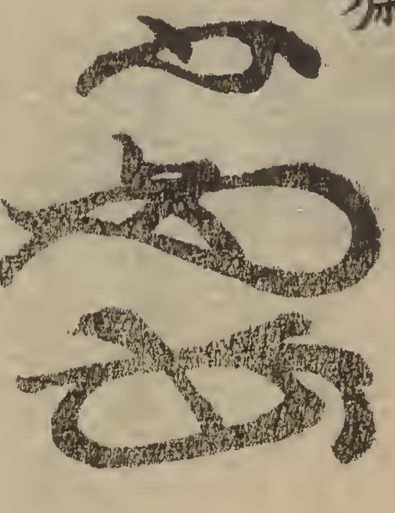
藤村庸軒





初ノ氏ハ久田後ニ藤村ト改ム性幽閑淡白ニシテ書ヲ読ヿヲ好ミ詞章ヲ善シ茶礼ヲタシム茶法ヲ千宗旦ニ受ク元禄十二年閏九月十七日ニ卒ス歳八十八

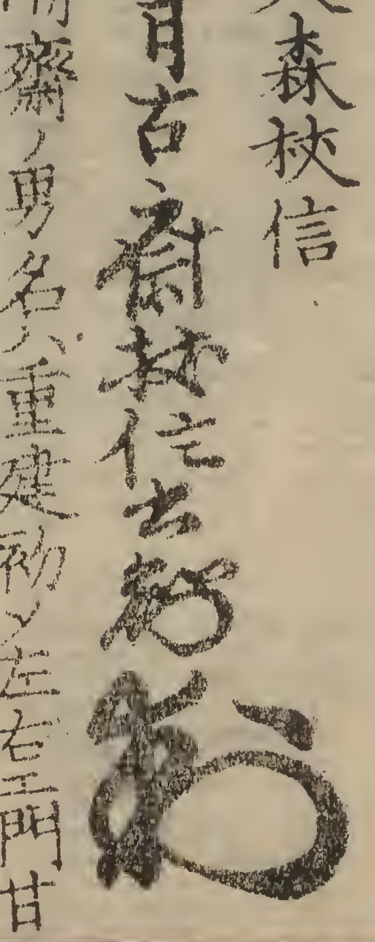
大森漸齋



名ハ秀祐初ハ安左エ門玉川ト号ス京師ニ住ス石川丈山ニ従ツテ書法ヲ学ブ又儒術ヲウク丈山漸齋ノ号ヲ命ス曽テ自作ノ陶花筒ヲ靈元上皇ニ奉献ス宝永三年三月三十日ニ卒ス歳八十二茶法ヲ黒

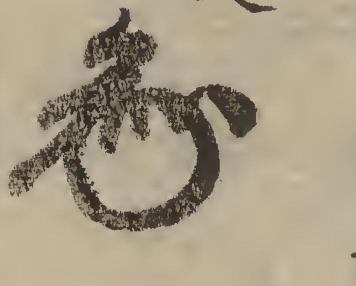
田正玄ニ受ル

大森扶信



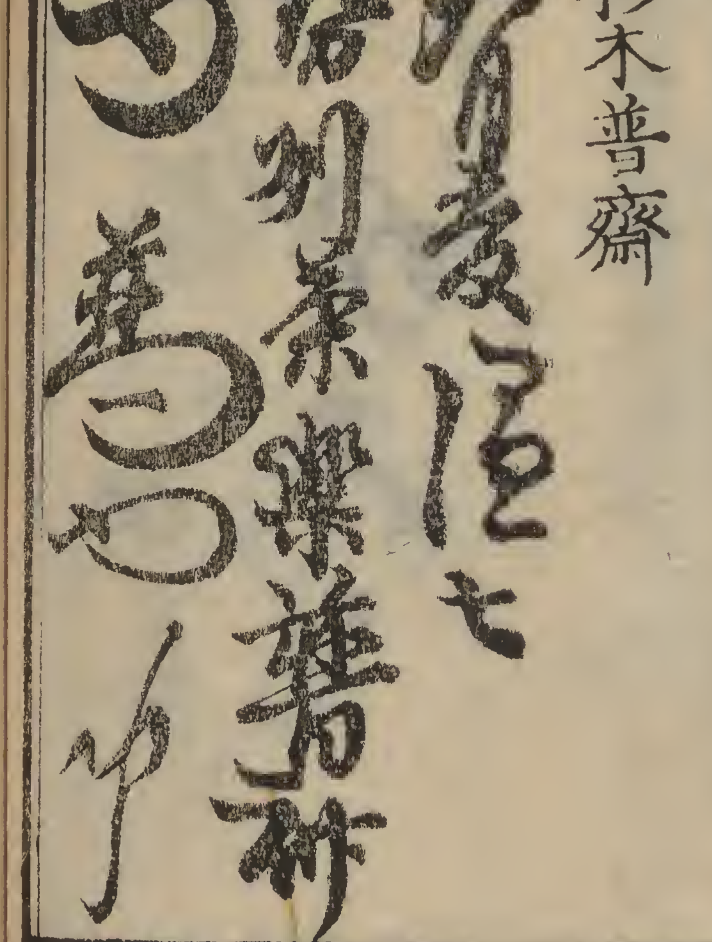
漸斎ノ男名ハ重建初メ左右ヱ門甘古斎ト号ス又頑翁ト云宝暦六年十一月二十九日没ス歳八十八

大森有斐



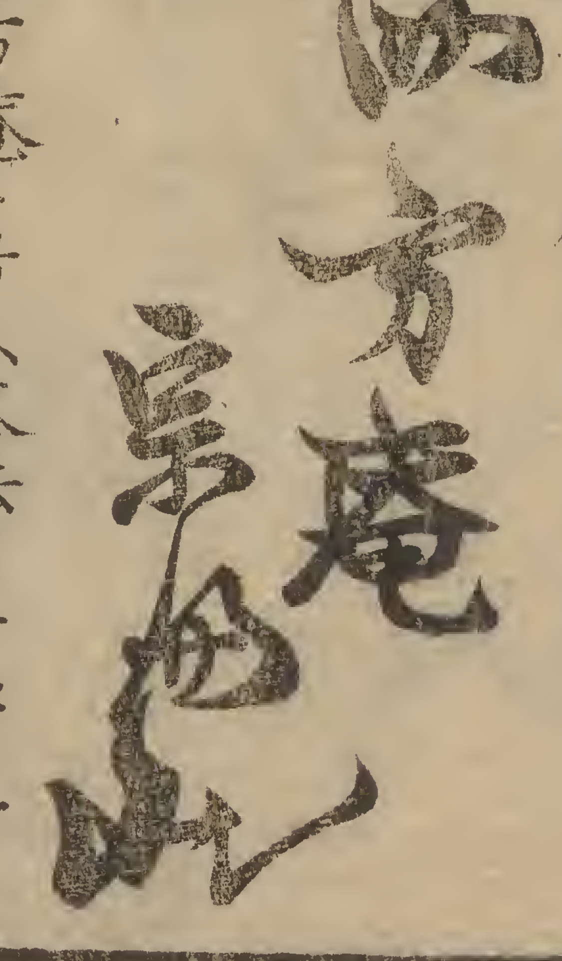
扶信ノ男名ハ重厚清閑斎ト号ス天明五年十二月十七日没ス歳六十四

杉木普斎



有麦菴ト号ス勢州山田ニ住ス御師茶法ヲ宗旦ニ受ク

山田宗偏



四方菴ト号ス茶法ヲ千宗旦ニウク京師ニ住ス後江府ニアソブ

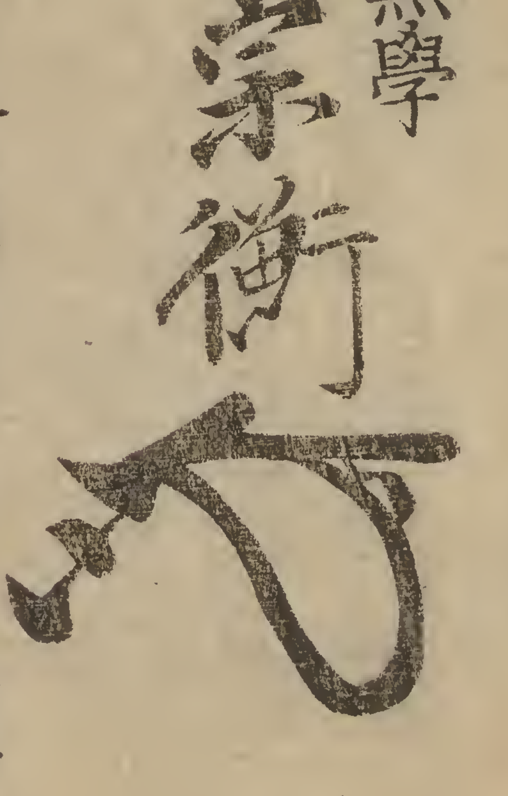
黒田正圓



茶道ヲ小堀遠州ニウク動作活様茶事枯槁ノ態ナシ曽テ衆坐ニ在テ曰ク凡ソ技藝ノ病ハ壮ナル時ハスナハチ雅麗老レハ枯淡ナリ易シ諸友トモニ議スワガ茶事花麗ニウグト吾ヒソカニ之ヲヨロコブ聞ヘ一十服ス

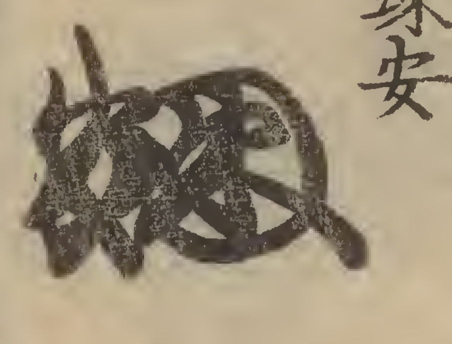
天和元年五月十二日没ス

釈無學



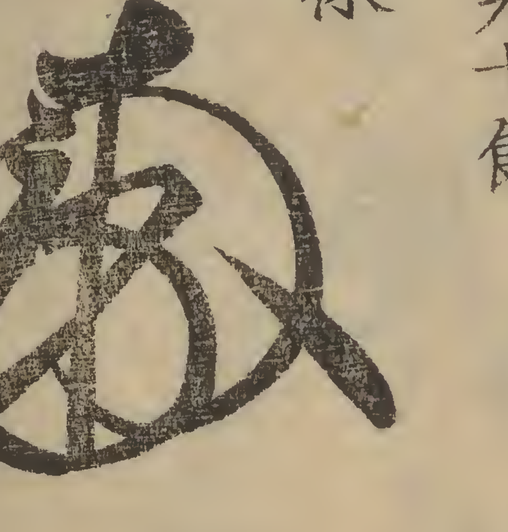
名ハ宗衍把不住ト号ス大徳寺ニ住ス

久須見疎安



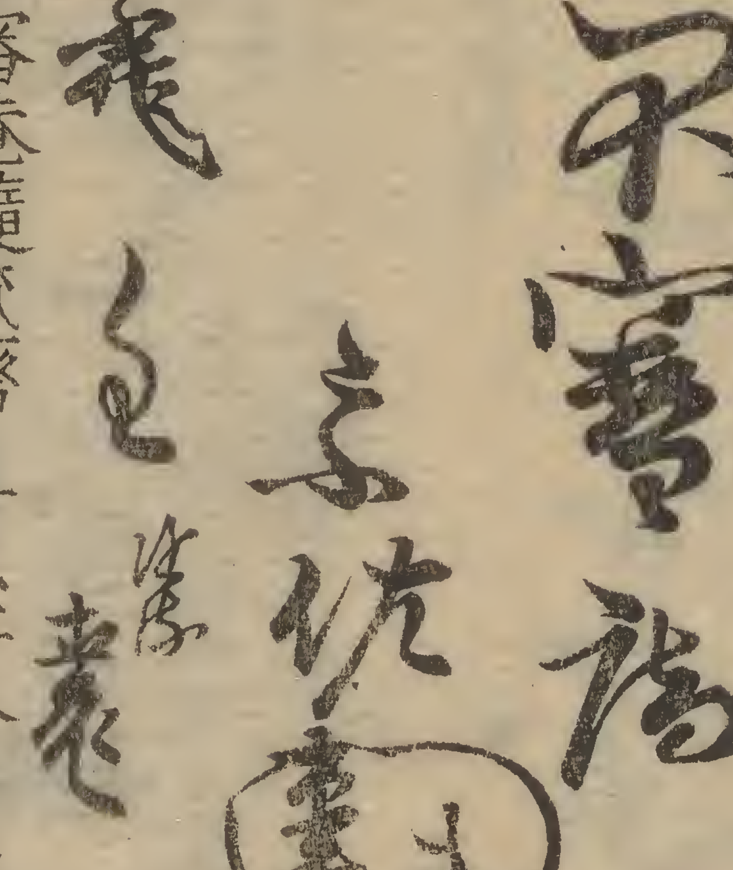
洗竹菴鶴巣ト号ス茶法ヲ宗旦ニウク歳九十餘

有馬了休



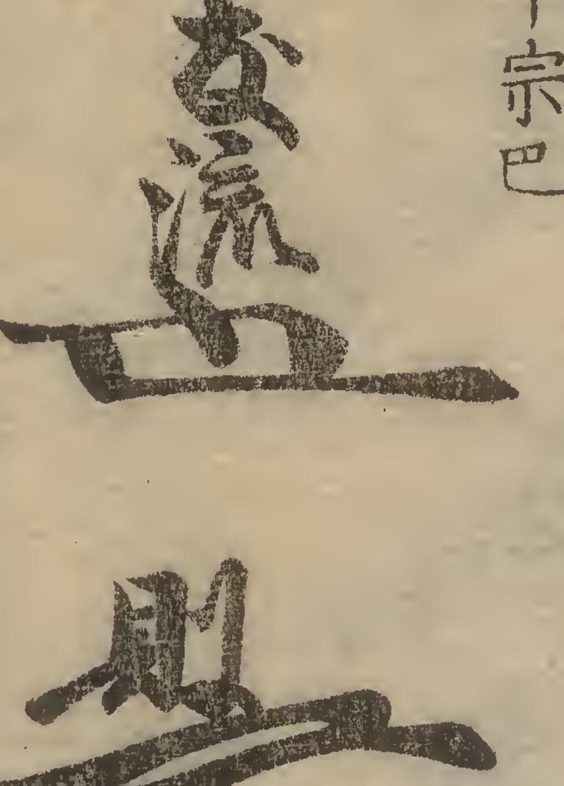
名存菴臥雲ト号ス法眼位ニ叙ス医ヲ以テ世ニ鳴ル元禄十五年十二月七日没ス歳六十九

千宗佐



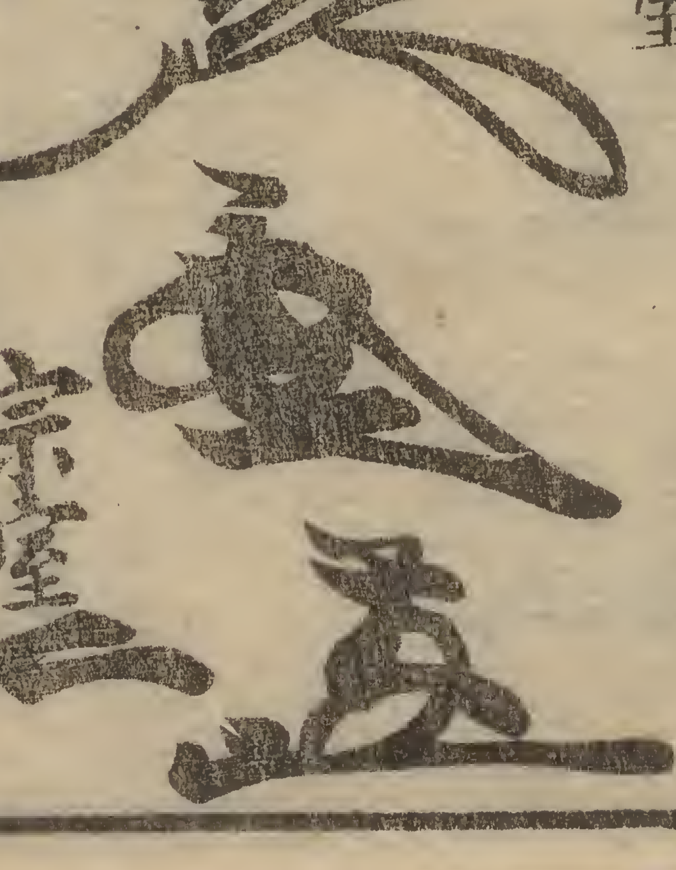
不審菴随流斎ト号ス江岑宗佐ノ子ナリ茶人系譜ニ出ツ

千宗巴



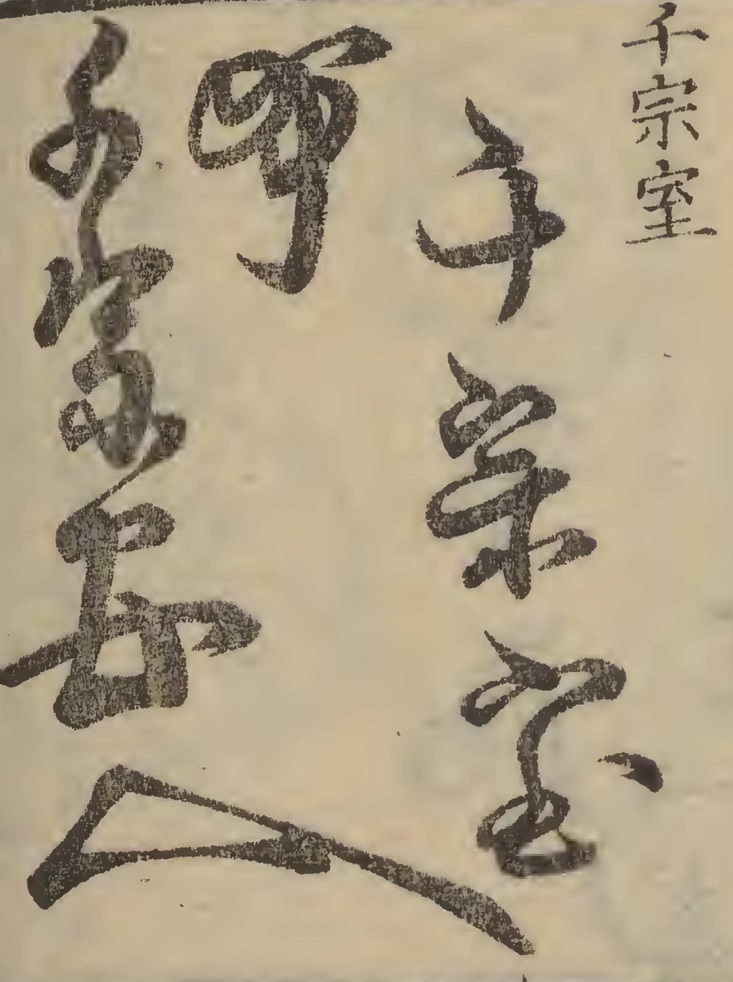
文流齋ト号ス良休宗佐ノ子ナリ

千宗室



仙叟ト号ス今日庵ト称ス宗旦弟三子ナリ茶人系譜ニ出ツ

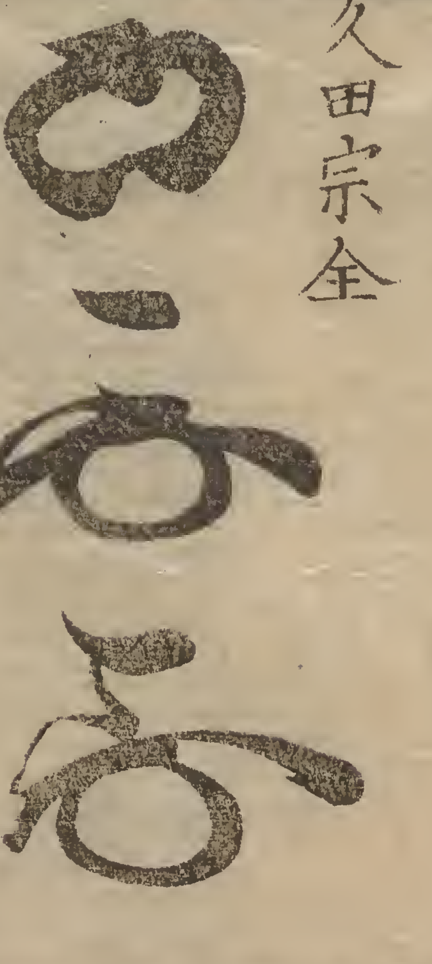
千宗室





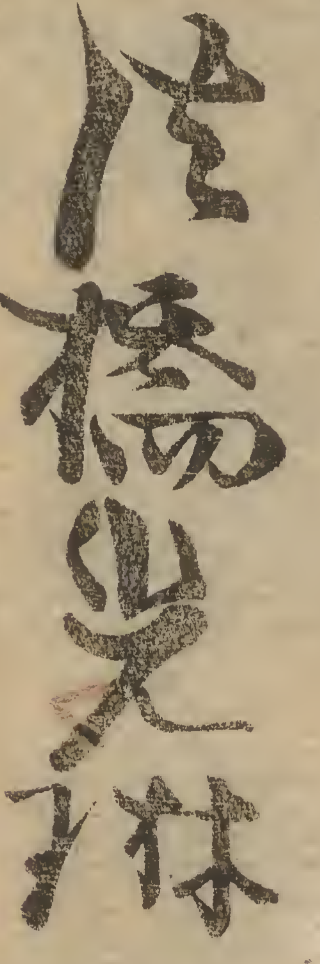
仙叟宗室ノ子ナリ初名ハ宗安ノチ宗室トアラタム前編茶人系譜ニ詳ナリ

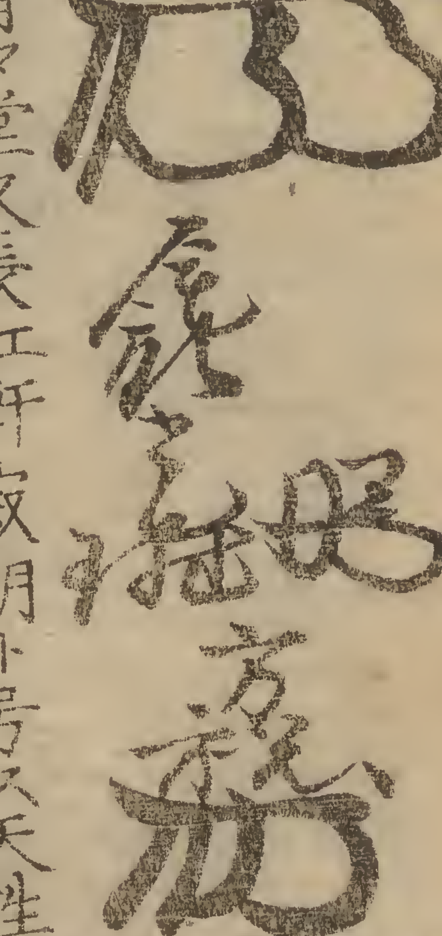
久田宗全



俗名久田勘兵衛茶法ヲ随流齋宗佐ニウク覺々齋宗佐ノ実父ナリ

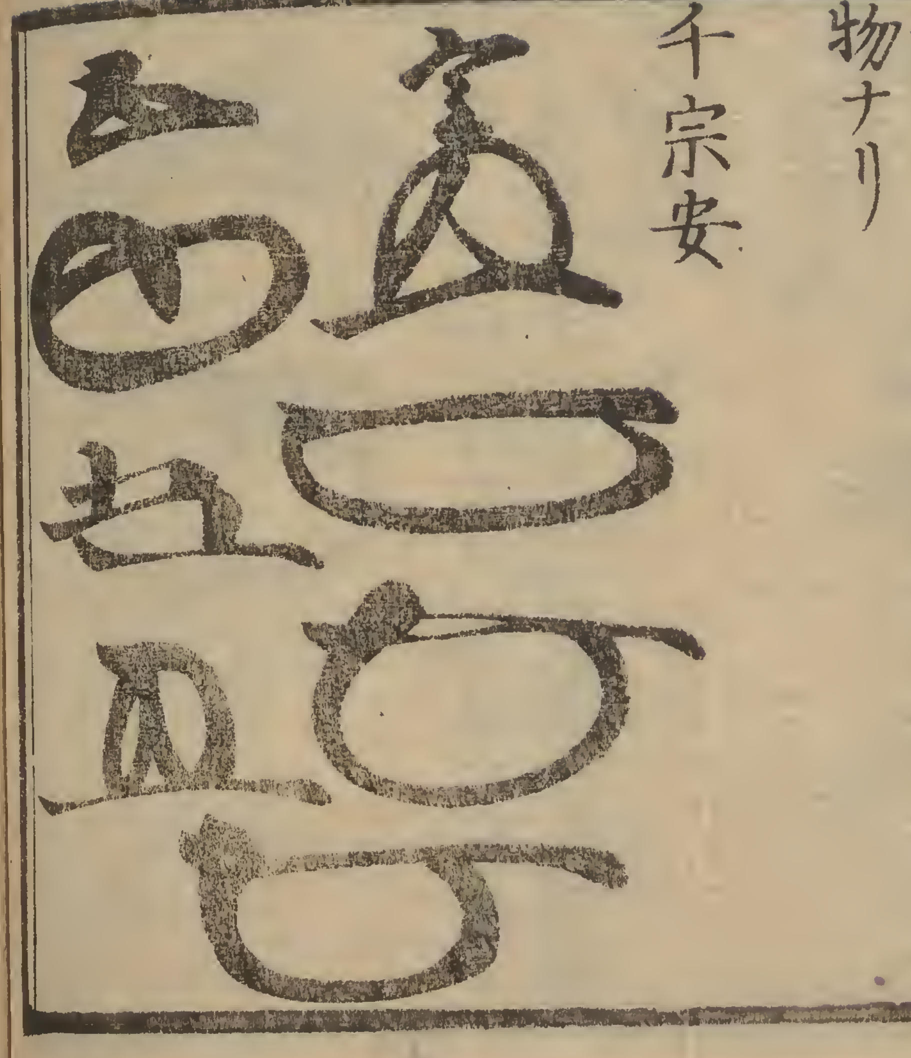
尾形光琳

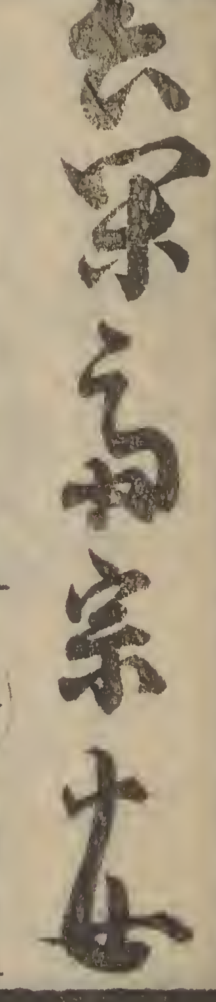




青々堂又長江軒寂明ト号ス天性画ヲ好ム法ヲ養朴斎常信ニ学ヒ又土佐家及ビ宗達カ筆意ヲシタヒ頗ル新意ヲ出ス一點ヲ以テ花葉鳥虫ノ形ヲ摸ス新奇ナラザルハナシ漆器摸金ノ花様亦時流ニコヘタリ遂ニ一家ノ画風ヲナス茶事ニ通シタクミニ假山ヲツクル風流ノ人物ナリ

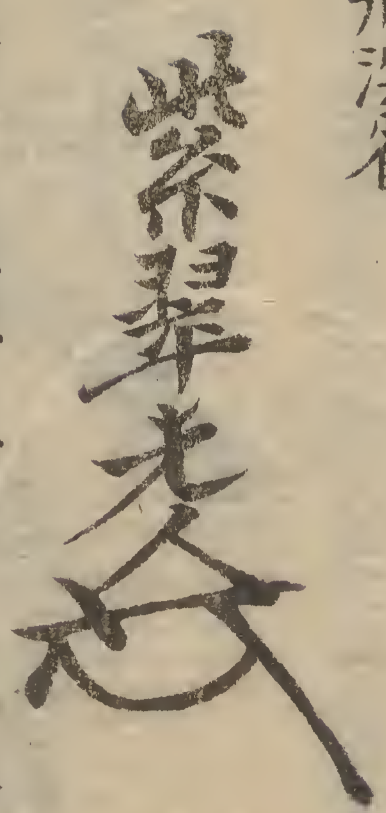
千宗安





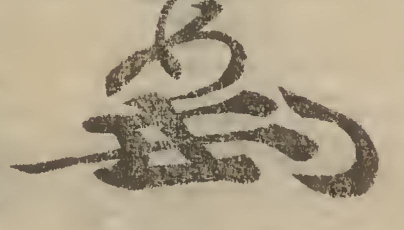
六閑斎ト号ス名ハ泰叟前編茶人系譜ニ出ツ

尾形深省



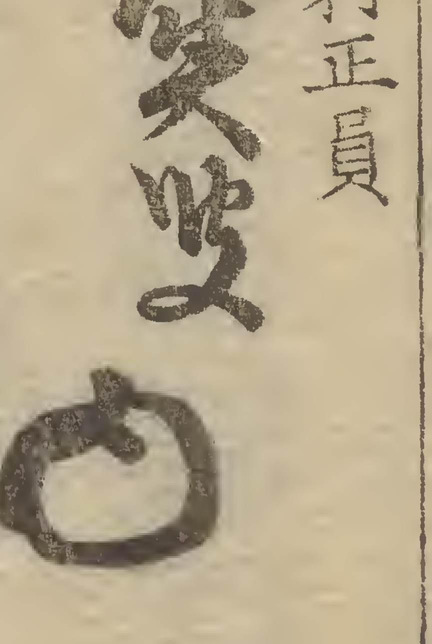
宗謙ノ男光琳ノ兄弟トスルハ誤也新三良ト称ス居其尚古紫翠王堂霽海ホノ号ナリ嘗テ廣沢ニ従ツテ和哥ヲマナブ茶ヲ随流宗佐ニウク寛保三年六月三日ニ卒ス

上田康長



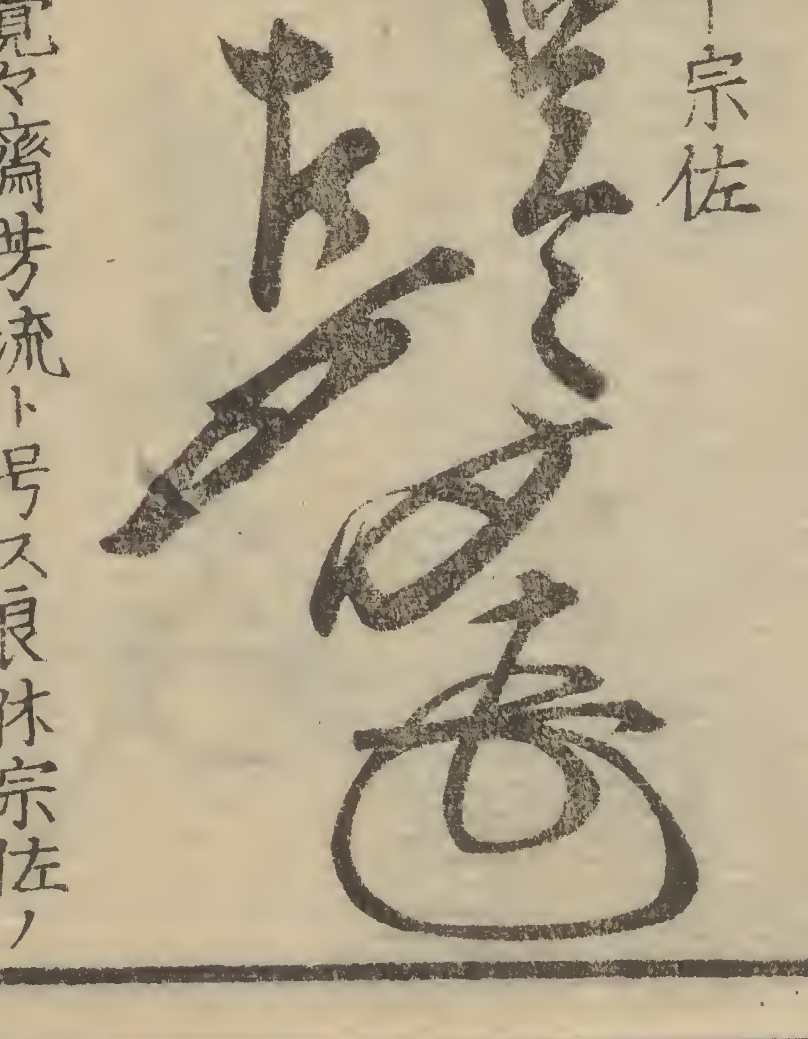
従五位下主水正浅野長政ニ仕フ剃髪シテ宗古ト号ス茶事ヲヨクス

藤村正員



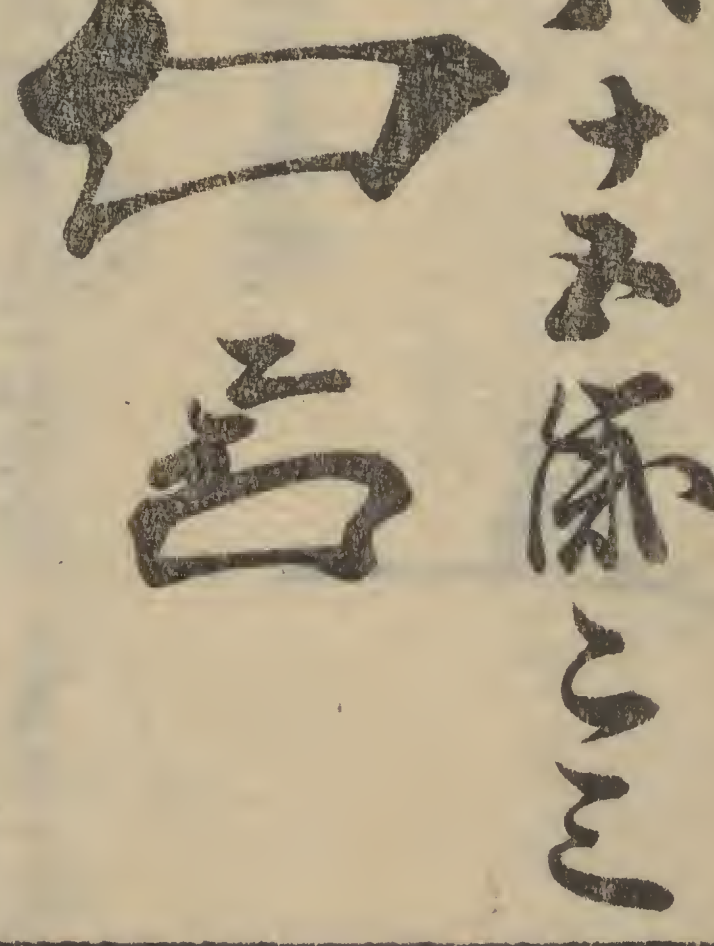
風外菴松杉堂蘭室ト号ス庸軒弟ニ子ナリ坂城ニ住ス茶法ヲ父ニウク

千宗佐



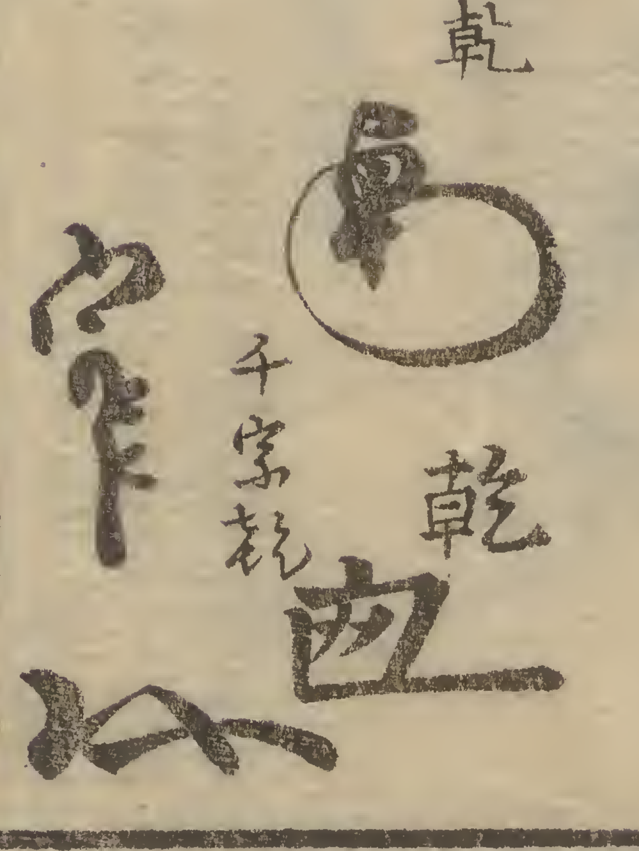
覚々斎芳流ト号ス良休宗佐ノ義子久田宗全ノ実子ナリヨク祖風ノ旨ヲ得タリ宗旦ヲ摸擬ス性誇美ヲイトヒ古雅ヲ貴フ新製ノ器物ミナ古様正雅ノ体ヲソナフ一世ノ名家ナリ今ニ至テ茶道家ノ標準トナス

土肥二三



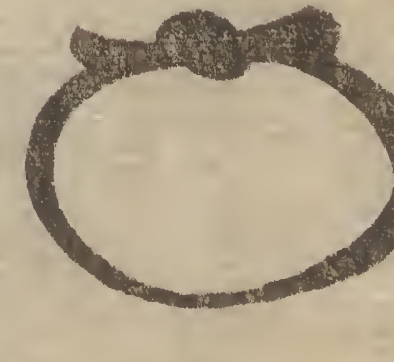
牧野備後守殿近侍士土肥孫兵衛豊隆自在軒ト号ス岡崎村ニ住ス心跡ヲトヾメス意ニ従フテ来往ス定處ナレ茶法ヲ織田家ニマナブ常ニ琵琶ヲ弾シテ楽ミトス京保十七壬子正月七日卒ス豊隆居士

千宗乾



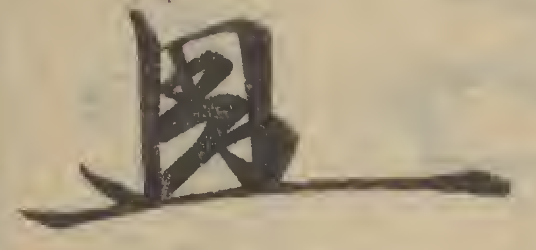
覺斎ト号ス泰叟宗安ノ義子原叟宗左ノ実子ナリ享保十八年三月二日没ス聚光院牌銘竺叟宗乾居士トイフ

尾形真省



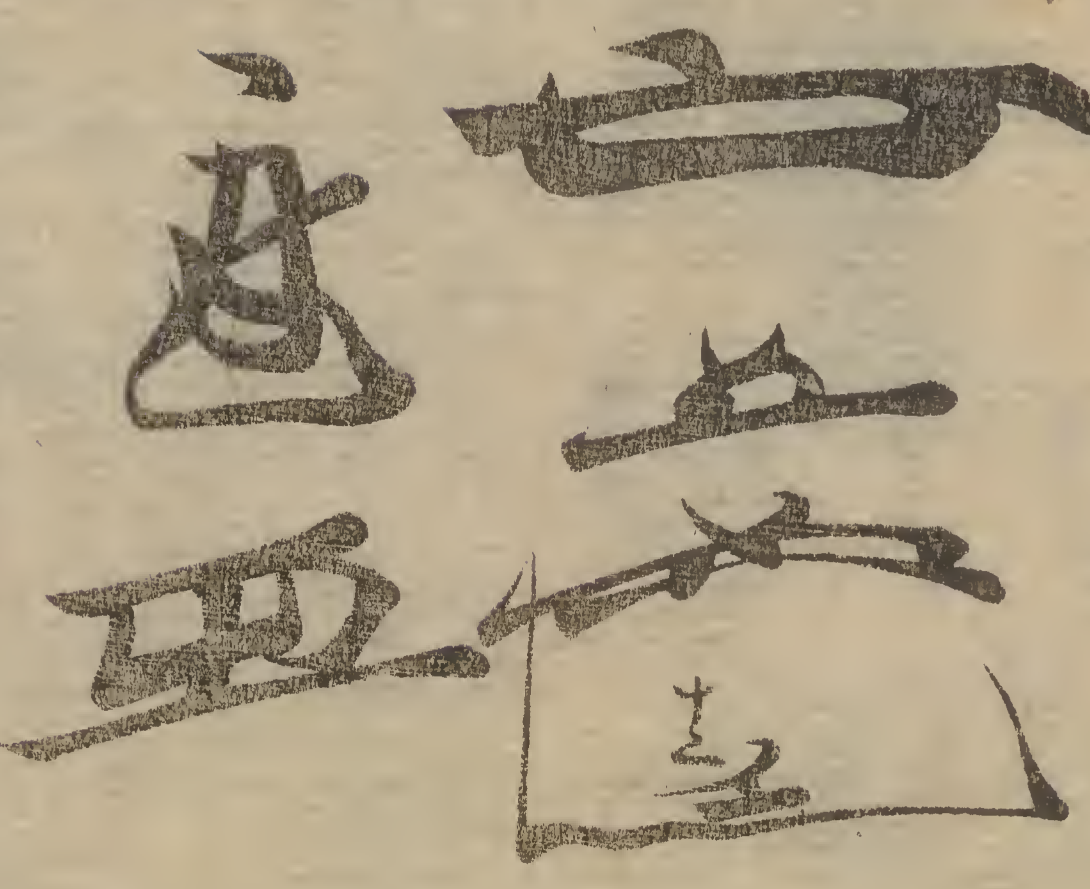
光琳弟ナリ京師ニ住ス後ニ鳴瀧村ニシリゾク陶器ヲ巧ニス花様ヲ画テ讃詞ヲ加フ又日本雍州乾山陶隠省造ノ文字ヲ記ス世ニ乾山焼ト称ス

山中道億



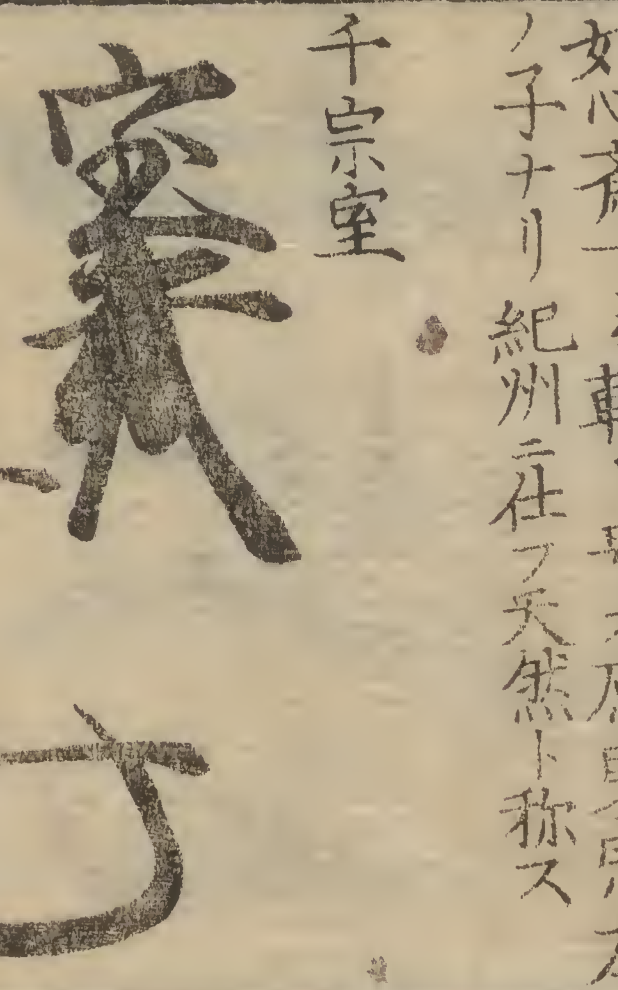
原叟宗佐

九齋光漸ト号ス珠光カ遺風ヲシタフ嗜古実ヲキハメ古器ヲ愛ス享保年中茶ヲ近衛准三后家熈公ニ献ス尤モ茶道ノ美名アリ時人閑然スル事ヲ得ズ



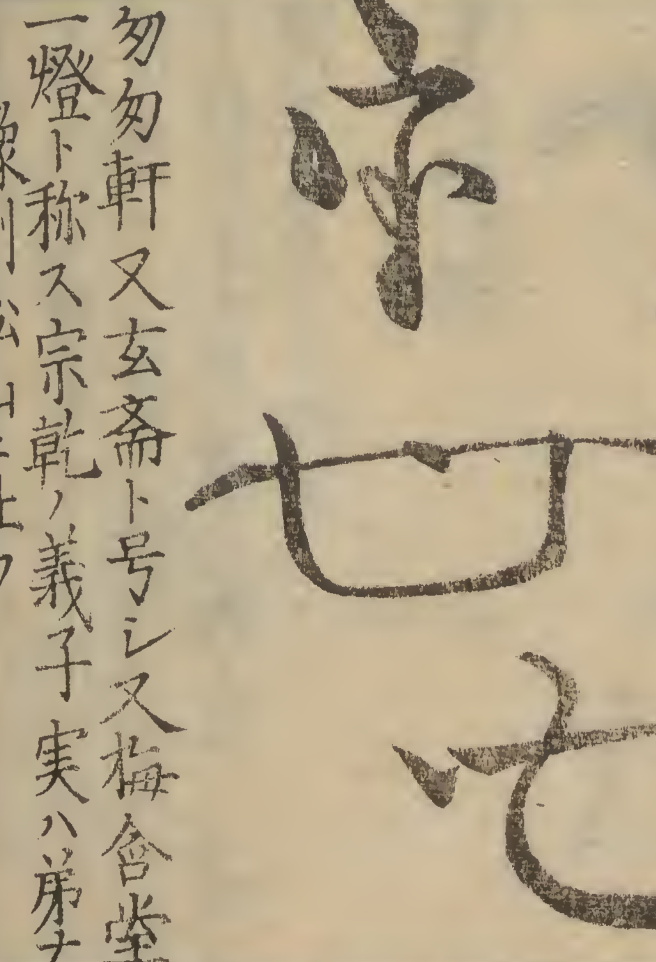
前編茶人系譜ニ詳ナレバ略ス

千宗佐



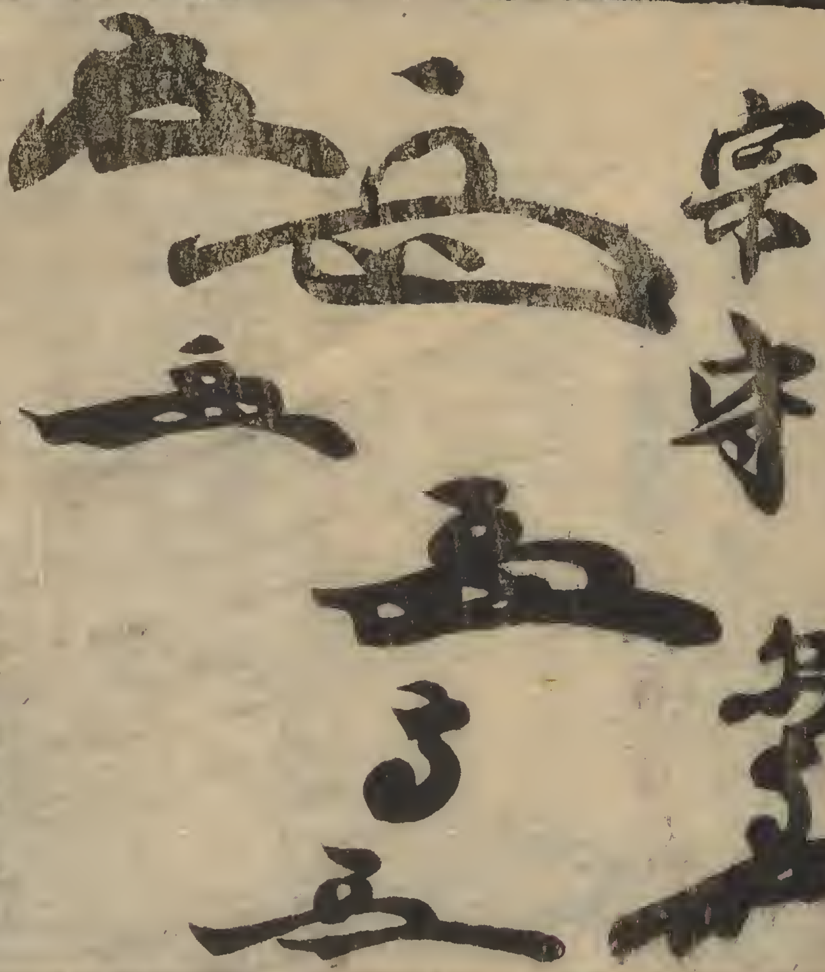
如心斎丁々軒ト号ス原叟宗左ノ子ナリ紀州ニ仕フ天然ト称ス

千宗室



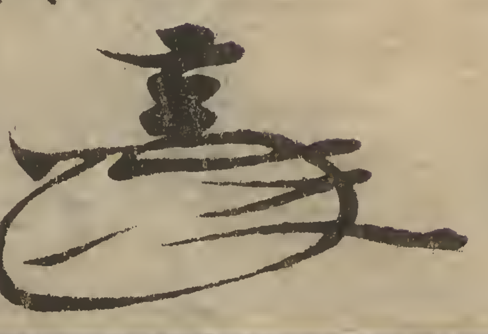
勿々軒又玄斎ト号シ又梅舎一燈ト称ス宗乾ノ義子実ハ弟ナリ豫州松山ニ仕フ

一宗守



文叔宗守ノ子ナリ真伯宗守ト号ス讃州ニ仕フ

佐野紹益



京師ノ人紹由ノ男名八重孝灰屋三良右エ門ト称ス茶ヲ藤村宗源ニマナブ元禄四年十一月十二日ニ没ス歳八十曽テ飛鳥井雅章卿ニ従フテ和哥蹴鞠ヲマナブ共ニ名誉アリ著ストコロノ尓義伴比草ニ巻世ニ行

ハル

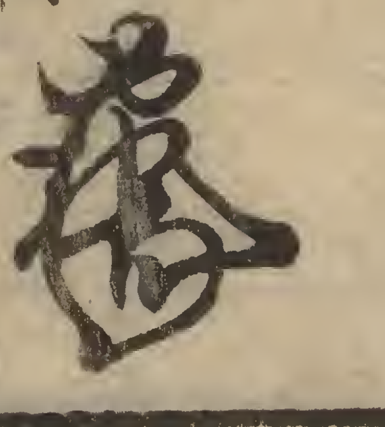
古筆了雪

了佐ノ義子名ハ重光
剃髪シテ了雪ト号ス
茶ヲ小蓬菴ニウク延宝三年閏
四月十四日没ス



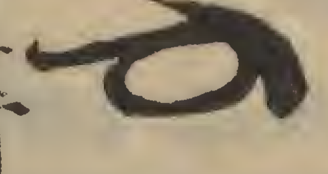
古筆了祐

了栄ノ八男初ハ兵衛
ト云フ名ハ定香剃髪シテ了祐
ト号ス茶ヲ金森宗和ニウク貞
享八年四月二十日ニ没ス歳四十



町田秋波

名ハ章初彦根侯ニ仕フ後
濃尾ノ間ニアソフ享保八年十二月
六日ニ没ス歳六十三茶ヲ久田宗全
ニウク後原叟宗佐ニ従フテ学ブ



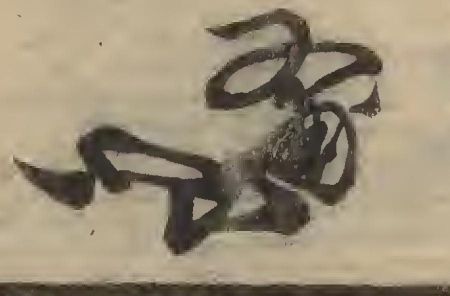
町田圓齋

秋波ノ嗣子翠陰軒ト号ス
安永四年閏十二月廿四日ニ没ス歳
六十五松尾宗五門人濃州ノ人



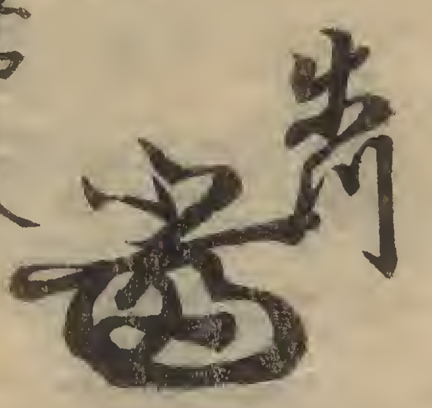
舟木又甫

浪華ノ人貞享中ノ人

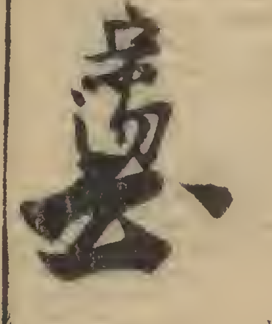


市川心齋

浪花ノ人貞享中ノ人

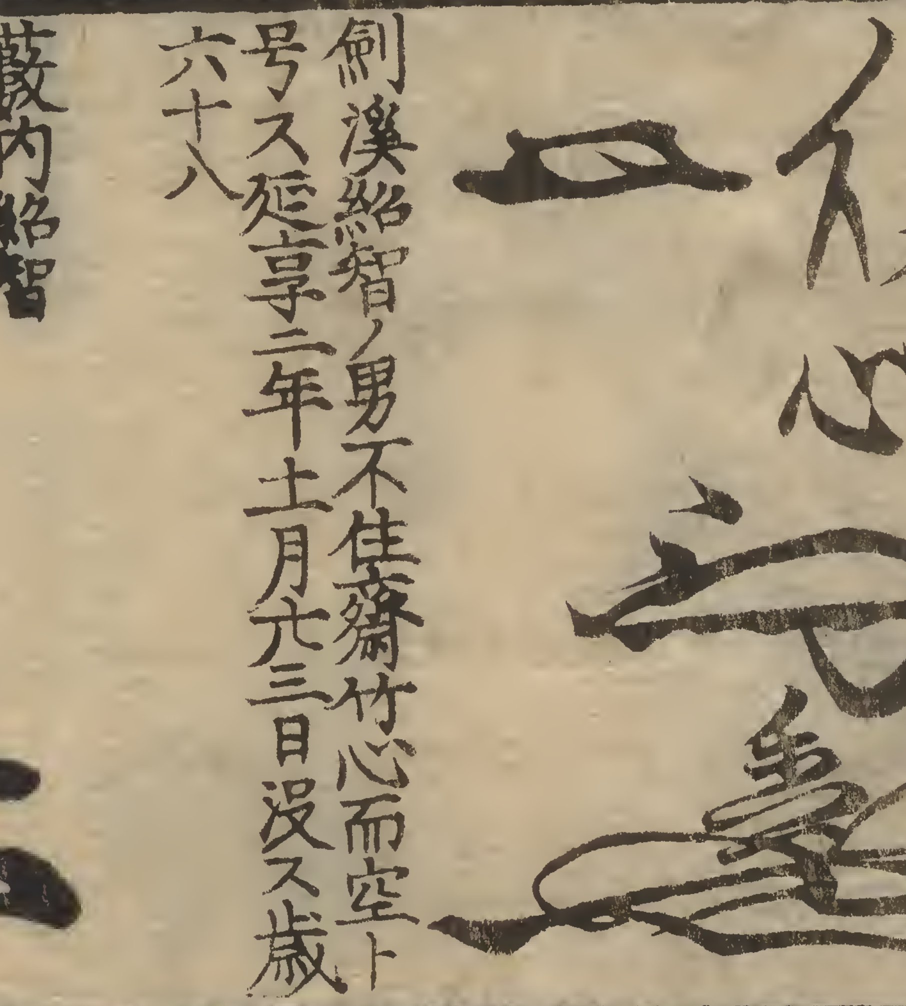


隠岐宗沕



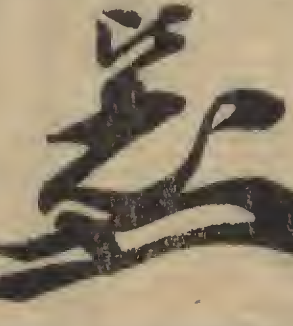
泚界ノ人駿河屋ト云フ茶ヲ随流
宗佐ニ学ブ

藪内紹智



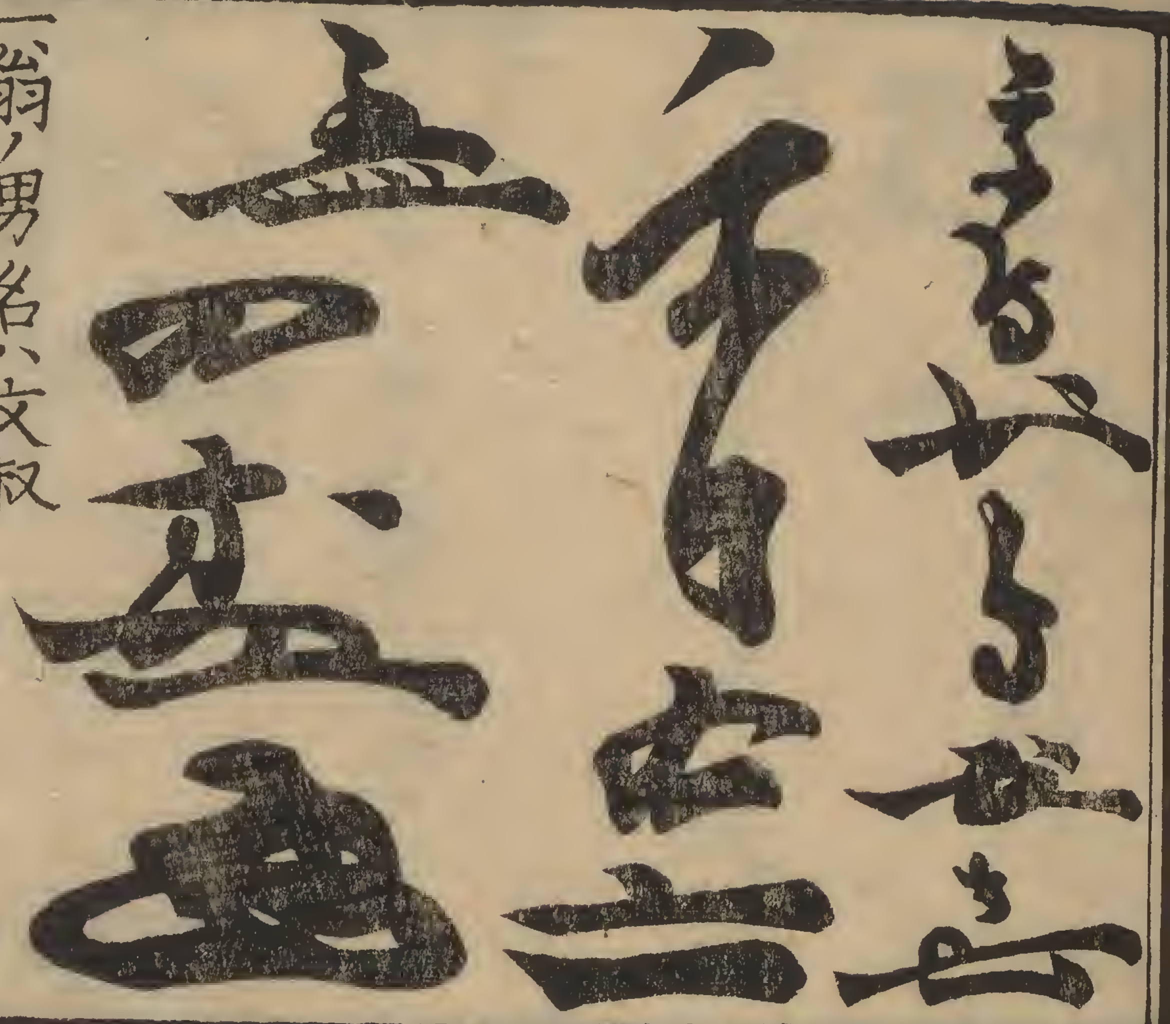
剣溪紹智ノ男不住斎竹心而空ト
号ス延享二年十一月廿三日没ス歳
六十八

藪内紹智



竹心紹智ノ男宗堅比
老斎竹隠ト号ス燕菴又
雲脚道ト云寛政十二年七月三
日没ス

千宗守



一翁ノ男名ハ文叔
ト云フ

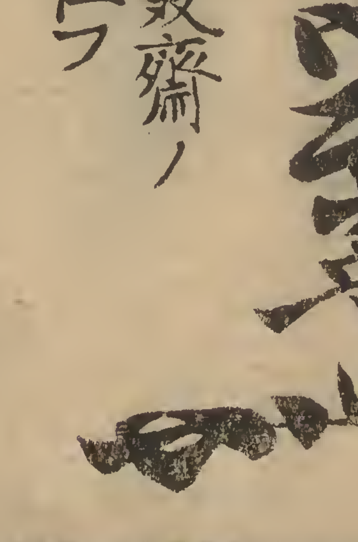
千宗守直斎



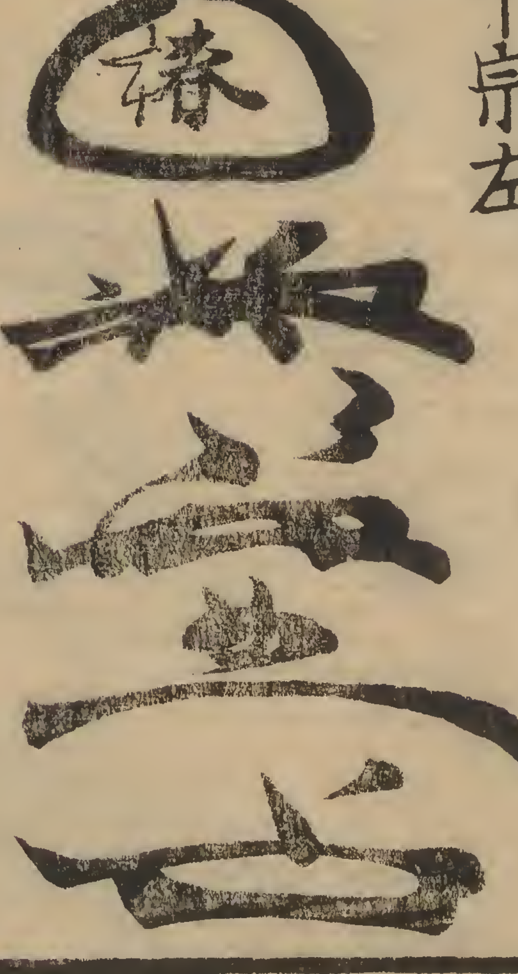
堅叟ト云真伯ノ義子

千宗守

好々齋ト号ス啜齋ノ
義子讃州ニ仕フ

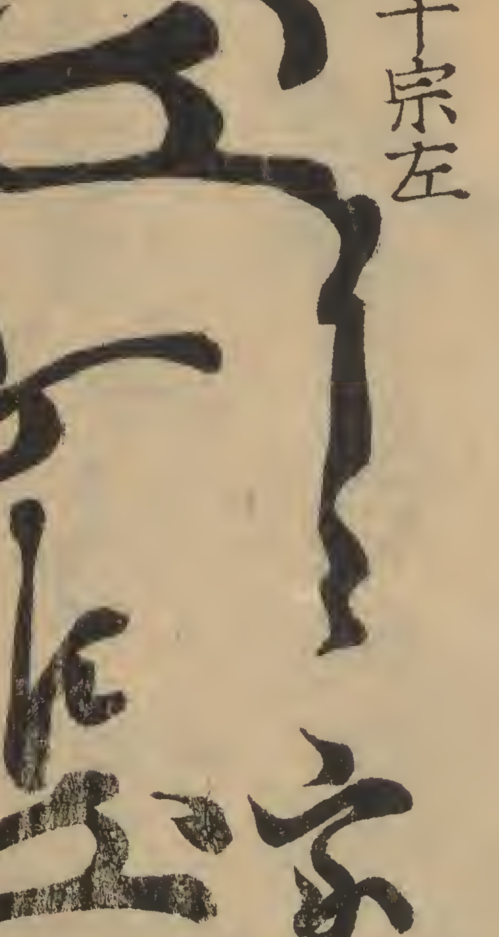


千宗左



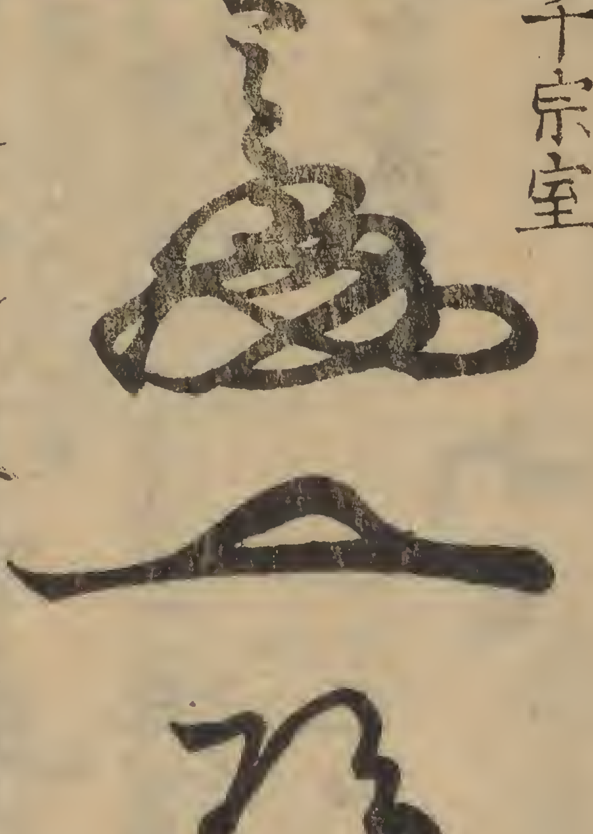
天然ト号シ如心齋ト称ス又丁々
軒ト云フ

千宗左



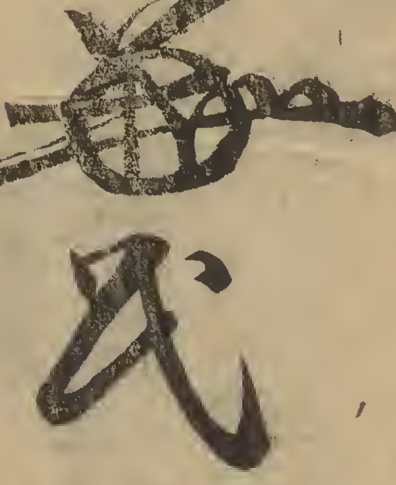
了々齋ト号ス

千宗室



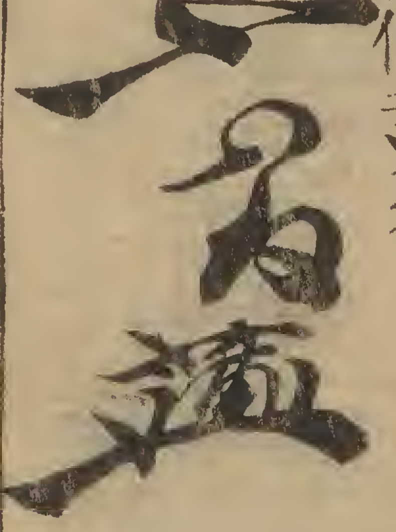
常叟ト号シ不休齋ト称ス初名ハ
宗安仙叟ノ男

林義牧

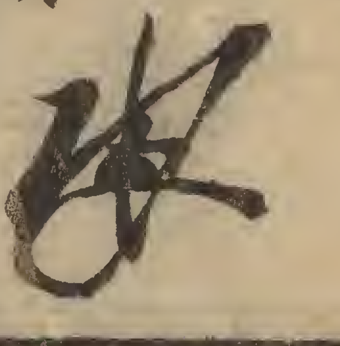


忠左エ門ト云小堀氏税府吏退隠シテ
氏ノ帳菴ト号ス寛政十二年正月三
日没ス茶ヲ扶信ニウク

青木宗鳳

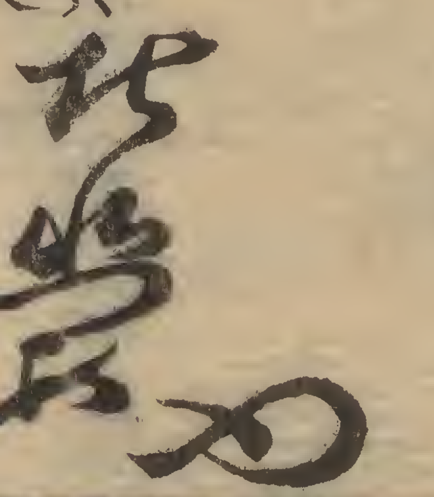


浪華ノ人薙髪ノ後凢鳥紫雪菴又水蒲一統子ト号ス明和二年酉季冬卒ス歳七十六



二世宗鳳

凢鳥ノ男初名宗舒新柳軒温故齋ト号ス寛政五丑ノ秋没ス歳六十四



堅田祐菴

江州堅田ノ人名ハ道遂北村佐大夫ト称ス庸軒ニシタカフテ学ブ曾テ品水ノ名アリ

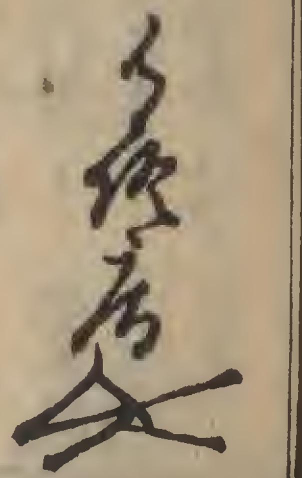


山本退菴

名ハ宗謙屯毫ト号ス庸軒ニ学ブ

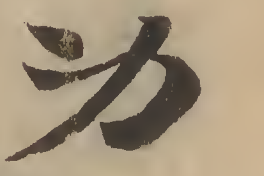
齋藤道節

浪華ノ人晩年江戸ニ住ス義翁或ハ竹齋有佟菴ト号ス茶ヲ庸軒正貞土肥二三ホニ二ナブ明和年間八十余ニテ没ス



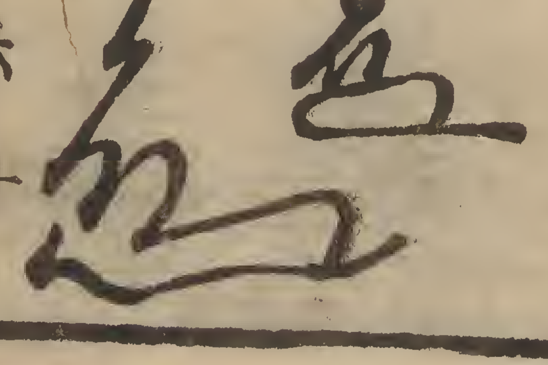
山田宗引

初姓ハ福興名ハ俊喜宗編姪婿ナリ故アリテ不審菴ヲツク洲潤齋ト号ス畱学小笠原佐渡侯ニ仕フ

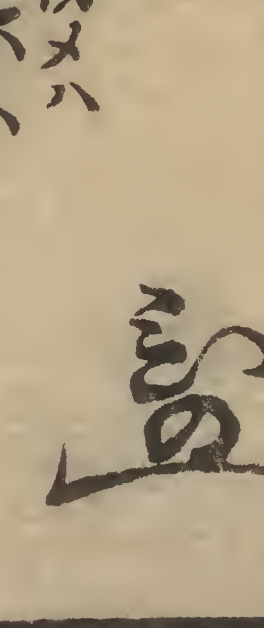


観山

大阪ノ人寡々菴ト号ス漸至菴観解脱菴ホノ号アリ能庸軒ノ法ヲ得タリ藤村正齋ノ門人

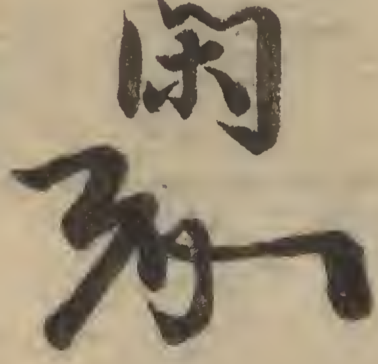


吉見喜齋



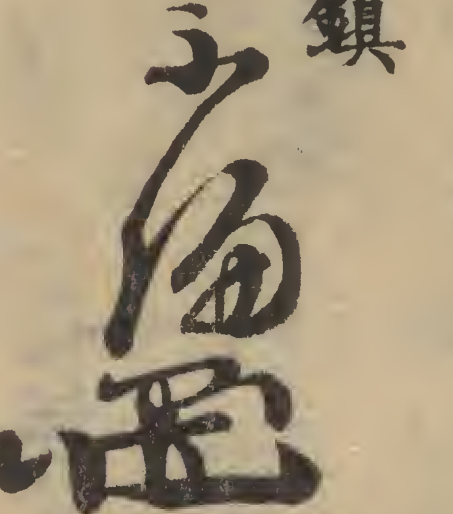
宇治ノ人初メハ
村山善入ト称ス

鈴木宗閑



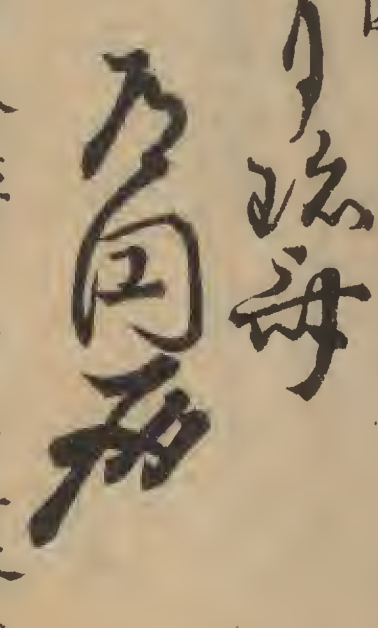
京師ノ人松屋某

三谷宗鎮



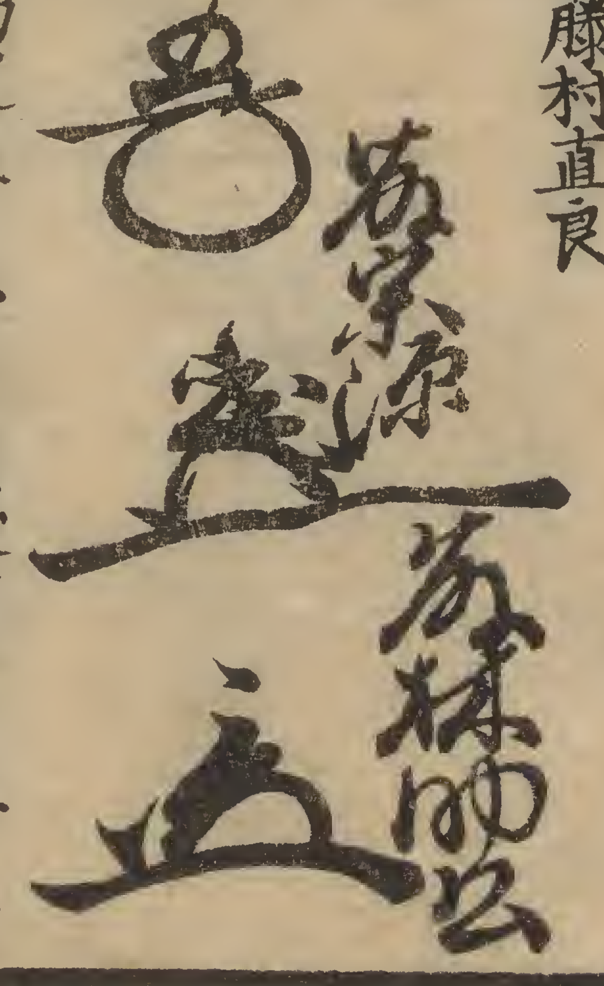
京師ノ人名ハ良朴丹下ト称ス又
南川子不徧齋ノ号アリ寛保元
年五月ニ没ス和漢茶誌ヲアラハ
ス

服部道圓



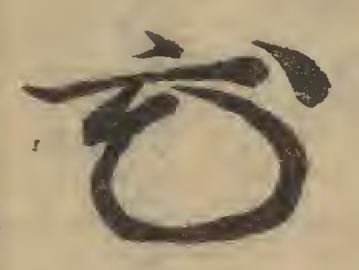
京師ノ人自珍齋ト号ス喜斎以
下原叟門人四哲ト称ス

藤村直良



助之丞ト称ス剃髪シテ宗直ト号
ス片桐侯ノ家老本齋鵐軒菴宗
ノ号アリ

清水動閑



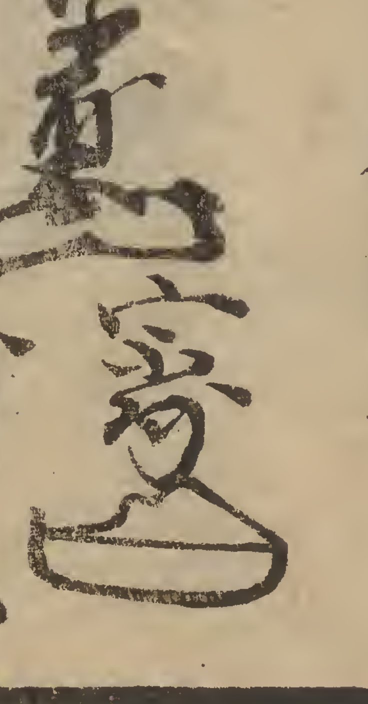
道閑ノ男初名道溪傳習菴直玄
ト号ス茶法ヲ父道閑ニウク

清水道竿

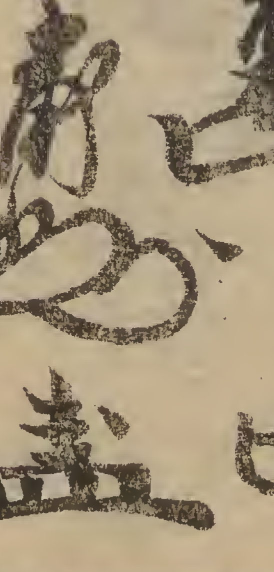


動閑ノ男初道慶後釣玄
耕閑子ト号ス鎮信門人

山科宗甫



千少庵徒弟

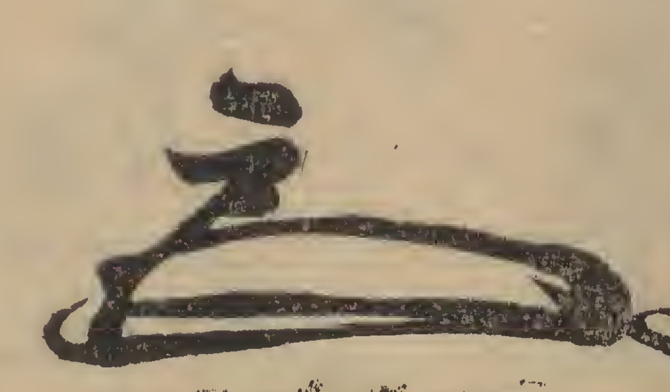


天満屋常通



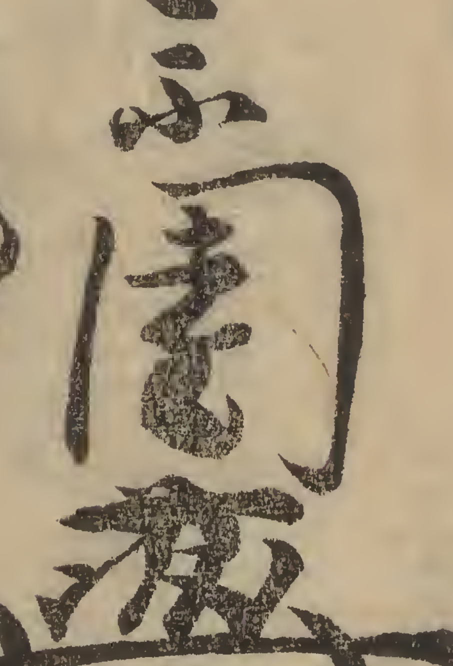
京師ノ人五郎右衛門ト称ス竹心ニ学
ンテ其法ヲ得タリ天明八年六月
三日ニ卒ス清隱齋達源常通居士
ト号ス

天室宗碩



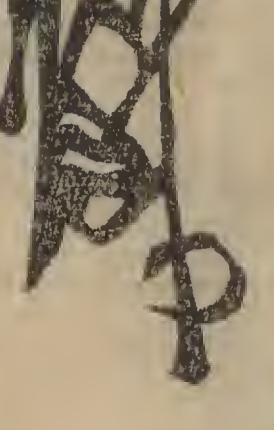
大徳九十五世永禄
二年正月寂ス東光
智燈禅師ト諡ス

春屋宗園

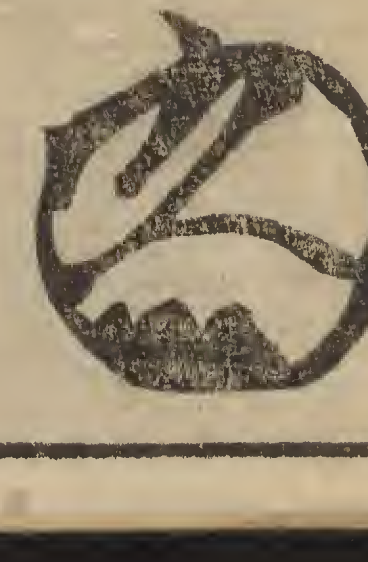


大徳百十一世一黙子ト号ス又自黙
子ト号ス英岳領宗許慶長十六年二
月九日寂ス

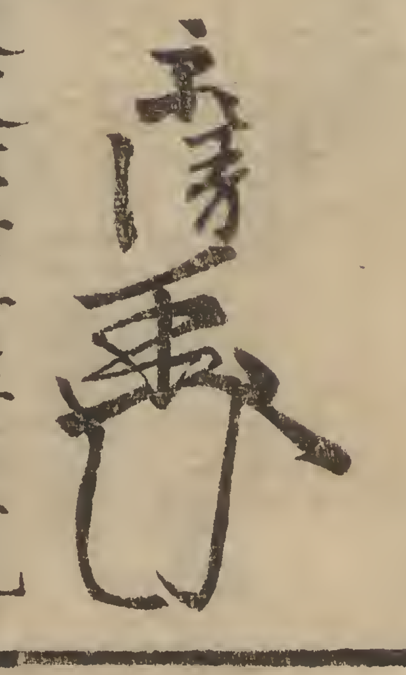
古溪宗陳



大徳百十七世越前ノ人笑山領訢ノ法嗣慶長二年正月十七日寂ス蒲菴ト号ス

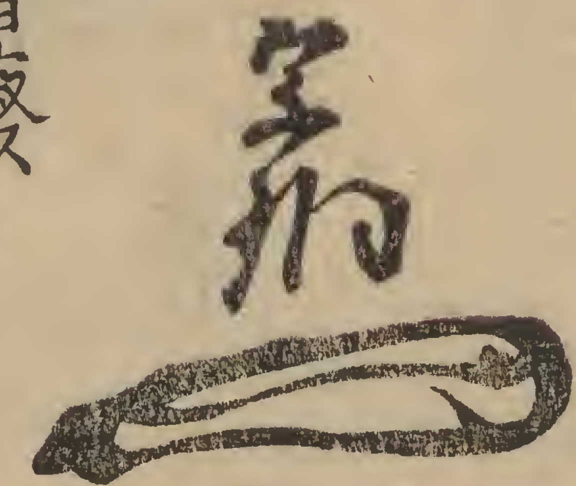


以天宗清



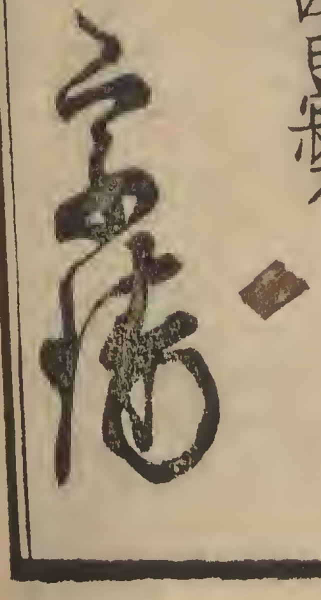
大徳八十三世東海朝法嗣機雪ト号ス天文廿三年正月十九日寂ス

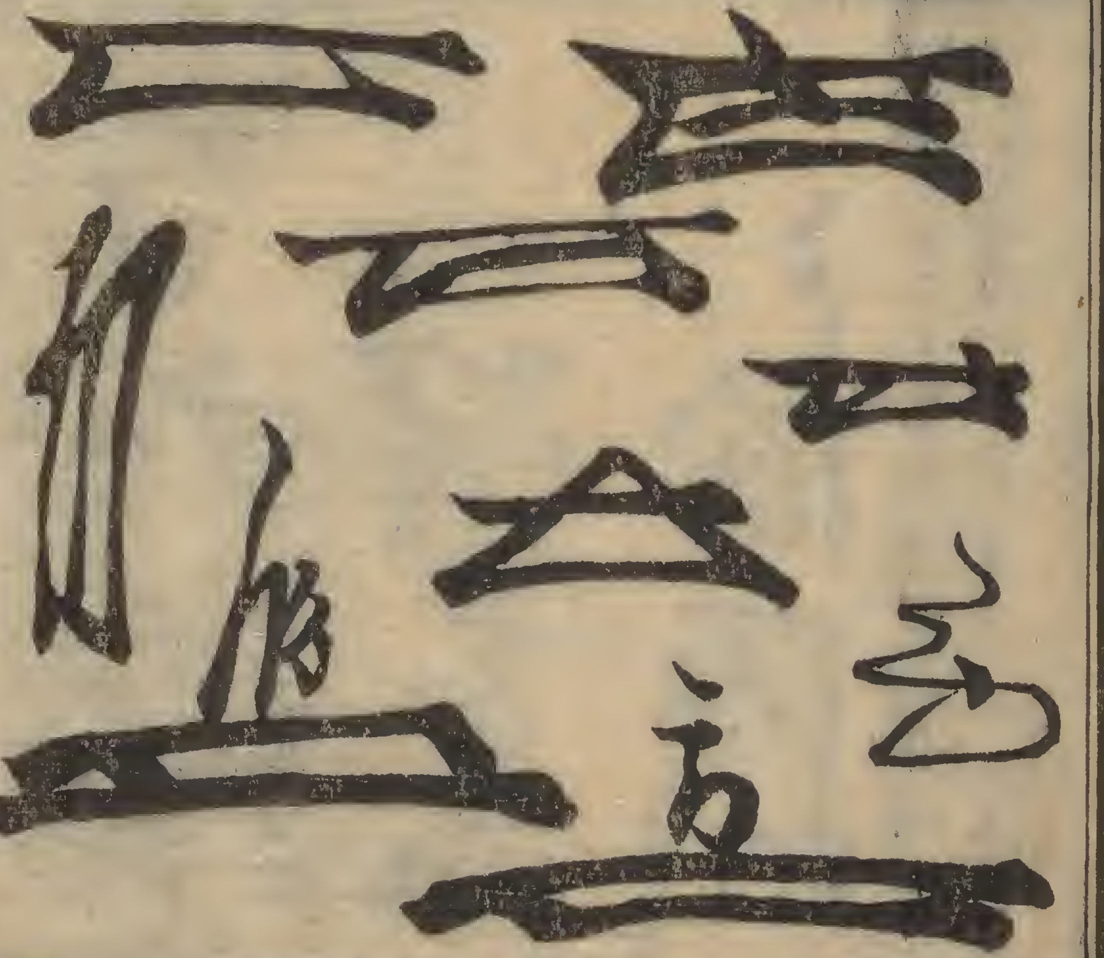
玉室宗珀



同百四十七世春屋宗園法嗣ニテ瞳眠子ト号ス京師ノ人寛永十八年五月十四日寂ス

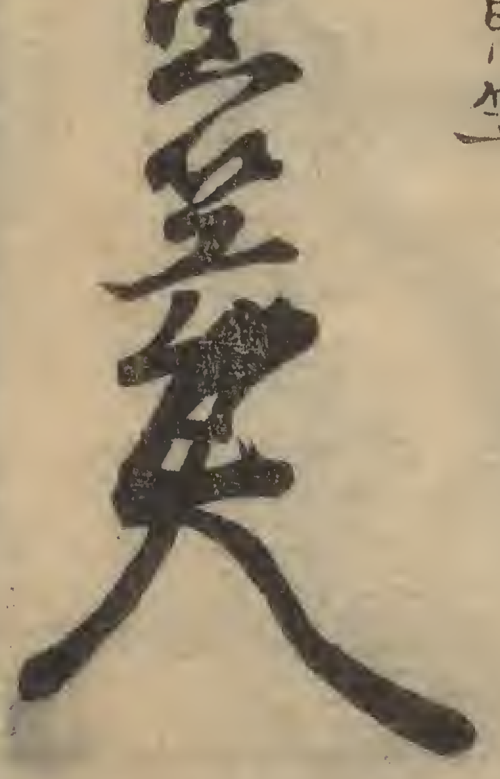
玉舟宗璠



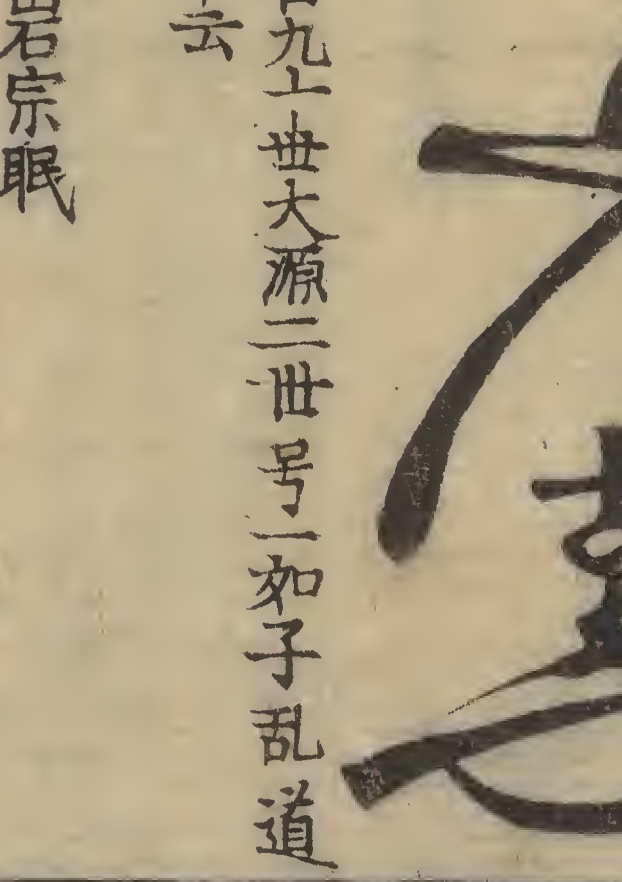


同百八十二世芳春二世玉室宗珀法嗣春睡又善哉ト号ス城州ノ人寛文八十月十八日寂ス

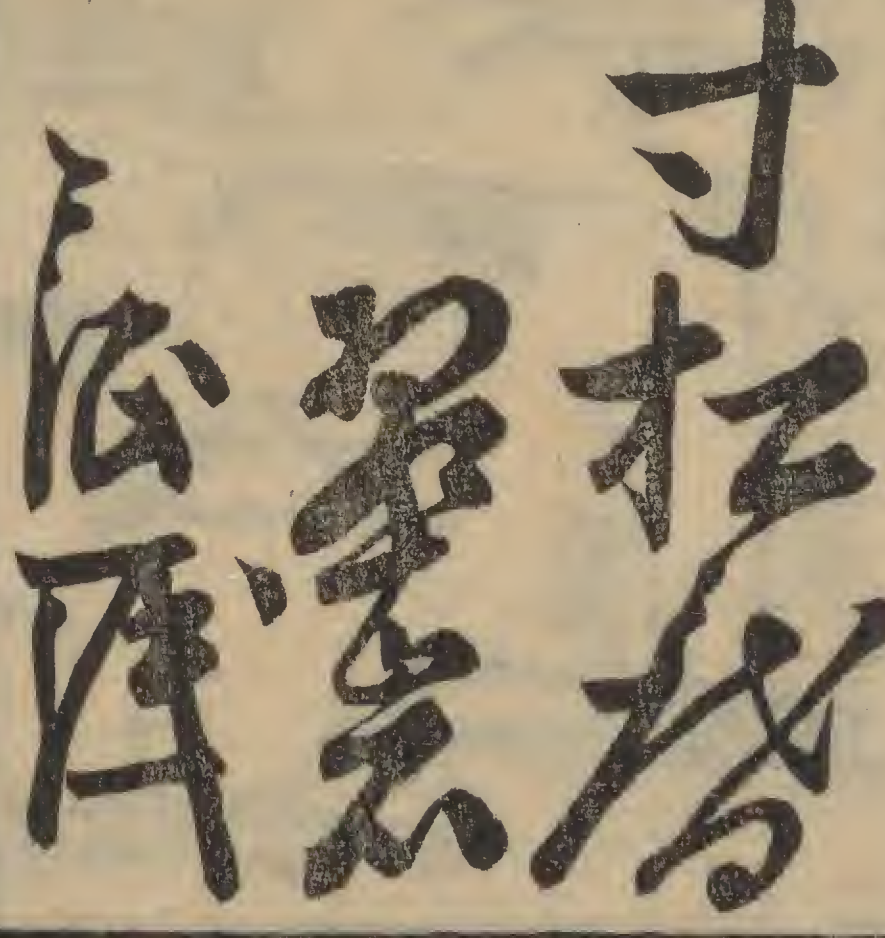
天室宗竺



同百九十一世大源二世号二如子乱道人ト云

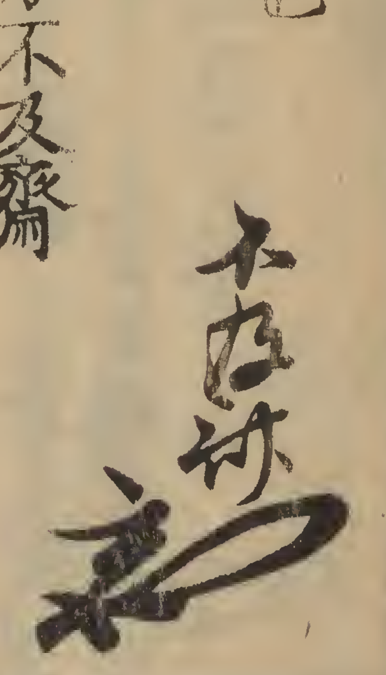


碧岩宗眠



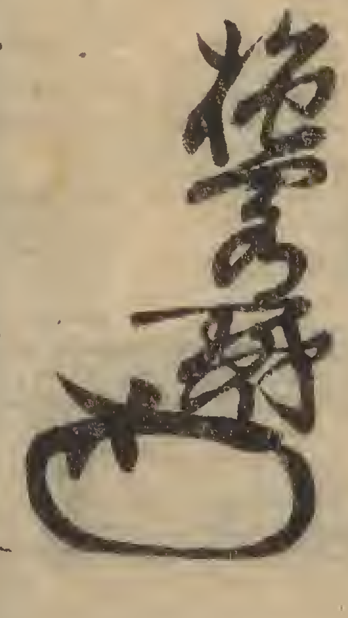
同百九十五世寸松初住江月玩法嗣号ニ似玉栖盧子ト泉州界ノ人寛文四七月廿三日寂ス

久田宗也



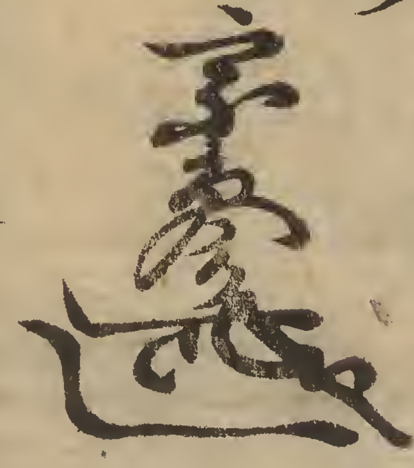
宗全ノ男不及斎ト号ス

久田宗渓



抛泉斎ト号ス一号磻翁久田宗悦ノ嗣

久田宗参



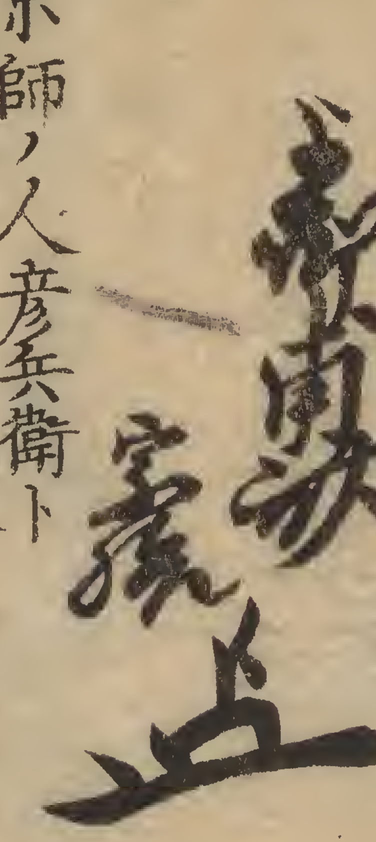
関斎ト号ス一ハ追遠居ト号ス業ヲ父宗玄ニ受ク

有岡道瑞



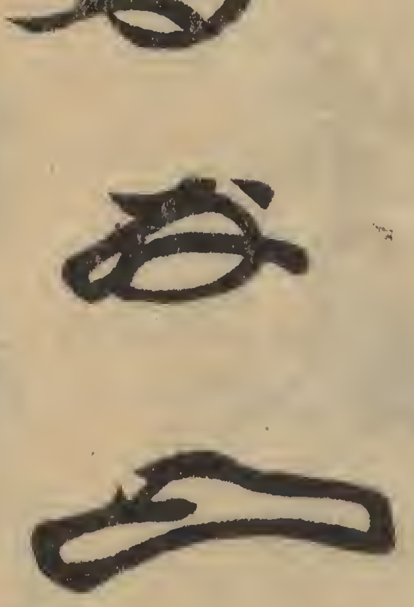
京師ノ人久田宗也門人元禄年中ノ人

上揀甫齋



京師ノ人彦兵衛ト称ス遠州ニ従ツテ茶法ヲウク

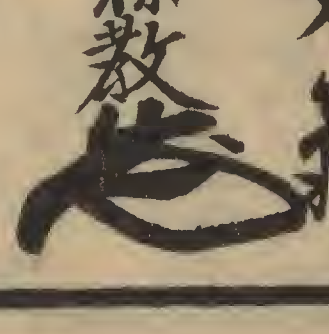
大口樵翁



大阪ノ人初名恕軒又養古齋含翠子ノ号アリ大西閑齋従ツテ石州流ノ茶法ヲマナブ

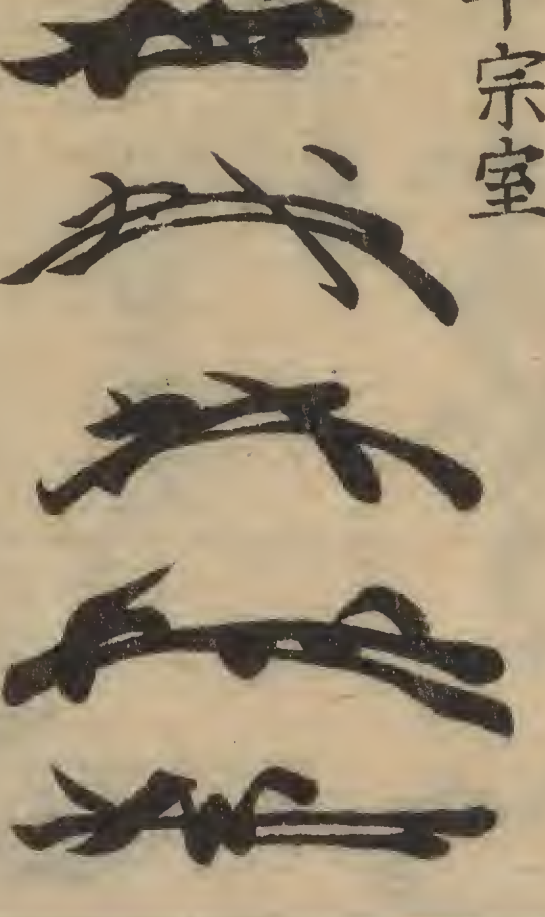
大口如翁

如翁　保教



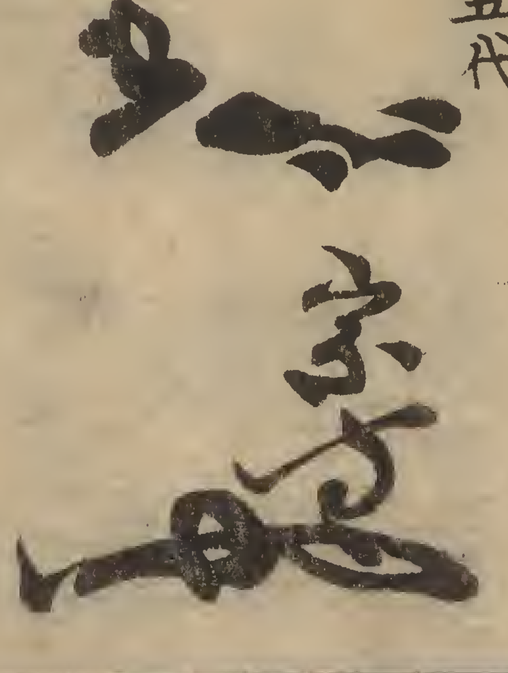
大阪ノ人恕軒ノ嗣名保教芳流菴ト号ス

千宗室



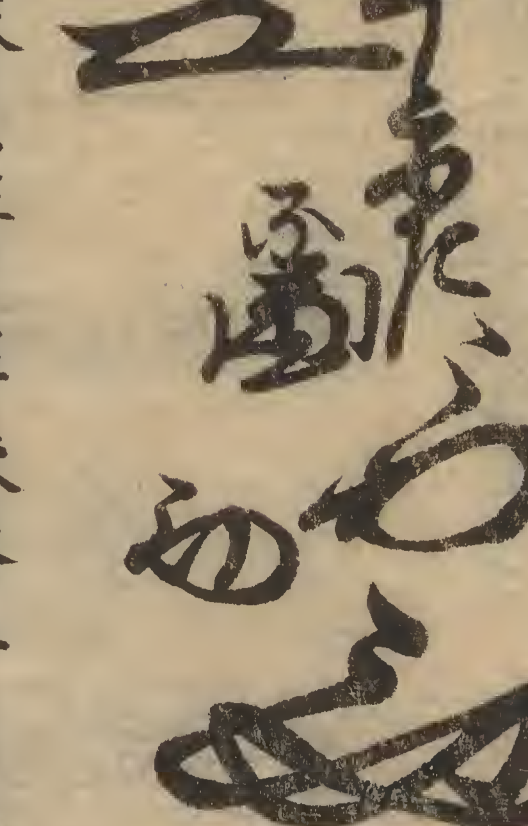
一燈宗室ノ男不見齋高雲亭享和元年九月廿六日没ス

千宗守　五代



啐齋ト号シ直齋ノ義子

千宗左



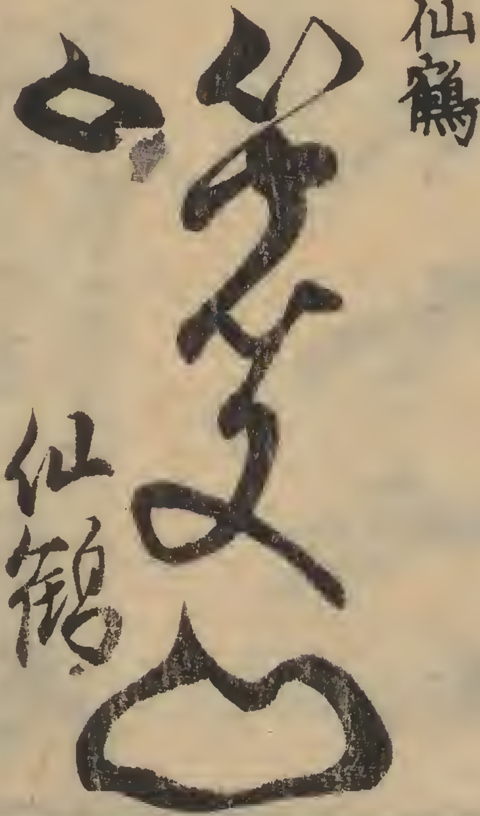
恕齋宗佐男啐啄齋叶翁ト号ス

住山揚甫



大阪人恕齋ノ門人

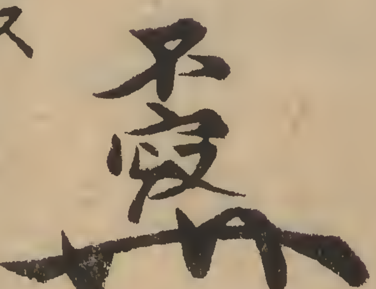
堀内仙鶴



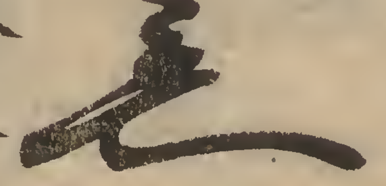
京師ノ人化南齋鶴翁或ハ笛叟ト号ス曾テ誹諧ヲ以テ一家ヲナス又画ヲ善ス寛延元年ニ没ス歳七十二茶ヲ原叟ニウク

堀内宗心

仙鶴ノ男不寂齋ト号ス明和四年ニ没ス歳四十九茶ヲ恕齋ニウク



松尾宗二



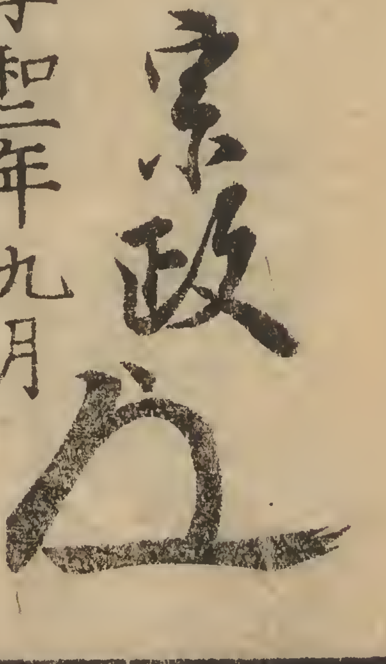
京師ノ人樂只齋又嘉隠齋ト号ス寶暦二年九月五日ニ没ス歳七十六茶法ヲ秋波ニウク後原叟ニ従フ

松尾宗五



宗二男樂只軒又翫古齋ト云フ明和八年十一月廿五日没ス茶ヲ父宗二ニウク歳七十一

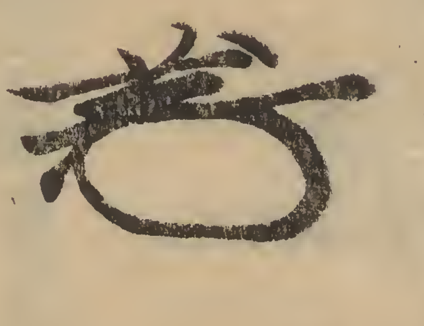
松尾宗政
宗五ノ男享和三年九月
十三日ニ卒ス歳六十四



多田宗綱
播州姫路ノ人大阪ニ住ス
物々斎ト号ス恕斎宗佐門人宝
暦八年寅五月九日ニ没ス歳六十九



多田宗掬
宗綱嗣子十友斎ト号ス寛政七年
十二月二十三日没ス

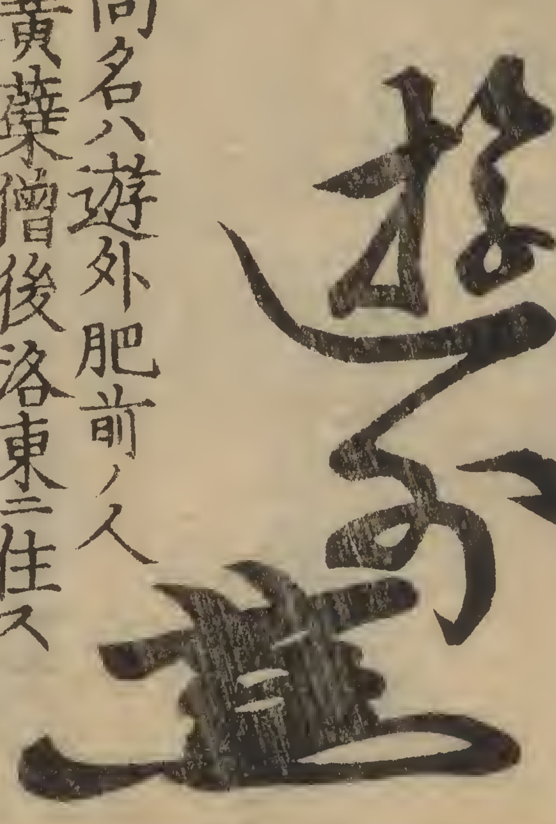


安田是誰



京師ノ人公冶工初對馬ト称ス生平禅
ヲ好ヲ曽テ賣茶翁ニ参ス翁寂
シテ後天竜桂州和尚ニ従ヒ窮樂
淡々ト風流ヲ以テ友トシ善ク茶ヲ
点ス柏宗守ニマナブ

賣茶翁



姓ハ高名ハ遊外肥前ノ人
初メ黄檗僧後洛東ニ住ス
茶ヲ烹ルヲ以テ業トス賣茶翁ト称
ス詩ノ偈ヲ善ス

花押難考者出于此ニ

引拙　南都ニ住ス光嗣引拙没シテ後
宗匠トナル

藤田宗理　京師ニ住ス光嗣引拙
没後宗匠トナル

竹倉屋紹滴　沙界ニ住ス一本ニ中

藏屋トアリ
京極高廣朝臣　丹後守高知ノ
男従四位下侍従丹後守
宮津城主剃髪シテ闇知ト
号ス岡寄村ニ住ス久須見疎
安石川自安トモニ岡寄ノ三
老ト称ス
志野宗信　京師ニ住ス俗名八三郎
左衛門
僧幸順　洛東頂妙寺中常住院
ナリ茶法ヲ紹鷗ニ受ク
善法　粟田ノ隠士
三滴　大津ノ隠士
古市播磨　南都興福寺衆徒
石黒道提　洛陽千本ニ住ス
西福院
尊行院　南都ニ住ス
大富善好　洛陽ニ住ス
誉田屋宗宅　沙界南宗寺徳泉
菴是功徳場ナリ
辻玄哉　沙界ニ住ス
椋宗理　沙界ニ住ス
芝山監物
牧村兵部

山本助五郎
山岡宗無　沙界住吉屋
ノ貫　其姓名ヲシラズ洛東山科ニ住
シ清貧ニシテ甚茶事ヲ好
ミ異物ヲ貯ヘ雅趣ヲ得タリ
氣質活動時ノ人大ニ賞ス
被ルニノ貫ハ其号ナカ
重宗甫　沙界ニ住ス
慶主座　沙界南宗寺
志野宗温　宗信男名彌三郎祐
憲ト号ス又参雨齋
大久保藤十郎
多賀左近
瀬川左馬
黒田正玄　洛陽ニ住シ初メ小堀政一
ニ仕フ
岡本宗巴　浪花ニ住ス
横田宗朴　洛陽ニ住ス
中西立佐　同
城宗信　浪花ニ住シ土岐豫州侯
ニ仕フ正徳元年七月ニ沒ス
慶嚴
本行坊　妙蓮寺中
宗拍伯

天方備前守
古市龙馬助

抛茶記

茶ハ神農氏ヨリ起リ周公ニ聞ヘ晏ヨリヲチカタ唐土ニテモ茶ヲ賞シ侍リシニハ唐ノ玄宗天寶年間茶仙陸羽世ニ出粛宗代宗ノ間朝野ニ交リ茶経ヲ著シ烹點ノ法式ヲ立テ龍ヲ製シ水味ヲ論セシカハ天下ノ人茶飲ノ清雅ヲシレリ是ヲ賞翫セシヨリソノ風流サカンニ世ニ行ハル宋ノ世ニテハ太祖ノ開寶年間蔡襄團茶ヲ造リテ御進ス明ノ朝ニ至リテ芽茶ヲ用ヒ益サカンニ行ハル

本朝ノ古ヘヲ思フニ　桓武帝延暦年中傳教大師入唐アリテ帰朝セラレシトキ茶ノ種将來リシト日吉社記ニ見ヘ又嵯峨帝弘仁年間江州志賀ヘ御幸シタマヒシトキ枕釈寺ノ僧正永忠御茶ヲ煮テ奉リシ聞ヘアリソノ後建仁寺ノ開山千光國師葉上ノ僧正栄西宋ニユキ建久二年皈朝ノトキ茶ノ種ヲ将來リ筑紫背振山ニ植試ミ又茶徳ヲ考ヘテ一書述作リ鎌倉右大将家ヘ献セラル今世ニ行ヘル喫茶養生記是ナリ又栂尾明恵上人ヘ茶ノ種ヲ贈ラル上人医師ニ酖毒ヲ問レシニ茶ハ眠ヲサマシ気ヲ晴ラスノ徳アリト答ヘシカハ僧徒勤学ノ助ケトモナルヘシトテ則栂尾ニウヘ其ノチ宇治ノ里ニ移シ植シヨリ其種カナタコナタニ移シウヘ今ハ至ラヌ隈モナクシケクナリモテ行テ江州ニ政所ノ名ヲ止メ紀ノ路ニ熊野ノ名産アリ昔ハ大内ニテモ挽茶ノ節會行ハレシカ何レノ時ヨリカタヘ果テ名残サヘサダカニモ云傳ヘズ然ルニ文明年中珠光始メテ點茶ヲ製シテ一休禅師ニ参問ス休コレヲ證明シテ曰ク茶ハ心眼ヲサマシ大ニ吾宗禅定ノ一助ナリトテ秘重セラレシ虚堂禅師ノ墨蹟ヲ珠光ニ與フコレ吾　朝モツハラ點茶ヲ用ル中興ナリ且慈照院義政将軍光ノ妙術心要ヲ賞美アリテ還俗サセ玉ヒ都三条辺ニ草菴ヲ構ヘサセラレ珠光菴主ト書シタマハリテ

額ヲウタセラル皇朝茶道宗匠ト称スルハ光ヨリ始ムツヽヒテ能阿弥相阿弥事ヲ巧ミニシ紹鴎利休ニ至リテ茶道全ク大成ス是等ノ先哲茶道ヲ唱ヘテ一時ノ宗師ニナシ有ケル尚次テ述ル人ニハ古田佐久間小堀片桐ナンドコトナラズ玩アソビツヒニ三礼ノ中ニテトリ入レヌ夫ヨリ高貴モ捨果タヾハズレテ風流ノ観ヲツクレ下賎モ侘數奇ニ友ヲ會シ侍リケルサレハ茶礼ヲ物セシ人其源ヲ知ラズンバ有ベカラズ

畫流相承系譜

○百濟川成

本姓ハ余復百済ト改武猛ニシテ能強弓ヲ引大同三年左近衛トナル図画ヲ善ス文徳実録今昔物語ニ詳ナリ

○紀金岩

光孝帝ノ末裔姓ハ紀氏圓深普天子朝日阿闍梨等号アリ承和年間ノ人

○珍海

醍醐寺ノ僧ニシテ禅那院ニ住ス建仁年中ノ人

○狩野岡

後冷泉帝永正年中ノ人佛画ノ名手ナリ

○宅磨法眼

名澄賀二尊院足引ノ尊像ヲ図画ス又栂尾ニアル所ノ春日三神ノ像モ同画ナリ本朝画史ニ詳ナリ

○鳥羽僧正

名覚猷源隆國ノ子天台座主法務及ヒ三井長吏大僧正

タリ画ヲ善シ曽テ醍醐ニ住シ又鳥羽ニ住ス故ニ鳥羽僧正ト号ス仁安年中ノ人

○住吉法眼

其姓名ヲ知ラズ佛像人物花艸ヲ善ク画クト云

○粟田口法眼

名隆光民部卿タリ春日繪所ニシテ南都ニ住ス正慶年中ノ人

○然可翁

宗然ト称シ良全ト号ス

○玉畹子

名ハ梵芳普明國師ノ弟子南禅寺ノ僧也知足軒トモ云

○兆典子

名ハ明兆吉山ト号ス

○曽我秀文

本明人ナリ帰化シテ曽我氏ヲ嗣唐人秀文ト称ス永和年中ノ人

○僧如雪

九州ノ人ニシテ相國寺ニ在テ山水花鳥人物ヲ善画ス

○足利義政将軍

慈照院殿東山殿ト称ス

曽我蛇足　式部入道ト称ス法名夫泉宗丈ト云

一休　名宗純

宗丈　蛇足ノ男

玄仙　宗丈ノ男

宗誉　玄仙ノ男

紹祥　宗誉ノ男

直菴　紹祥ノ男

二直菴

巨勢金岡　中納言野足ノ男　仁和ヨリ元慶ノ人

相見　金岡ノ男　昌泰年間ノ人

弘高　巨勢氏世々名画ノ名家具平親王是ヲ賞シ玉ヘリ

公忠 巨勢氏天暦年中ノ人

公望 巨勢氏小野宮大臣屏風ニ小松ノ画ヲカヽシム

金高

足利義持公 勝定院顕山ト号ス

永存 河内観心寺ノ僧応永中ノ人

上之 江蔵主ト称ス画史ニ明兆ニ従フテ画ヲマナブトアリ

正信 狩野ノ元祖ナリ大炊助祐勢永享年中ノ人

僧周文 春育ト称ス相国寺ニアツテ都司タリ

雪舟 名等揚備渓斎ト称ス又米元山主ト云氏ハ小田備中赤濱ノ人

秋月 名等観 高城氏

楊月 和王ト号ス城州笠置寺ニ住ス

揚門 雪渓等沢ト号ス

周耕 雪舟ノ弟子和州多武峯ニ住ス雪舟ノ門人

雪村 雪舟ヲ師トス名周継常仙翁ト云元亀天正ノ間

雪林

弓削等薩 波月ト号ス天正年中ノ人

等碩 牧雲子ト号ス秋月ノ男

雲谷等顔 雪舟ヨリ三世ノ画裔ニテツイテ三家ヲナス其傳諸書ニ出タレハ畧ス

等益 雪舟四世ノ画孫

等與 法橋雲谷ト称ス

等爾

等璠

宗淵蔵主 字如水木水子ト号ス相州ノ人

照陽 姓ハ祥カナラズ朱王ト称ス

等歳 九州ノ人高野山ノ僧雪舟ヲ師トス

周徳 惟馨ト号ス防州雲谷菴ニ住ス

雪窓

山田道安 和州山田地士筒井ノ一門ト云

雪工

雲渓 支山ト号ス天文年中ノ人

等梅 雪舟ヲ師トス九冬ノ人高野山ニ住ス

東陽

楊溪 雪舟ヲ学ブ

小栗宗丹 周文ノ高弟ニテ一家ヲナス後相国寺ニ入テ僧トナル自牧ト号ス

等楊 拙宗ト号ス

康西堂 鎌倉建長寺ノ僧

雲甫 周文ノ流 周苔ト号ス

洞玄 土岐ノ族ト云 周文流カ

真能 鷗斎又春鷗斎ト号ス 能阿弥ト云フ

墨隠

遮莫

周位

真藝 藝阿弥ト称ス又学叟ト云

真相 鑑岳又松雪斎ト号ス 真藝ノ男

啓書記 名祥啓雲溪ト号ス又貧楽軒休月斎ト云

惟安 可ト 揀隠子ト号ス 建長寺ノ僧

宗栗 宗丹ノ子周文ヲ学フ

江西和尚 名竜泒 別ニ孫公羽ト号ス

九淵和尚 龍燦葵斎ト号ス

宗休

○相保

○松花堂 昭乗惺々翁

○光悦 本阿弥徳友斎

○宗達 伊年ト号ス法橋 京師ノ人

○光琳 寂明青々堂長江軒京師ノ人

○立甫

○長谷川等伯 慶長年間能登七尾ノ人

信春 等伯ニ下

宗也 等伯ノ無子

等的 等伯ノ門人

宗宅
等悅
等林 小野氏後長谷川ヲ唱フ
等作 法橋
出中 等春ト号ス
等雪 雪舟ノ風アリ豪氣ノ作アレモイサヽカ俗ニ近シ
雪汀
洞雪
○若中
○曾我肅白 曾我氏
○寂照月仙
○祇南海
○英一蝶 本姓多賀 名春香
○熊斐
○大鵬和尚
○宮筠甫 宮崎氏

○栁公美 里恭柳沢氏
若芝
寉亭和尚 名浄光 字海眼
若元
○望玉蟾 名玄平安ノ人 延享中ニ没ス
○彭百川 彭城氏蓬洲 又八仙ト号ス
○蒹葭堂
○大雅堂 名無名九霞山樵
玉瀾 無名妻
五嶽
噲々
春塘
○謝蕪村 名長庚 夜半亭
呉月溪
○圓山應擧 ― 芦雪
○土佐經隆 藤原氏従五位下 土佐守繪所預

行光 越前守 文延年中ノ人
光重 越前守 永享中 人
廣周 永享中ノ人 弾正忠
光信 刑部大輔 永享年中ノ人
光茂 刑部大輔 享禄年中ノ人
女子 元信妻
光持 至徳年中ノ人
光高
女子 古右京光信妻
隆信 左京権大夫越中守正四位下 元暦年中ノ人土佐家ノ鼻祖也
信實 右京大夫隆信ノ男後鳥羽順徳両朝ヘテ誉ヲ一時ニアラハス
隆能 姉小路正五位下主殿頭藤原清隆ノ男宝治年中ノ人
隆親 正五位下備前守 隆能ノ男
行智 隆親ノ弟画師ナリ
行廣 土佐守
行秀 修理亮繪所預

寂齋 兵部少輔繪所預
光國 備後守繪
長隆 後宇多帝建治ノ人 家隆卿ノ甥ナリ
長章 越前守
相保 光信ノ系図ニアリ海田釆女ト云文正年中ノ人
光益 光信カ嫡男ナリ
經光 光信カ嫡ナリ仮ニ将監トナリ剃髪シテ後ニ經光ヲ法名トス
土佐刑部 諱ヲシラズ
光起 印文ニ将監トリアリ未考
此餘
光純 光忠 久欽
益継 光継
右土佐家ハ彫刻ノ画家印譜系図ヲ校合シテ猶ソノ載ザルヲ補正シ出ス然レトモ遺脱ナホ多カ

ラン他日考正スベシ

狩野氏系圖

○正信 法眼祐勢 又伯信 壽九十七 其先遠州人

女 後藤光乗妻

之信 綱隠子

國松 早世

元信 法眼永仙 八十四歳卒 世ニ古法眼ト稱ス永禄中ノ人

祐雪 宗信法眼 三十二歳卒

季頼 治部少輔 又信正

松榮 家兄祐雪卒後家督

真笶 乗信又信正 法眼真乗

了不 治部

了琢 季政 一説了不ノ子ト云

外記 季信 柳雪

數馬 征信

主水 為信梅雪

了乘 秀信 又秀之
元俊
伊織
春雪 信之 隼人
春笑 亮信 求馬
梅榮 知信 一学
梅春 旭信
梅笑 師信
春水 命信
春笑 宣信
松榮 直信 法眼 元信三男 天正年中卒 年六十
永德 州信 又重信 天正中ノ人 法印 年四十八卒
宗秀 季信 法眼
真說 元季 法橋
宗巴
休白 長信 法眼

休白 昌信
休圓 清信
休山 足信
松林 惇信 実昌信二男
休山 德信
休碩
休琢
玉燕 季信
玉榮 在信
宗知
友益 氏信
伯圓 景信
即誉 種信
舟仙 令信
探泰
素仙 成信

伯清 因信

右近 孝信 四十七卒

源七郎 吉信

探幽 釆女守信法印延宝二年十月七日沒年七十二

尚信 主馬始一信 四十七卒

安信 伯父光信卒後家督

常信 古川法印養朴正德中卒 年七十八

如川 周信法眼

随川 岑信 本姓忝本

随川 甫信 始郡信

常川 幸信

榮川 古信

受川 玄信早世

榮川 典信法眼

養川 惟信

洞雲 益信法眼 本姓後藤

五郎左衛門

探信 守政法眼 忠潤

探雪 守定

雪信 清原氏女 守信猶子

探牛 守睦

探潤 政信

探船 章信

探常 守富 実探船弟

探林 守美

洞春 福信又兼信 又義信良信

玄仙 方信早世

雲仙

古右京 光信繪所慶長年中卒 年四十二

永真 安信法眼 孝信三男

内藏助 親信早世

右京 時信

永叔 主信 法眼 始敏信 又明信
永真 宣意信 又季信
祐清 英信 法印
永羽 表信
永德 高信

狩野克許門人
古法眼門人
玉樂
金玉仙 官南
壽卜
養拙 又養雪
得菴
木村永光
山樂 光頼 寛永中卒 年七十七
松榮門人
重信 一 公羽

一溪 重良
主膳 良信
安仙 春信
友甫 晏信
永德門人
友松 —— 友雪
宗泉
養清
宗仙 政信
隆仙
內匠 種永
內匠 種信
左近 種次
大學 氏信
梅雲 為信
柳雪 秀信
柳伯

柳溪 中信

梅軒 昌信

光信門人

- 興意 代々狩野
- 興甫 弥右エ門
- 松伯
- 乘昌 沼津
- 興也 伯甫
- 道味 興助
- 祖酋 松榮養子
- 素川 信政
- 洞元 邦信
- 壽石 敦信
- 伯壽 武信
- 洞林 波信
- 洞樹 克信

探幽門人

- 桃田柳榮 守光
- 神足善右エ門
- 幽讃
- 霍澤探山
- 久隅半兵衛
- 加藤遠澤 守行
- 松原探梁

安信門人

- 宗仙 政信
- 永淳 石田
- 昌運 岩本
- 永雲 太田
- 常真 日比
- 隆仙 奈須
- 永納 縫殿助

七左エ門 タラオ

泉碩 奈須

永翁 ロ

永相 高木

永休 武田

永寂門人

常慶 日比

永壽 三谷

永三 津田

與碩

永恕 藤田

永伯 三谷

永了 多羅尾

常真 日比

休真 羽賀

泉碩 奈須

永碩

林叔 井尻

凉珉 池田

文元 日賀田

洞益 飯田

春笑門人

春湖 元珍

春賀 埋信

▲多賀朝湖 別成一家

一舟

茶家酔古襍三編　近刻

目録

名物茶入名物切并茶濫觴
古筆鑑定印図茶碗價録
惣而茶道家鑑賞便覧之
要務盡ク是ヲ襍ム

天保十四癸卯八月新刻

尾陽　永樂屋東四郎
勢州津　篠田伊十郎
加州金沢　八尾屋喜兵衛
雲州松江　尼崎屋喜惣衛門
大坂　秋田屋幸助
京　寺町佛光寺上ル　近江屋佐太郎

書房